

奥州市文化財保存活用地域計画

令和 8 年 6 月

奥州市教育委員会

奥州市文化財保存活用地域計画 目次

序 章 背景と目的

1 計画作成の背景と目的	1
2 計画期間及び進捗管理	2
3 計画の位置付け	2
4 本計画における文化財の定義	3

第1章 奥州市の概要

1 自然・地理的環境	5
2 社会的状況	7
3 歴史的背景	15

第2章 文化財の概要と特徴

1 指定等文化財	22
2 未指定文化財	26
3 文化財類型ごとの概要	28
4 関連する制度	35

第3章 歴史文化の特性

1 まちづくりと歴史文化の関係	38
2 歴史文化の特性	38
3 「歴史・伝統・自然」のキーワード	40

第4章 文化財の保存・活用に関する将来像・方向性

1 将来像	43
2 保存・活用の方向性	43
方向性1 奥州市の特色を伝える文化財の調査・研究	
方向性2 奥州市のアイデンティティである文化財の保存	
方向性3 多様な担い手による文化財の活用	
方向性4 文化財の情報資源化とネットワークの構築	

第5章 文化財に関する既往の把握調査

1 既往調査の概要	45
2 文化財パトロール	45
3 把握調査の状況	45

第6章 文化財の保存・活用に関する課題・方針

- 1 課題の抽出方法 47
- 2 課題と方針 48

第7章 文化財の保存・活用に関する事業

- 1 事業の考え方 52
- 2 個別の事業 53

第8章 文化財の保存・活用の体制

- 1 推進体制 58
- 2 奥州市の体制 60
- 3 文化財の防災・防犯 63
- 4 文化財保存活用支援団体制度の活用 64

資料編

- 1 文化財リスト（指定等文化財） 66
- 2 指定等文化財ハザードマップ 77
- 3 調査報告書等リスト 84

序 章 背景と目的

1 計画作成の背景と目的

(1) 計画作成の背景

岩手県奥州市では、豊かな自然環境を基盤に、原始から現代まで多様な歴史文化が育まれてきました。そして、歴史文化を表す多くの文化財が市内で保存伝承されており、文化財保護法（以下、「法」という。）、岩手県文化財保護条例及び奥州市文化財保護条例で指定等されている文化財は、国指定文化財 18 件、県指定文化財 51 件、市指定文化財 226 件、国登録有形文化財 18 件、埋蔵文化財包蔵地 1, 122 箇所です。

これらの文化財を取り巻く環境は、近年の人口減少と少子高齢化による後継者の不足によって、大きく変化しています。特に、無形の民俗文化財は後継者不足に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって多大な影響を受け、継承に困難をきたしています。有形文化財は、未指定文化財を中心に保管場所の空き家化や取り壊し、あるいは後継者の不在によって滅失の危機が迫っており、これらの社会変動への対応が必要です。

様々な困難に直面する文化財を保存する拠点として、博物館・記念館・文化財収蔵場所などの文化財関連施設があります。しかし、開館から 50 年以上が経過して老朽化が進んだ施設もあり、文化財を安定的に保存し、後世に伝える環境を整える必要があります。そのため、文化財関連施設の整備と文化財に関する諸課題へ長期的に対処できる人的体制の整備が必要です。

平成 30 年（2018）に法が改正され、第 183 条の 3 において市町村による「文化財保存活用地域計画」（以下、「地域計画」という。）の作成と文化庁長官による認定が制度化されました。地域計画は、都道府県で策定する文化財保存活用大綱を勘案しつつ、市町村において取り組んでいく目標や取り組みの具体的な内容を記載した、文化財の保存・活用に関するマスタープラン兼アクションプランです。地域計画に従って計画的に取り組むを進めることで、継続性・一貫性のある文化財の保存・活用が一層促進されることから、奥州市も地域計画を作成し、文化財の保存・活用を進めていくこととしました。

(2) 計画作成の目的

奥州市の文化財が現在、直面する課題を解決し、文化財を後世に伝えるためには、従来行われてきた行政と所有者が文化財の保存・活用を進めるという体制のみならず、地域住民や研究機関などの産学官民の多様な担い手が文化財の保存・活用に参加する体制の構築が必要不可欠です。

そのため、文化財の保存・活用に関する中長期的な方向性と短期的な事業計画を定め、多様な担い手が文化財の保存・活用に参加する体制構築を図るべく、「奥州市文化財保存活用地域計画」（以下、「本計画」という。）を作成し、様々な取り組みを実施していきます。

2 計画期間及び進捗管理

(1) 計画期間

本計画の期間は、次期「奥州市総合計画」（令和9年（2027）度～）及び次期「奥州市教育振興基本計画」（令和9年（2027）度～）の改定に合わせ、令和9年（2027）度～令和16年（2034）度の8年間とします。期間は、前期（1年目～4年目）・後期（5年目～8年目）に分けて計画し、前期4年目に計画全体の実施状況を確認し、後期計画に反映させます。



本計画の計画期間

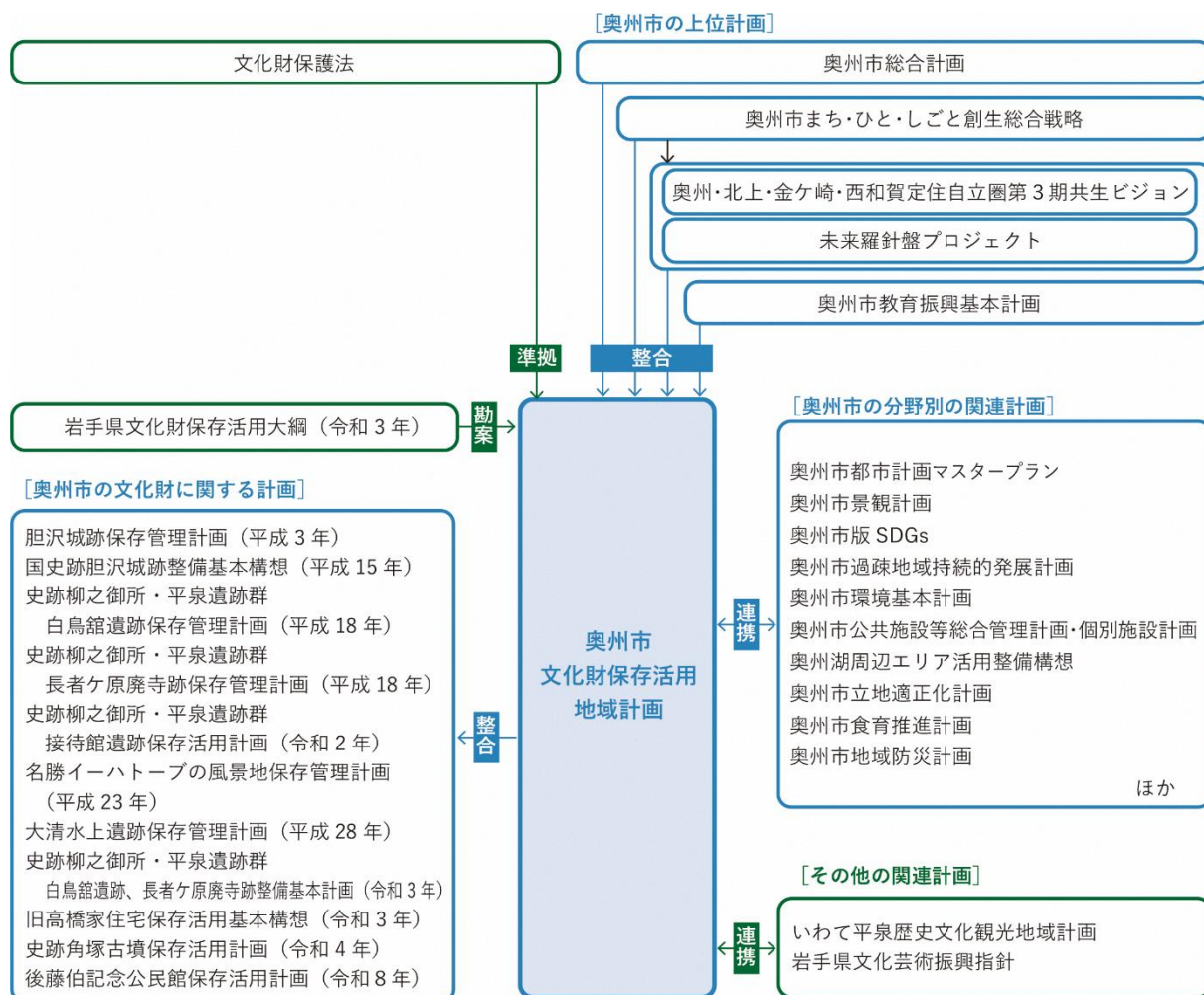
(2) 進捗管理

本計画に記載した取り組みの進捗管理及び点検・評価は、奥州市文化財保護審議会において行います。審議会での点検・評価や事業の進展により状況が変化した場合は、適宜計画内容の見直しを行います。

なお、見直しの結果、「計画期間の変更」、「市内に存する文化財の保存に影響を及ぼすおそれのある変更」、「本計画の実施に支障が生じるおそれのある変更」を行う場合は、法第183条の4に基づき、文化庁長官による変更の認定を受けるものとします。これ以外の軽微な変更を行った場合は、変更の内容について岩手県及び文化庁へ情報提供します。

3 計画の位置付け

本計画は、法第183条の3に基づき、奥州市における文化財保護行政の総合的な計画として作成しました。計画の作成にあたって、「岩手県文化財保存活用大綱」の内容を勘案し、市の最上位計画である「奥州市総合計画」及び教育行政の上位計画である「奥州市教育振興基本計画」などと整合を図りました。また、個別の文化財に関する保存活用計画等は、本計画と整合を図ります。合わせて、県・市の関連計画との連携を図ります。



本計画の位置付け

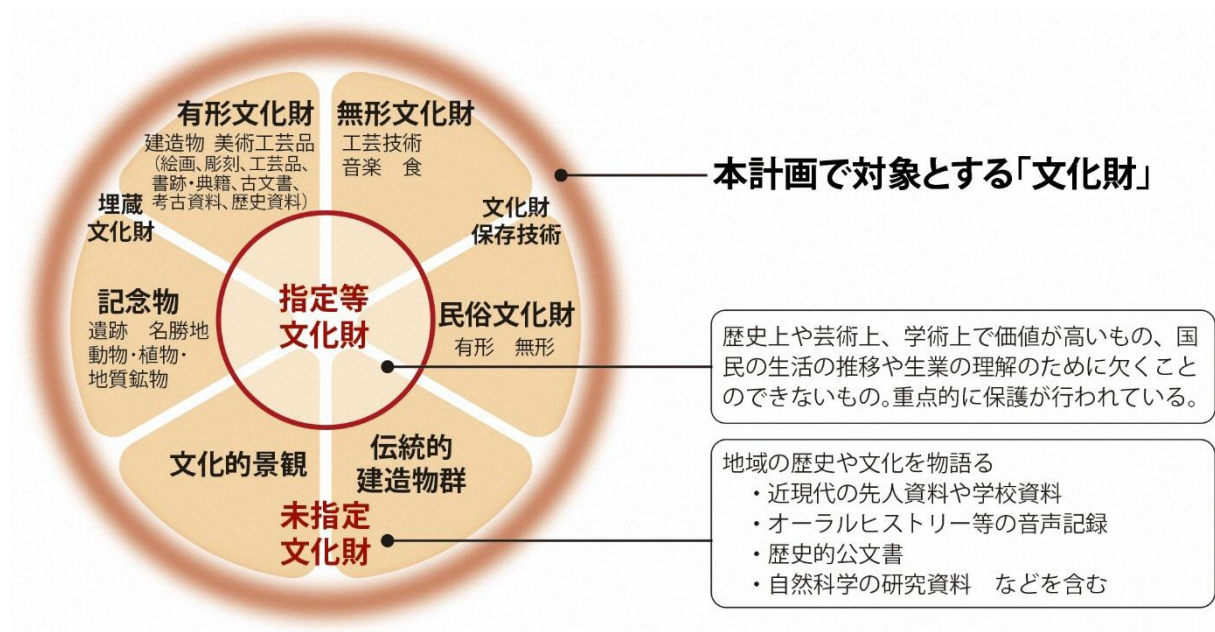
4 本計画における文化財の定義

本計画で対象とする「文化財」の定義は、以下のとおりとします。

本計画における「文化財」は、法第2条に定義する有形文化財・無形文化財・民俗文化財・記念物・文化的景観・伝統的建造物群の6類型および、法が保護対象とする埋蔵文化財と文化財の保存技術とします。

これら「文化財」のうち、重要なものは指定等文化財として重点的に保護が行われています。

一方で、市内には指定等文化財だけでなく、地域の歴史や文化を物語る未指定の文化財が数多く所在します。本計画では、近現代の先人資料や学校資料、オーラルヒストリー等の音声記録、歴史的公文書、自然科学研究資料などの比較的新しい時代の文化財も、法に定義する6類型のいずれかに位置付け、指定の有無に関わらず「文化財」として対象とします。



文化財の定義

指定等文化財とは

国・都道府県・市町村により指定、選定、登録などの制度により法令上保護の措置が図られている文化財です。

未指定文化財とは

法令上保護の措置が図られていないものの、地域の歴史や文化を理解する上で、あるいは指定等文化財の保護上、重要な背景や関連事項を有し、地域全体を考える上で欠くことのできない文化財です。

先人資料とは

現在の奥州市内出身あるいは奥州市内で暮らしていた、政治・芸術・学術・地域振興などに功績のあった人物に関する日記や書簡、揮毫、歴史的公文書、音声記録などの文化財の総称で、特に19世紀以降の資料を指します。存命者の資料は含まれません。

第1章 奥州市の概要

1 自然・地理的環境

(1) 位置・面積

奥州市は、岩手県の内陸南部に位置し、北は花巻市・北上市・金ケ崎町・西和賀町、南は一関市・平泉町、東は遠野市・住田町、西は秋田県東成瀬村に接しています。総面積は、993.30㎢で、南北約37km、東西約57kmあります。



奥州市の位置図

(2) 地域と地区の区分

本計画では、令和8年（2026）3月時点での地域・地区の区分を準用します。

地域の区分は、「水沢地域」・「江刺地域」・「前沢地域」・「胆沢地域」・「衣川地域」の5地域があります。この5地域は、平成18年（2006）に合併した2市2町1村の区域を範囲としています。

5地域は、地区に区分されます。市内には、30地区が存在し、その多くは昭和時代中期の合併前の町・村を範囲としています。



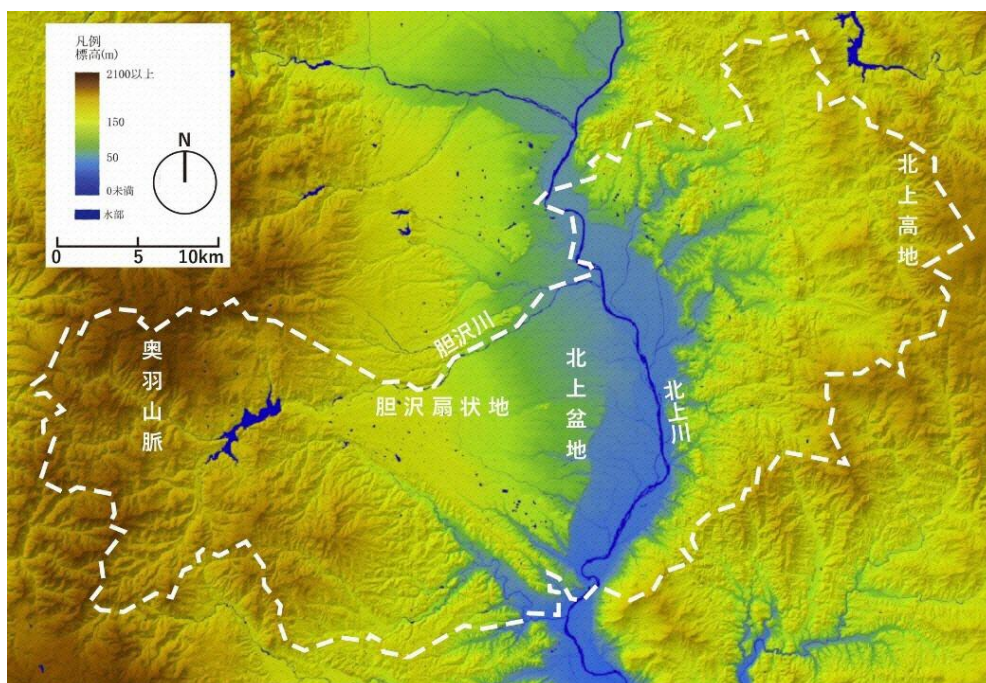
市内の地域・地区

(3) 地形・地質

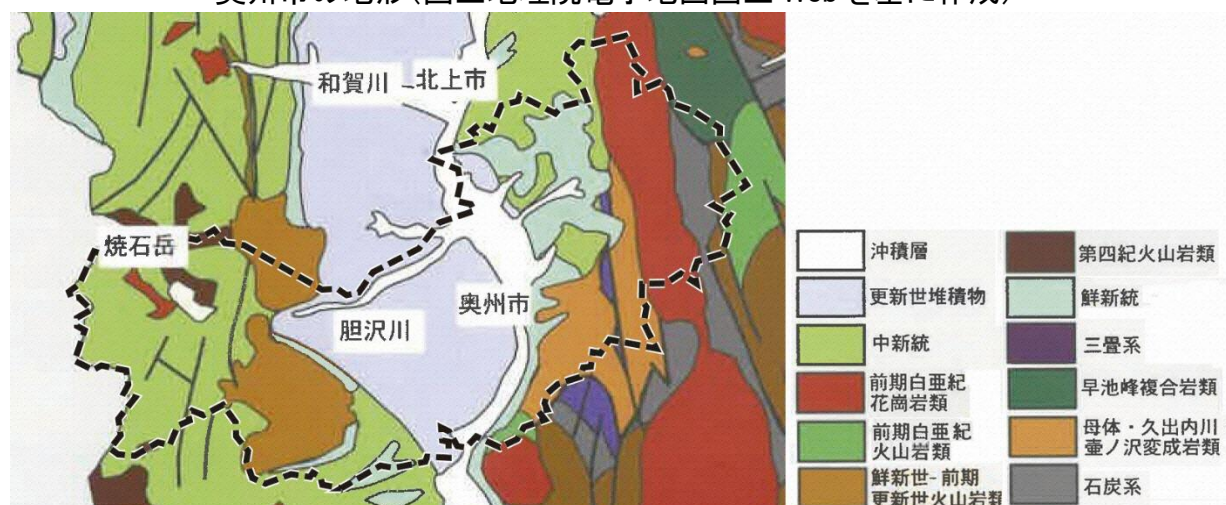
奥州市は、中央部に北上盆地が広がり、西部に奥羽山脈、東部に北上高地が位置しています。中央部には、北上川が南へ流れています。奥羽山脈から北上川に向かって胆沢川が流れ、胆沢扇状地をつくっています。

北上高地は、前期白亜紀の地殻変動によって地殻が隆起し、原型が形成されました。この地殻変動により、古い地層が押し上げられ、そこに花崗岩質のマグマが入り込み、様々な鉱床や変成岩が形成されました。

奥羽山脈は、新生代の第四紀更新世の地殻変動で大きく隆起しました。この地殻変動により、北上高地との間に北上盆地ができました。また、奥羽山脈は脆い火山岩でできており、それらが崩れて胆沢川によって運ばれて堆積し、胆沢扇状地を形成しました。



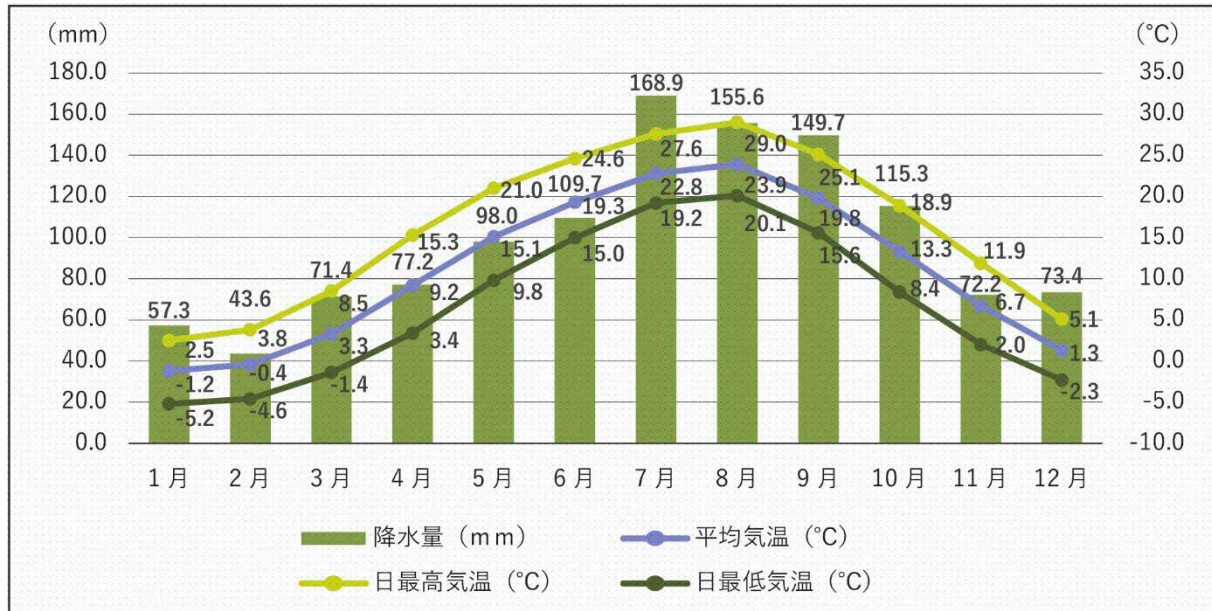
奥州市の地形(国土地理院電子地図国土 Web を基に作成)



奥州市の地質(岩手県立博物館「岩手県地質図」を基に作成)

(4) 気候

奥州市は、東西に長く広がっているため、気温や降水量は東西で差があります。市の西部は、日本海側の影響を受け、降水量・積雪量が多くなっています。市中央部から北上高地にかけては、内陸性気候、盆地性気候に属し、年間の気温差が大きいです。



年間の降水量・気温
(1991-2020 年平均値、観測点: 江刺、気象庁観測データ)

2 社会的状況

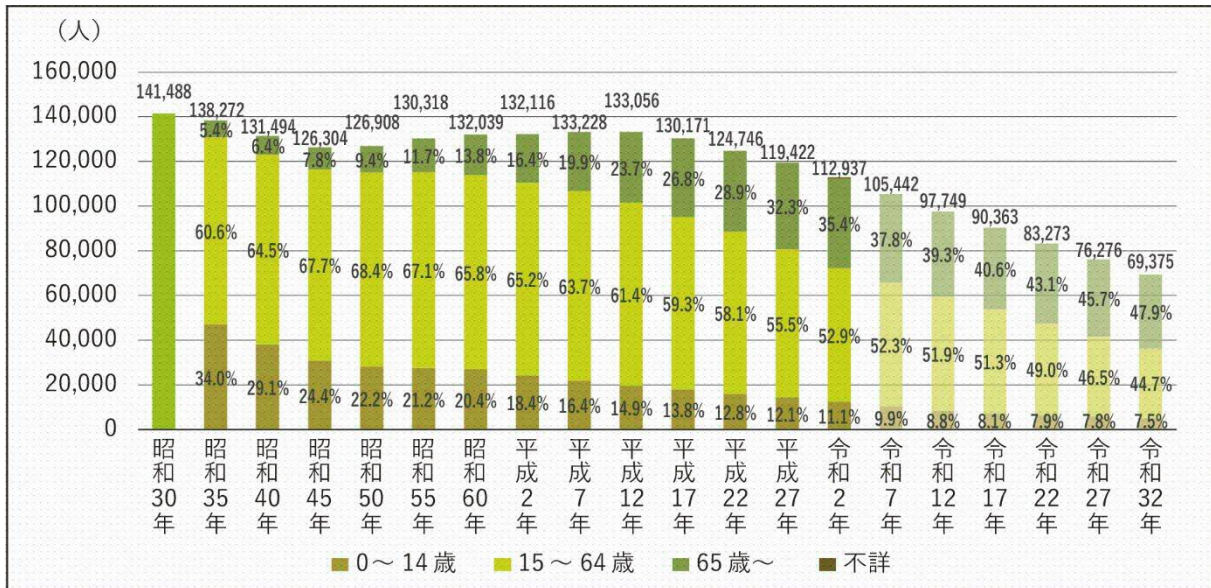
(1) 人口の推移

奥州市の人口は、令和8年(2026)3月31日現在、105,490人です。

人口推移をみると、奥州市(合併前は旧自治体人口の合算)の人口は、昭和30年(1955)の141,488人が最大でした。その後は減少傾向となり、昭和50年(1975)に微増へ転じました。しかし、平成12年(2000)に再び減少へ転じ、合併直前の平成17年(2005)に130,171人、令和2年(2020)に112,937人と急激な人口減少が続いています。

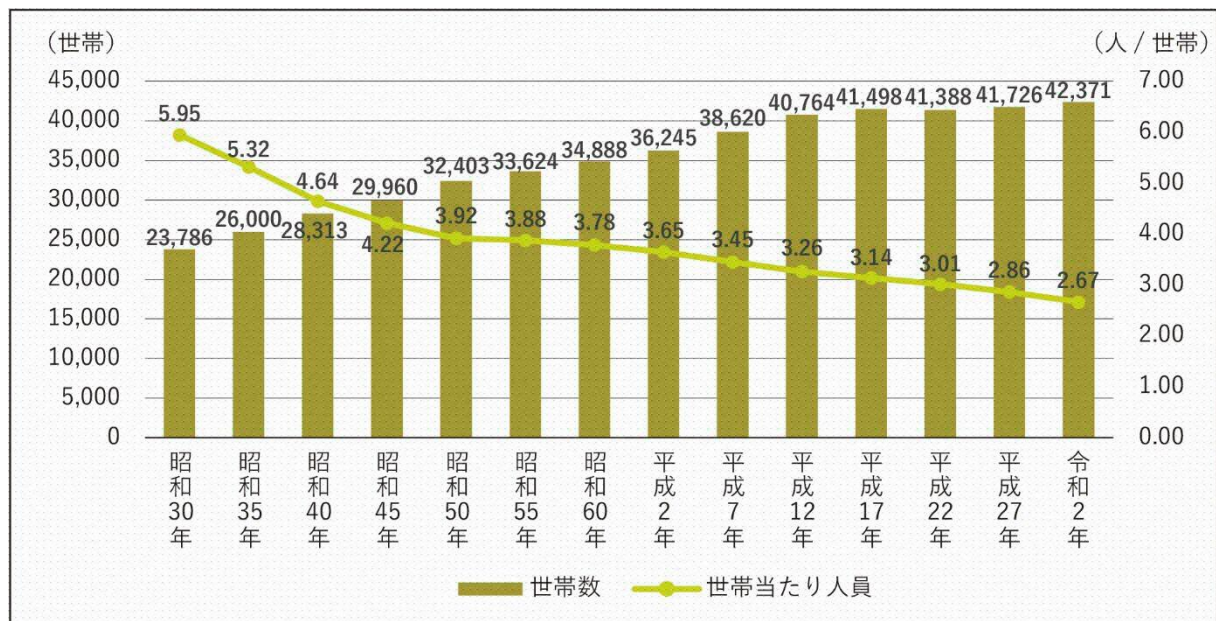
世帯数は、昭和30年(1955)に23,786世帯でしたが、微増傾向が続き、令和2年(2020)に42,371世帯です。また、人口の3区分別構成割合は令和2年(2020)時点で15歳未満が11.1%、15~64歳が53.2%、65歳以上が35.6%で、人口に占める65歳以上の割合が多くなっています。

国立社会保障・人口問題研究所による令和5年(2023)の人口推計で、奥州市は令和12年(2030)に人口が97,749人となって10万人を割り込み、令和22年(2040)に83,273人、令和32年(2050)に69,375人になると予測されています。



人口の推移と将来推計

(～令和2年:国勢調査、令和7年～:国立社会保障・人口問題研究所、令和5年推計)



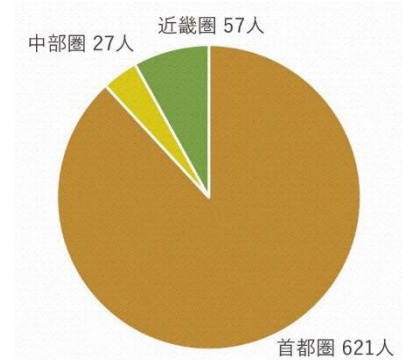
世帯数の推移(国勢調査)

(2) 関係人口

関係人口とは、特定地域と継続的かつ多様に関わり、地域課題の解決に資する人などの人口を指します。国土交通省「ライフスタイルの多様化と関係人口に関する懇談会」が令和2年(2020)に公表した実態把握調査の資料では、三大都市圏居住者において、約861万人(18.4%)が関係人口として、日常生活圏、通勤圏等以外の特定の地域を訪問しているというデータが公表されています。岩手県の関係人口について三大都市圏別にみると、首都圏が

621 人、中部圏が 27 人、近畿圏が 57 人となっており、首都圏の関係人口が多くなっています。

奥州市では、奥州市まち・ひと・しごと創生総合戦略において交流人口・関係人口の拡大を挙げています。



三大都市圏からの岩手県の関係人口
「地域との関わりについてのアンケート」
(国土交通省、令和2年)により作成

(3) 空き家件数の推移

令和6年(2024)度の調査による市内の空き家件数は3,715件で、令和3年(2021)度と比して123.8%に増加しています。空き家になった原因は、居住者の死亡または施設入所によるものが圧倒的に多い状況です。

地域	H27	H30	R3	R6	増減 (R6/R3)
水沢	979	1,092	1,236	1,458	118.0%
江刺	774	968	1,116	1,384	124.0%
前沢	222	269	316	421	133.2%
胆沢	172	204	251	327	130.3%
衣川	45	70	81	125	154.3%
合計	2,192	2,603	3,000	3,715	123.8%

空き家の件数(空き家実態調査(奥州市))

(4) 交通

道路は、国道4号が南北に通り、国道397号が岩手県大船渡市から江刺・水沢・胆沢を東西に横断して秋田県に、国道343号が水沢から陸前高田市に通じています。このほか、国道456号が江刺・水沢地域を南北に貫き、国道107号が江刺梁川地域を通っています。

また、東北自動車道が南北に通り、南から奥州スマートインターチェンジ・水沢インターチェンジが市内に、平泉町との境界に平泉前沢インターチェンジがあります。江刺梁川地域を釜石自動車道が通り、江刺田瀬インターチェンジがあります。

鉄道は、JR東日本の東北新幹線(水沢江刺駅)、東北本線(水沢駅・陸中折居駅・前沢駅)があります。このほか、市内の公共交通は、バス(民間・市営)・乗合タクシー・一般タクシー等があります。



市内の交通ネットワーク

(5) 観光

奥州市の観光客数は、令和元年（2019）に 160 万人を超えましたが、令和 2 年（2020）に新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により減少しました。徐々に回復し、令和 5 年（2023）に約 127 万人となりました。

特に、歴史公園えさし藤原の郷は、令和6年(2024)度に約17万人の観光客が訪れました。

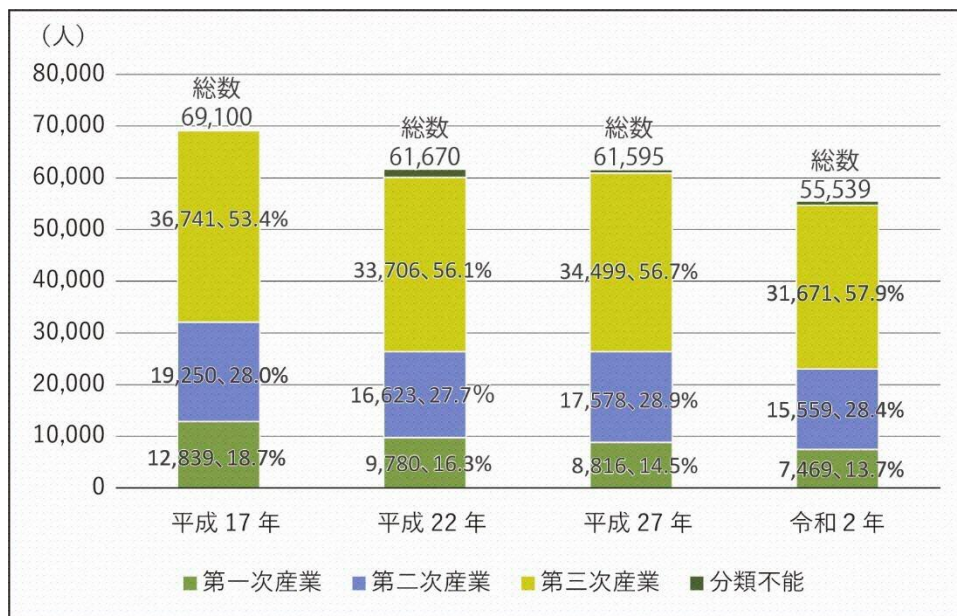


観光客数の推移(岩手県観光統計)

（６）産業構造

奥州市は、稲作を中心とした複合型農業により、県内屈指の農業地帯です。また、交通の利便性の良さを背景に商業集積が進み、工業団地等も整備されています。

令和２年（2020）の産業別就業者割合は、第三次産業が最も多く 57.9%、次いで第二次産業が 28.4%、第一次産業が 13.7%です。近年の推移をみると、人口減少に伴い就労者人口も減少し、第三次産業の割合が増加、第一次産業が減少傾向にあります。また、第一次産業は農業の就業者数が減少しています。第三次産業は、各産業の従事者数は横ばいか減少ですが、医療福祉の従事者数は増加しています。



産業別 15 歳以上就業者数(国勢調査)

（７）文化財関連施設

文化財関連施設は、文化財や歴史、文化及び自然等の展示を行う博物館等の文化財展示施設、展示機能はないものの文化財を収蔵している文化財収蔵場所のほか、歴史的建造物、歴史公園、史跡附属施設があります。また、地区センターや学校施設などでも文化財を収蔵している施設があります。

文化財展示施設は、旧自治体時代に建設された先人の業績を個別に紹介する記念館のほか、畜産学に特化した登録博物館の「奥州市牛の博物館」があります。また、博物館類似施設として、胆沢城跡に関する展示を行う「奥州市埋蔵文化財調査センター」や地域の歴史を体系的に展示する「胆沢郷土資料館」や「えさし郷土文化館」など、多様な性格を持つ施設が設置されていますが、奥州市全体の文化財や歴史文化を展示する施設はありません。また、文化財展示施設に収蔵しきれない文化財は、地区センターや廃止した公共施設などを転用した文化財収蔵場所等に分散して収蔵しています。

市が管理する歴史的建造物は、水沢地域に集中するほか、江刺地域の岩谷堂地区や前沢地

域の生母地区にも所在しています。歴史公園は、遺跡や歴史文化に関する場所に設置しています。ガイド施設や駐車場・トイレなどの史跡附属施設は、市で管理している史跡のうち、胆沢城跡や白鳥館遺跡、長者ヶ原廃寺跡、角塚古墳に設置しています。

文化財展示施設

施設名	開館	概要
木村 榮 記念館	昭和 41 年 (1966)	旧臨時緯度観測所本館（国登録有形文化財）を利用し、緯度観測所初代所長である木村栄の業績を顕彰する記念館。所長室を再現し、使用していた眼視天頂儀や歴代の観測装置等を展示している。
消防記念館	昭和 45 年 (1970)	江戸時代末期から明治・大正時代の消防に関する資料を収集、展示している。
高野長 英 記念館	昭和 46 年 (1971)	郷土の先覚者高野長英を顕彰する記念館であり、訳書、著書、手紙および遺品などを収蔵している。
斎藤 實 記念館	昭和 50 年 (1975)	斎藤實の旧宅敷地に建つ記念館。業績を示す勲章や礼装品などを展示している。記念館の一部として、国登録有形文化財斎藤子爵水沢文庫図書館・図書閲覧所も公開している。
後藤新平記念館	昭和 53 年 (1978)	奥州市水沢に生まれた後藤新平の記念館。幼少時代から晩年に至る資料を数多く展示している。
奥州市伝統産業会館	昭和 61 年 (1986)	南部鉄器発祥の地の歴史を伝える資料が展示されているほか、鉄器づくりの工程を紹介している。
水沢図書館	平成元年 (1989)	古文書書庫に留守家文書（国指定重要文化財）等を保管しているほか、木村栄関係の資料を展示している。
胆沢郷土資料館	平成 3 年 (1991)	胆沢地域の歴史や民俗などを紹介する施設。約 3 万年前の旧石器や弥生時代の石包丁、角塚古墳出土埴輪、民具などを展示している。
奥州市武家住宅資料館	平成 5 年 (1993)	「探訪・城下町水沢」をテーマに、江戸時代の水沢の町並みを概観できる地図や武具などの資料を展示している。
奥州市埋蔵文化財調査センター	平成 5 年 (1993)	埋蔵文化財を調査・研究し、その資料を展示している。胆沢城跡歴史公園を含む国指定史跡「胆沢城跡」のガイダンス施設としての役割を担う。
三好京三 記念室	平成 6 年 (1994)	奥州市前沢出身の直木賞作家である三好京三の資料を展示する記念室。衣川ふるさと自然塾内の旧衣川小学校大森分校職員室を使用している。
奥州市牛の博物館	平成 7 年 (1995)	「牛と人との共存を探り、生命・自然・人間を知る」をテーマに掲げた牛専門の登録博物館である。
衣川歴史ふれあい館	平成 7 年 (1995)	前九年合戦と安倍一族をテーマとし、安倍貞任と源義家、前九年合戦の名場面を再現している。
えさし郷土文化館	平成 12 年 (2000)	江刺地方の歴史や文化と地域産業、連綿と培われてきた祈りの伝統を、豊富な実物資料や復元資料を通じて楽しみながら学ぶことができる。
めんこい美術館	平成 13 年 (2001)	奥州市水沢出身の佐々木精治郎の絵画作品と、世界のアゲハチョウ標本の常設展示がある。
菊田一夫 記念館	平成 15 年 (2003)	展示棟として利用している中善蔵は、市指定文化財。ラジオドラマ「鐘の鳴る丘」で有名な劇作家菊田一夫の生涯と作品

		資料を展示している。
奥州宇宙遊学館	平成 20 年 (2008)	旧緯度観測所本館（国登録有形文化財）として使用されていた建物で、子どもから高齢者まで天文や宇宙について楽しく学べる。

文化財収蔵場所

益沢院収蔵庫、前沢文化財収蔵庫、前沢文化財整理室、おだき文化財整理室、胆沢図書館、衣川セミナーハウス、梁川地区センター資料室、稲瀬地区センター郷土資料室、米里地区センター、南都田地区センター、北股地区センター郷土資料室、水沢小学校郷土資料室、旧前沢小学校郷土資料室、旧上野原小学校、旧胆沢愛宕いさわあたご小学校郷土資料室、旧江刺東中学校、胆沢総合支所、旧衣川給食センター

市が管理する歴史的建造物

建物名称	建築年代
旧後藤家住宅	元禄年間（1699～1703年）
旧高橋家住宅（主屋・土蔵ほか）	明治21年（1888）ほか
高野長英旧宅	江戸時代
後藤新平旧宅	18世紀前期
旧岩谷堂共立病院	明治7年（1874）
旧後藤正治郎家住宅 きゅうごとうしやうじろうけ	19世紀前期

建物名称	建築年代
旧内田家住宅（主屋・門） きゅううちだけ	19世紀初期
旧安倍家住宅（主屋・板蔵ほか）	明治時代、大正時代後期
齋藤子爵水沢文庫（図書庫・図書閲覧所）	昭和7年（1932）
旧高野家住宅（古稀庵・新座敷ほか）	昭和6年（1931）ほか
後藤伯記念公民館	昭和16（1941）年
旧緯度観測所本館	明治・大正時代

歴史公園

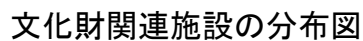
公園名称	設置年
後藤寿庵館跡公園 ごとうじゅあんたてあと	平成18年（2006）
高野長英誕生地	平成18年（2006）
胆沢城跡歴史公園	令和元年（2019）
豊田館跡公園 とよたのたちあと	平成6年（1994）

公園名称	設置年
益沢院跡公園	平成6年（1994）
館山公園	平成10年（1998）
鹿合館跡公園 ししかわせたてあと	平成18年（2006）
安倍館跡公園 あべたてあと	平成18年（2006）

市が管理する史跡

史跡名称	年代
大清水上遺跡 おおすずかみ	縄文時代前期後葉
角塚古墳	古墳時代中期
胆沢城跡	平安時代前期
長者ヶ原廃寺跡	平安時代末期

史跡名称	年代
白鳥館遺跡	平安～室町時代
接待館遺跡 せったいだて	平安時代末期
高野長英旧宅	江戸時代末期
豊田城跡碑 とよたじやうあとひ	江戸時代



3 歴史的背景

(1) 原始

市内最古の遺跡は上萩森遺跡^{かみはぎもり}で、後期旧石器時代の石器が出土しています。旧石器時代は打製石器を使用し、季節によって遊動する生活を送っていました。このほかにも、胆沢川沿いの高位面や北上高地に、旧石器時代から縄文時代草創期の遺跡があります。

縄文時代に入ると土器の使用が始まり、人々は特定の土地に定住するようになります。縄文時代前期に、人々が定住して大規模なムラを作るようになり、市内でも遺跡が増えます。なかでも胆沢扇状地扇頂部付近に所在する大清水上遺跡は、大型竪穴住居群で構成される環状集落で、縄文時代前期後葉の拠点的な大集落です。縄文時代中期後葉から気候が冷涼になり、縄文時代後期・晩期に、集落が各地に分散し、遺跡数が増加します。また、晩期に北上川沿いなどに大規模な集落が営まれました。

弥生時代の遺跡は、胆沢川下流域から北上盆地に多く見つかります。市内でも稲作が始まっていた可能性を示すものとして、清水下遺跡^{しみずした}出土の石包丁があります。

古墳時代中期の角塚古墳は、日本最北の前方後円墳^{なかはんにつう}です。沢田遺跡の円墳群や拠点集落と考えられる中半入遺跡、石田Ⅰ・Ⅱ遺跡では、古墳文化と続縄文文化の遺物が共伴しており、列島の南北の境界地帯であったことを示しています。

(2) 古代

平安時代は、東北地方に住む人々は大和朝廷から蝦夷^{えみし}と呼ばれ、たびたび征夷の対象となりました。延暦5年(774)に朝廷による蝦夷征討が始まり、延暦21年(802)に坂上田村麻呂^{さかのうえのたむらもろ}が胆沢城を造営しました。同年、胆沢地方の蝦夷族長であった大墓公阿弭流為^{あてりい}、盤具公母礼^{もれ}らが降伏します。まもなく胆沢城は鎮守府となり、10世紀後半まで陸奥国北部を支配する拠点でした。この頃、市内に仏教文化が広まり、黒石寺の木造薬師如来坐像^{もくぞうやくしにょらいざざう}や浅井^{あさい}

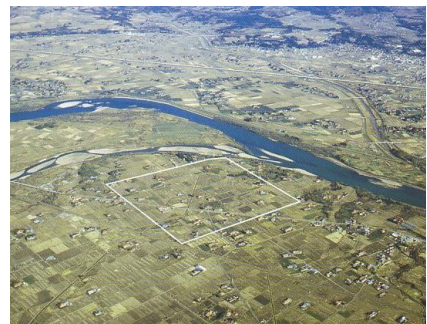


大清水上遺跡

提供：(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター



角塚古墳



胆沢城跡

智^ち福^{ふく}愛^{あた}宕^ご神社の木造^{もくぞう}毘^び沙^{しゃ}門^{もん}天^{てん}立^{りゅう}像^{ざう}が造立^{ぞうたて}されました。また、市内に現存する駒^{こま}形^{がた}神社と石^{いわ}手^て堰^え神社が史書に現れ、古代から信仰されていたことが分かります。

11世紀に奥^{おく}六^{ろく}郡^{ぐん}（胆^{かん}沢^ざ・江^え刺^さ・和^わ賀^が・稗^{はい}貫^{くわん}・斯^す波^は・岩^い手^て郡^{ぐん}）を治めていた安倍氏が境界である衣川を越えて朝廷と衝突し、前九年合戦が起こります。前九年合戦は、安倍氏が敗北しましたが、この後、朝廷方として参戦していた出^で羽^わ仙^{せん}北^{ぼく}三^{さん}郡^{ぐん}の清原氏で内紛が起こり、後三年合戦が勃発します。後三年合戦で清原一族の多くが死亡しましたが、安倍氏の血を引き、かつ当時清原氏の養子となっていた平泉藤原氏初代^{ふじわらのきよひら}の藤原清衡は、朝廷側について生き延びました。衣川に關係する寺院と推定される長者ヶ原廢寺跡は、この頃の衣川が境界地帯であったことを示しています。

11世紀末から12世紀初頭に、藤原清衡は江刺郡の豊田館から平泉に進出し、朝廷と結びつきを持ちつつ、寺院を中心とした都市平泉を繁栄させました。12世紀に川湊として使用が始まった白鳥館遺跡や大量のかわらけを伴う儀礼が行われた痕跡がある衣川の接待館遺跡は、平泉の都市機能を担っていました。



木造毘沙門天立像



接待館遺跡

提供：（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

（3）中世

文治5年（1189）の奥州合戦で平泉藤原氏が滅亡し、胆沢・江刺・磐井郡は、源頼朝の御家人で、奥州惣奉行に任じられた葛西^{かさい}清重^{きよしげ}に与えられました。清重は、頼朝から「葛西五郡二保」（胆沢・江刺・磐井・気仙・牡鹿郡、黄海・興田保）と呼ばれる広大な所領が与えられました。清重の所領の北は、和賀・稗貫郡が小野姓^{おののせい}中^{ちゅう}条^{じょう}氏^し、遠野保が阿曾沼氏^{あそぬま}に与えられました。

鎌倉時代に、胆沢・江刺・磐井郡に所領を有していた平泉の中尊寺と現地支配を進める葛西氏とが対立しました。南北朝時代に入ると、葛西氏の惣領制が緩み、胆沢・江刺郡で葛西一族とその被官の自立が進みました。

室町時代は、領主間の連携が進み、胆沢郡の柏山氏^{かしやま}と江刺郡の江刺氏^{えさし}を中心に勢力がまとまります。戦国時代は、柏山氏や江



絹本著色開山良詔画像

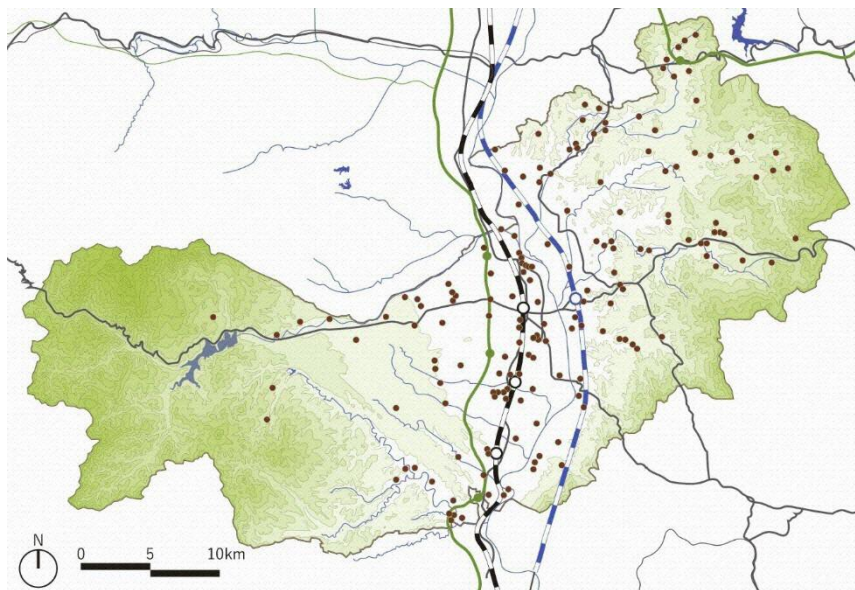
刺氏などの領主は絶えず抗争を繰り返しており、その影響によって岩谷堂城や水沢城などの城館が構えられました。

中世に、新仏教がこの地にも伝わります。宝治2年(1248) 銘の木造阿弥陀如来立像は、この地域に浄土宗が伝播したことを示します。貞和4年(1348)に開山した正法寺は、陸奥・出羽国の曹洞宗の本寺としての寺格を有し、地域の領主の支持を受けることにも成功し、発展しました。また、マイリノホトケ信仰も南北朝時代から始まります。

天正18年(1590)の豊臣秀吉による奥羽仕置により、葛西氏やその一族・家臣は所領を失いました。この仕置に反発した人々は、葛西・大崎一揆を起こしました。しかし、翌年に豊臣政権に鎮圧され、葛西旧領は伊達政宗に与えられました。



まいりの仏



市内の中世城館位置図(鎌倉時代～安土桃山時代)

(4) 近世

胆沢・江刺郡は仙台の伊達政宗に与えられた葛西旧領の北端で、南部氏と境を接しました。その境界をめぐって伊達・南部氏の間で争いが起きますが、幕藩体制成立後の寛永18年(1641)に決着しました。

幕藩体制の成立後、仙台藩は、藩士が藩主から与えられた知行地を直接支配する地方知行

制^{せい}を採用しました。胆沢・江刺郡に知行地を与えられた
 後藤^{ごとう}寿庵^{じゅあん}などの藩士は、胆沢郡の寿安堰^{じゅあんげき}・葦名堰^{あしなげき}や江刺
 郡の樋茂井堰^{ひもいげき}・鹿股堰^{かのまたせき}などの「堰」と呼ばれる用水路の
 開削や新田開発を進め、藩内有数の穀倉地帯を築きまし
 た。また、盛岡藩（南部氏）との境に隣接する場所や街
 道沿いの要衝に、伊達一族などの有力藩士が配置されま
 した。これらの拠点^{ようがい}は、要害制が確立すると、要害（岩
 谷堂^{ひとかべ}・水沢^{みづさわ}・人首^{ひとくび}）と所（前沢^{のてさき}・野手崎^{のてさき}）に位置付けら
 れました。水沢要害の町場に残る後藤新平旧宅や旧内田
 家住宅は、武士の暮らしを伝えています。

仙台藩政下の地域支配は、仙台藩士のみが担っていた
 訳ではありません。村落支配は、各村の有力者から任じ
 られる肝入^{きもいり}が担当しました。肝入のとりまとめ役とし
 て、数村から十数村に一人、大肝入^{おおきもいり}が任じられ、広域行
 政を担いました。また、地域で収穫された米を石巻港ま
 で送る北上川舟運の管理のため、肝入の中から
 上川御艀^{かみかわおひらたきもいり}肝入が選任されました。行政を地域の人々が担
 ったことにより、胆沢郡大肝入の「新里の中屋敷千田家
 文書」などの地域支配に関する文書が、藩中央でなく
 地域に残されました。旧後藤家住宅や旧後藤正治郎^{しょうじろう}家住
 宅は、村の暮らしぶりを伝えています。

近世後期に、水沢要害の町場で日高火防祭^{ひたかひぶせまつり}が始まりま
 した。また、農村に神楽^{かぐら}や鹿踊^{ししおどり}、剣舞^{けんばい}などの民俗芸能が
 伝わりました。現在まで伝わる無形の民俗文化財の原型
 は、この頃の暮らしと関わって成立しています。



旧後藤家住宅



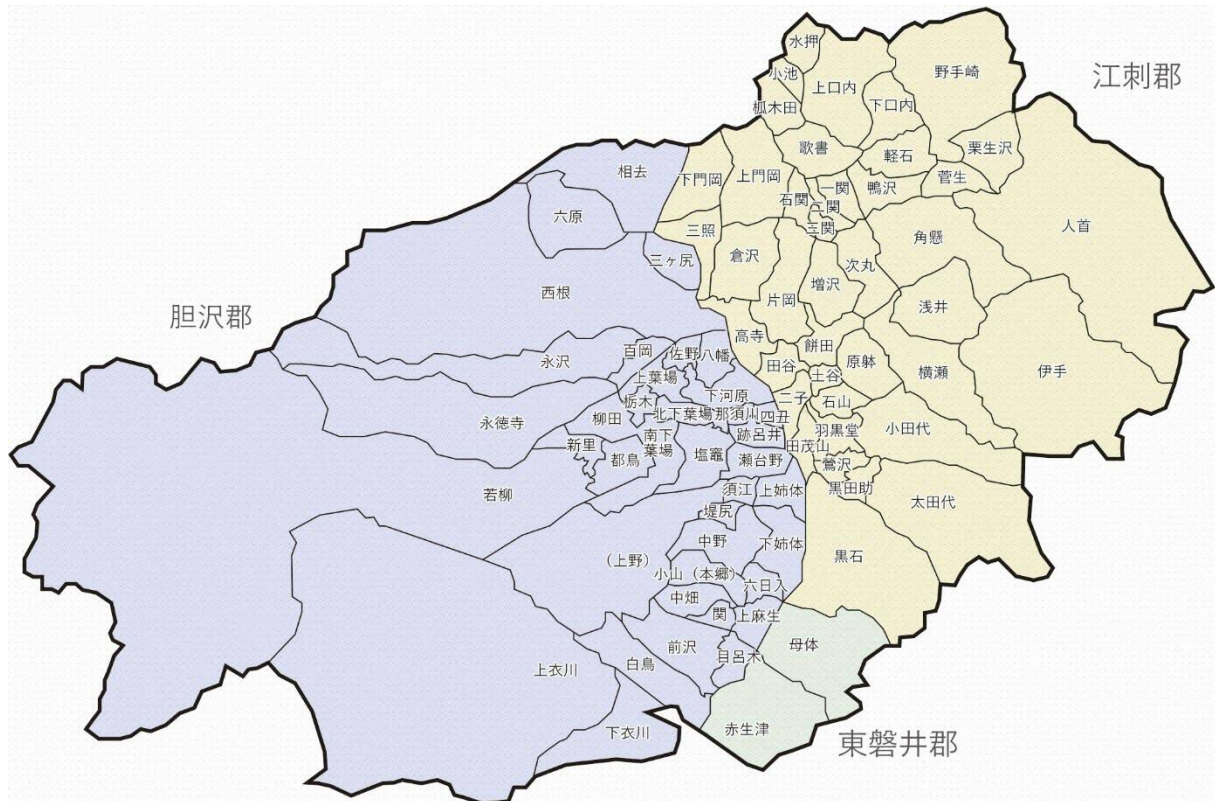
上伊澤元禄絵図



日高火防祭



仙台藩の要害・所



近世における胆沢・江刺郡(東磐井郡の母体・赤生津村含む)の村

(5) 近代

明治維新後、藩が解体され新たに県が設置されました。現在の奥州市内は、明治9年(1876)に岩手県に属しました。また、近世の村は再編されて、近代の行政区画である町や村になりました。また、町や村は胆沢・江刺・東磐井郡に属し、胆沢郡役所が水沢町、江刺郡役所が岩谷堂町に置かれました。明治7年(1874)竣工の旧岩谷堂共立病院は、西洋建築の意匠を取り入れた擬洋風建築で、明治初期に西洋医学医療の導入が図られたことを示しています。



旧岩谷堂共立病院

郡内では、元々武士や商人が集住していた旧要害・所の町場に商工業者が集中し、商業を中心とした都市部を形成しました。特に、水沢・岩谷堂・前沢の発展は目覚ましく、旧高橋家住宅を建築した高橋家のように、近代の地域政治・経済に大きな影響を持つ家が誕生しました。

一方、都市部以外の地域は農業を主たる産業とする農村部となりました。明治時代後半から、江刺郡東部の北上高地あかがねこうざんで赤金鉱山等の開発が進められ、鉱山周辺の村で人口が増加しました。また、明治23年（1890）に東北本線水沢駅が開業し、人の往来も盛んになりました。

明治時代以降は職業選択が自由となり、市内から国内外で功績を挙げた多くの先人が出ました。彼らの業績は人々に顕彰され、それに伴って多くの歴史資料が残されました。また、市内に先人の名を冠する文化財があります。

内閣総理大臣などを歴任した斎藤實は、故郷の子弟教育のため斎藤子爵水沢文庫を開設しました。内務大臣などを歴任した後藤新平の没後、かつての部下、正力松太郎はその恩義に報いるため、新平の故郷である水沢に後藤伯記念公民館を建設しました。

（6）現代

太平洋戦争の後、自治体の合併が全国で進められました。この昭和の合併の結果、水沢市・江刺市・前沢町・胆沢町が誕生しました。この時、東磐井郡に属していた生母村（現在の生母地区）は前沢町に合併しました。また、江刺郡稲瀬村は分離し、現在は奥州市江刺稲瀬地区と北上市稲瀬地区になりました。衣川村は合併せず、明治22年（1889）の村を維持しました。この時の旧市町村が、現在の水沢・江刺・前沢・胆沢・衣川地域の範囲となっています。

近代に人口が集中していた水沢地区や岩谷堂地区、前沢地区は、戦後も都市部として商業の中心地になっています。これらの地域を核として、水沢南地区や常盤地区、江刺おだき愛宕地区などで宅地開発が進みました。また、東北自動車道や東北新幹線の開通など、交通網も整備されました。一方で、平成時代から人口減少の傾向が顕在化し始め、特に市東西の奥羽山脈・北上高地に近い地区でその傾向が顕著です。

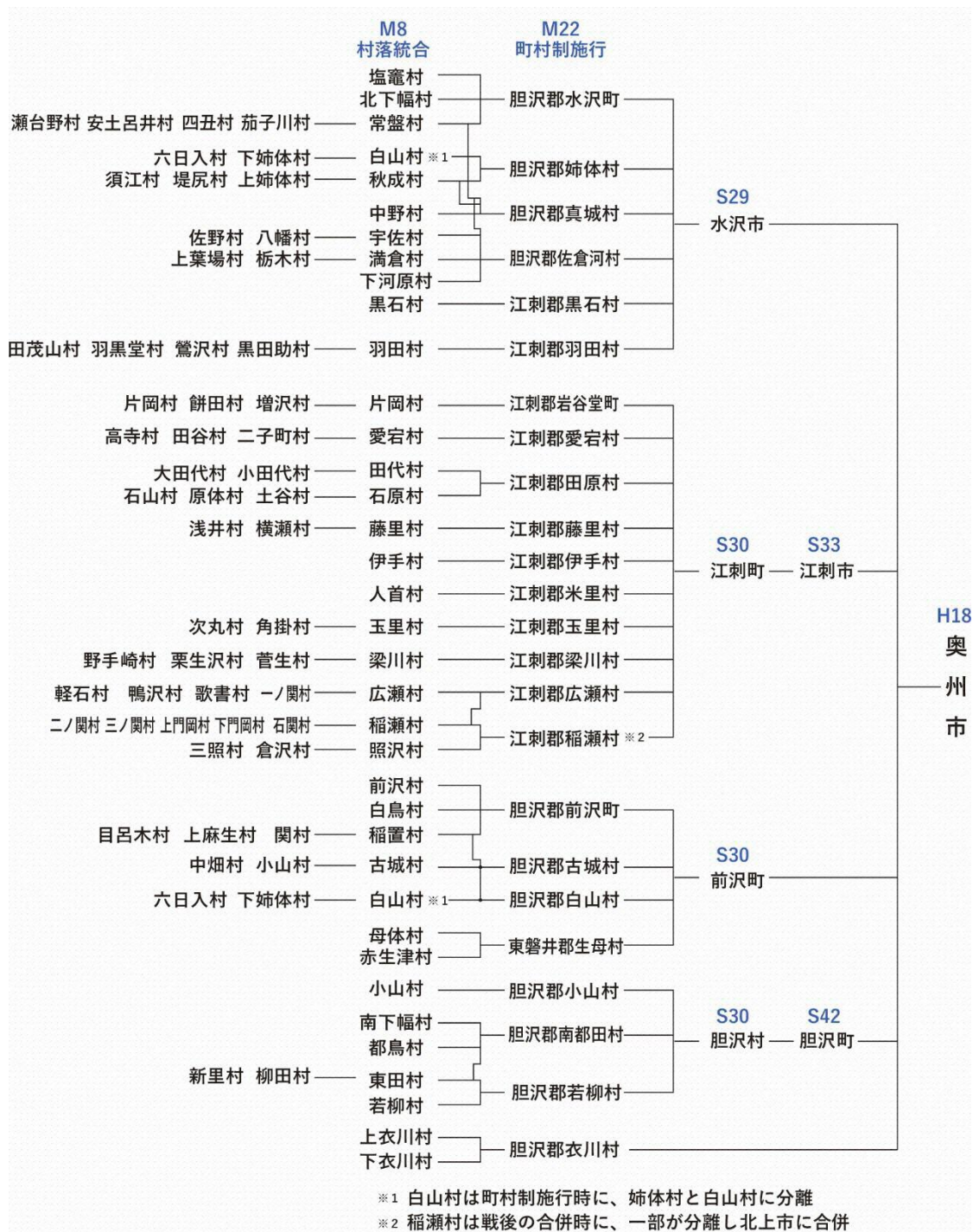
平成18年（2006）、人口減少や少子高齢化による社会情勢変化への対応や将来にわたって持続可能な行政サービスを構築していくため、水沢市・江刺市・前沢町・胆沢町・衣川村が合併し、奥州市が誕生しました。



旧高橋家住宅主屋_玄関



旧高橋家住宅主屋_龍の間天井



明治時代以降の市町村合併経過

第2章 文化財の概要と特徴

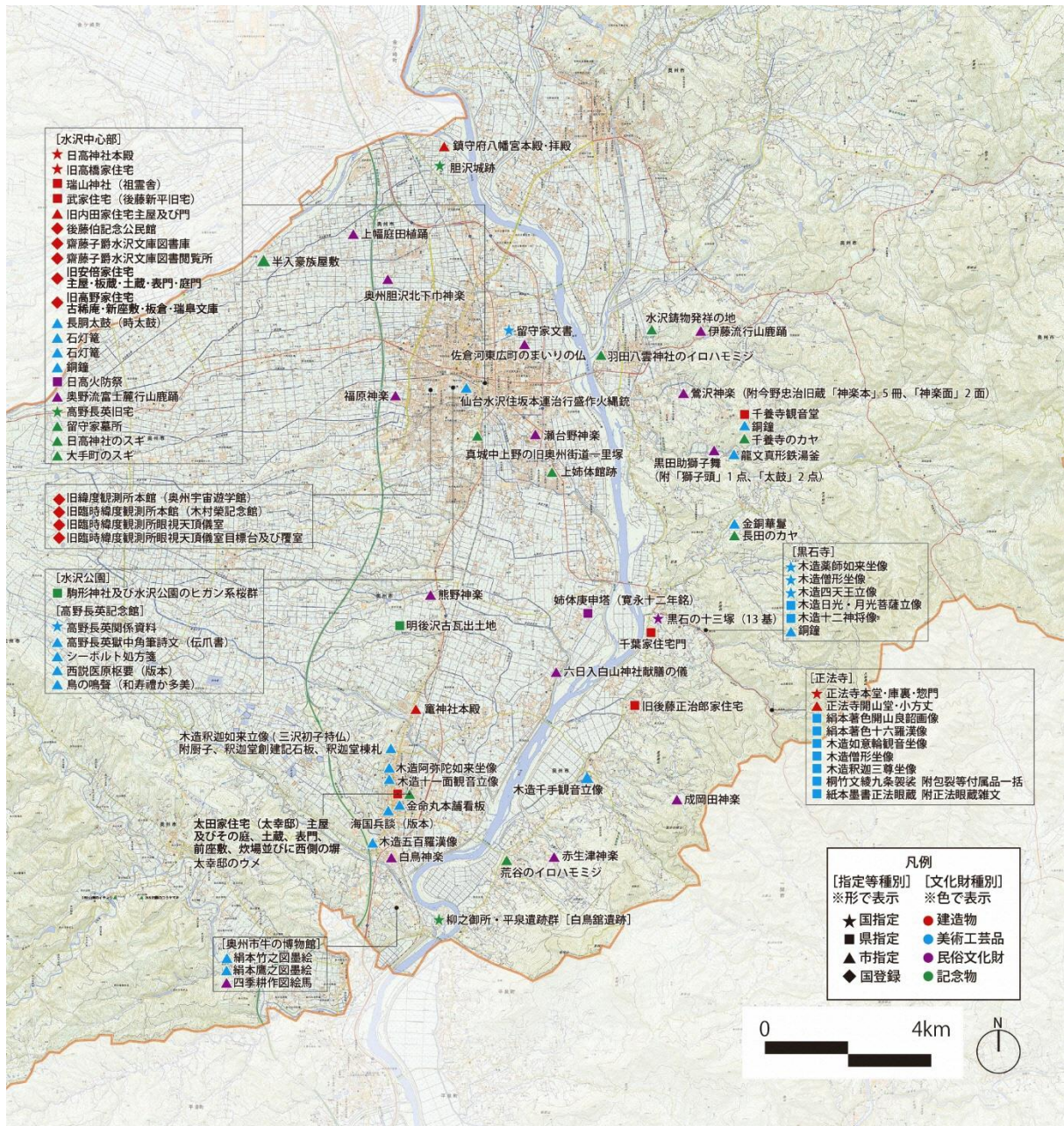
1 指定等文化財

令和8年（2026）3月31日時点で奥州市に所在する国指定・登録文化財、岩手県指定文化財、奥州市指定文化財の件数は合計313件です。文化財の保存技術に選定されているものはありません。なお、記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財として3件が国に選択されています。これらは、国指定1件、県指定1件、市指定1件と重複します。

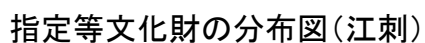
指定等文化財の件数一覧（令和8年（2026）3月31日現在）

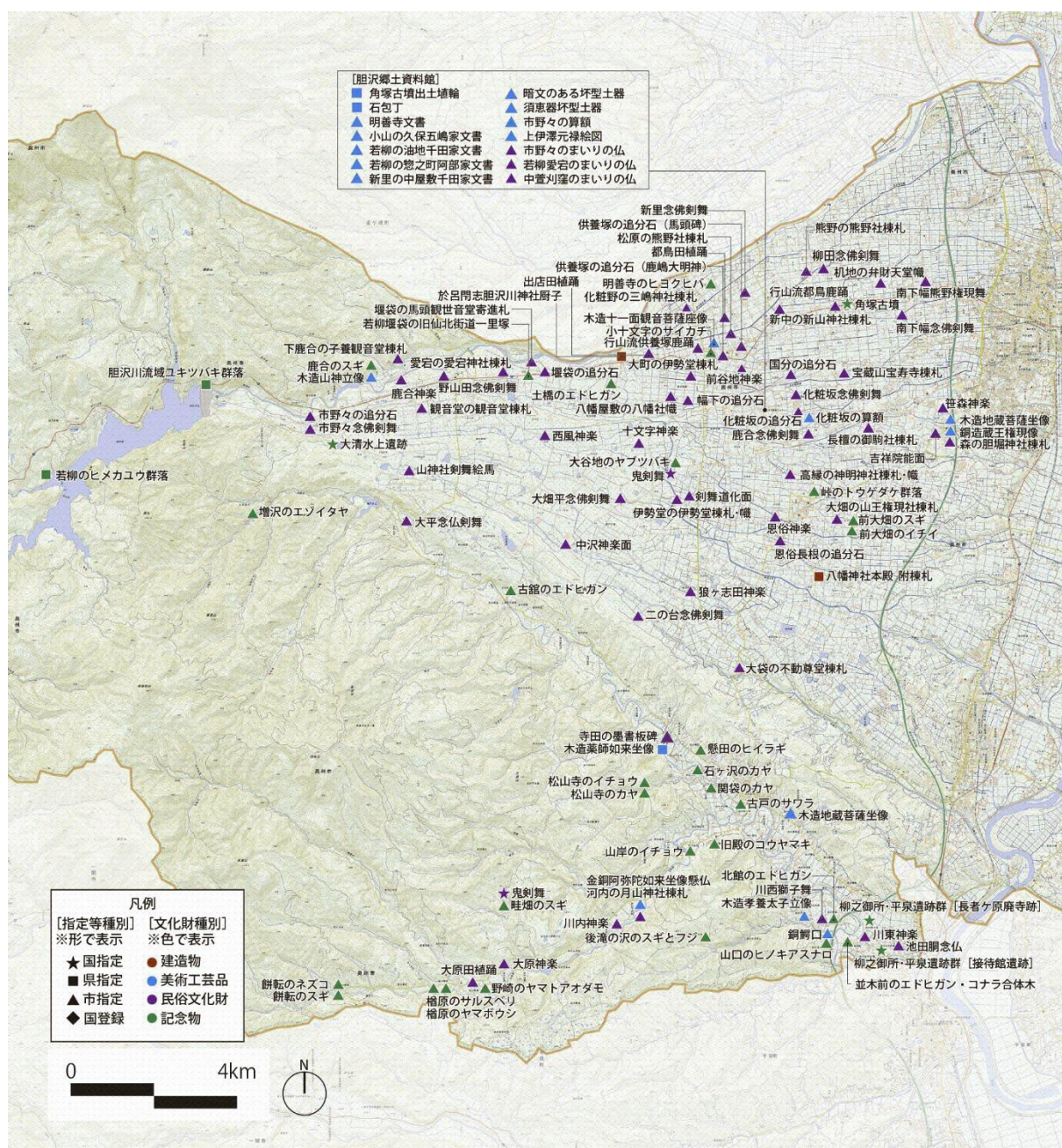
			国指定 ・選定	国選択	県指定	市指定	国登録	合計
有形文化財	建造物		4	－	1 1	5	1 8	3 8
	美術 工 芸 品	絵画	0	－	3	2	0	5
		彫刻	4	－	1 1	1 9	0	3 4
		工芸品	0	－	8	1 3	0	2 1
		書跡・典籍	0	－	1	0	0	1
		古文書	1	－	0	6	0	7
		考古資料	0	－	2	5	0	7
		歴史資料	1	－	0	1 1	0	1 2
無形文化財			0	0	0	0	0	0
民俗文化財	有形の民俗文化財		1	－	4	4 3	0	4 8
	無形の民俗文化財		1	(3)	6	7 3	0	8 0
記念物	遺跡		5	－	1	9	0	1 5
	名勝地		1	－	0	0	0	1
	動物・植物・地質鉱物		0	－	4	4 0	0	4 4
文化的景観			0	－	－	－	－	0
伝統的建造物群			0	－	－	－	－	0
合 計			1 8	(3)	5 1	2 2 6	1 8	3 1 3

※記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財（国選択）の3件は、国指定1件、県指定1件、市指定1件と重複しているため、合計数に含まない。



指定等文化財の分布図（水沢、前沢）





指定等文化財の分布図(胆沢、衣川)

（１）指定文化財

市内の指定文化財は、国指定 18 件、県指定 51 件、市指定 226 件、合計 295 件です。5 地域の別にみると、江刺地域と胆沢地域に指定文化財が多く分布しています。指定別では、地域ごとに国・県・市指定の割合が異なっており、国指定は水沢地域、県指定は水沢地域・江刺地域、市指定は江刺地域・胆沢地域に多く分布します。

有形文化財は、建造物 20 件、美術工芸品 87 件が指定されています。建造物は、寺社建築が多く指定されています。美術工芸品は、絵画・彫刻・工芸品などに細分化され、仏神像などの彫刻や優れた工芸技術を伝える工芸品が多く指定されています。

民俗文化財のうち、有形の民俗文化財は 48 件指定されています。中世の板碑や近世の道標などの石碑、棟札が指定されています。無形の民俗文化財は、80 件指定されています。祭礼等の風俗慣習、神楽・田植踊・風流（剣舞・鹿踊等）など民俗芸能が指定されています。

記念物は遺跡、名勝地、動物・植物・地質鉱物に細分化され、60 件が指定されています。遺跡は 15 件で、原始から近世までの重要なものが指定されています。名勝地は 1 件が指定、動物・植物・地質鉱物は 44 件で、植物は樹木や植物の群生地、地質鉱物は特徴的な鉱物やその産地が指定されています。

文化財の 6 類型のうち、無形文化財・文化的景観・伝統的建造物群は市内での指定等はありません。

（２）記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財

個別の無形の民俗文化財は、「川西の念仏剣舞」と「鴨沢神楽」が選択されています。また、「岩手の蘇民祭」の構成文化財に、黒石寺蘇民祭・伊手熊野神社蘇民祭・八幡宮加勢蘇民祭が含まれています。

（３）登録文化財

市内の国登録文化財は 18 件で、すべて有形文化財の建造物です。水沢地域で 16 件、江刺地域で 2 件が登録されています。

2 未指定文化財

未指定文化財は、令和 7 年（2025）12 月現在 9,443 件を把握しています。把握しているのは、旧自治体等が調査した未指定文化財のほか、奥州市合併後に調査した市所蔵の未指定文化財になります。

有形文化財は、建造物 320 件、美術工芸品 843 件です。建造物は、近世・近代の建築を把握しています。美術工芸品は、彫刻や工芸品などを把握しています。古文書や歴史資料は、所蔵者（旧蔵者）単位で把握しているため、絵画や書跡・典籍、考古資料、有形の民俗文化財などが 1 件の中に混在しています。なお、古文書と歴史資料の中には、1 件あたり 1 万点を

超える未指定文化財が含まれるものもあります。

民俗文化財は、有形の民俗文化財 6,976 件、無形の民俗文化財 124 件です。有形の民俗文化財は、石碑や社寺の建立に関わる棟札を把握しています。無形の民俗文化財は、民俗芸能や祭礼行事を把握しています。

記念物は、遺跡 1,122 件、動物・植物・地質鉱物 56 件です。遺跡は、周知の埋蔵文化財包蔵地の件数です。動物・植物・地質鉱物は、標本を把握しています。

文化的景観と伝統的建造物群は、それぞれ 1 件を把握しています。

未指定文化財の件数一覧(令和7年(2025)12月末現在)

類 型			把握件数	市内の主な事例
有形文化財	建造物		320	近世寺社建築、近代和風建築
	美術工芸品	絵画	8	絵画作品
		彫刻	428	仏神像
		工芸品	79	金属・石・木等の加工品
		書跡・典籍	0	書道作品・書籍
	古文書	古文書	120	文書主体の資料群
		考古資料	6	出土遺物・表採遺物
		歴史資料	202	様々な類型が含まれる資料群
無形文化財			0	－
民俗文化財	有形の民俗文化財		6,976	石碑・棟札
	無形の民俗文化財		124	民俗芸能・祭礼
記念物	遺跡		1,122	埋蔵文化財包蔵地
	名勝地		0	－
	動物・植物・地質鉱物		56	標本
文化的景観			1	散居集落
伝統的建造物群			1	旧水沢要害下の武家住宅の町並み
文化財の保存技術			0	－
合 計			9,443	－

※書跡・典籍は、所蔵者（旧蔵者）ごとに把握した資料群中に確認しており、本表では古文書または歴史資料に一括資料として件数を計上している。

3 文化財類型ごとの概要

(1) 有形文化財

①建造物

有形文化財に指定されている建造物は、国指定4件、県指定11件、市指定5件、合計20件です。また、国登録有形文化財の建造物として18件が登録されています。

国指定の建造物は、近世社寺建築の正法寺本堂・庫裏・惣門と日高神社本殿、岩手県内における旧仙台藩領の上層民家建築を代表する旧後藤家住宅、文人趣味を伝える近代和風建築の旧高橋家住宅です。



正法寺庫裏

県指定は、仙台藩の武家住宅（後藤新平旧宅）と住宅建築の旧後藤正治郎家住宅、瑞山神社（祖霊舎）や麓山神社本殿などの社寺建築です。また、近代初期に西洋建築の意匠を取り入れた擬洋風建築である旧岩谷堂共立病院も指定されています。

市指定は、鎮守府八幡宮などの寺社建築と旧内田家住宅及び門などの武家住宅です。

国登録は、旧高野家住宅や旧安倍家住宅などの近世・近代の住宅建築や齋藤子爵水沢文庫や後藤伯記念公民館、旧臨時緯度観測所本館などの近代の官公庁舎や文化施設、神社建築の愛宕神社本殿です。

未指定文化財は、320件を把握しています。近世の神社・寺院・民家建築の建造物のほか、近代和風住宅があります。

②美術工芸品

【絵画】

指定の絵画は合計5件で、県指定が3件、市指定が2件です。

県指定は、正法寺所蔵の絹本着色開山良韶画像・絹本着色十六羅漢像と、伊手地域に伝わる聖観音菩薩画像で、ともに仏教に関係する作品です。

市指定は、水沢伊達家当主自筆作品の絹本竹之図墨絵と絹本鷹之図墨絵です。

未指定文化財は、8件を把握しています。佐藤耕雲や及川豪鳳など近代の郷土絵師の手による障壁画などの作品、佐々木精治郎のパステル画作品などがあります。



聖観音菩薩画像

【彫刻】

指定の彫刻は合計 34 件で、国指定 4 件、県指定 11 件、市指定 19 件です。

国指定は、黒石寺所蔵の国内最古貞観 4 年（862）の紀年銘を持つ木造薬師如来坐像や浅井智福愛宕神社所蔵の木造毘沙門天立像などの、平安時代の優れた仏教美術作品です。

県指定は、衣川に所在する平安時代の木造阿弥陀如来もくぞう あ み だ によらい坐像や、正法寺などの曹洞宗そうとうしゅうの寺院に伝わる仏像、中世胆沢郡での阿弥陀信仰の様相を伝える木造阿弥陀如来もくぞう あ み だ によらい立像などです。

市指定は、仏教に関係する作品として、三沢初子持仏みさわはつこの木造釈迦如来立像や地蔵信仰を伝える木造地蔵菩薩もくぞう じ ぞう ぼさつ坐像です。また、多様な信仰の様相を伝える彫刻作品として、地域の祭礼で使用された獅子頭や山神信仰を伝える木造山神立像もくぞう やまのかみりゅうぞうなど指定されています。このほか、優れた彫刻作品として金命丸本舗看板きんめいがんほんぽかんばんがあります。

未指定文化財は、428 件を把握しています。中世から現代までの信仰に関わる作品があります。



木造薬師如来坐像



金命丸本舗看板

【工芸品】

工芸品は、県指定 8 件、市指定 13 件、合計 21 件が指定されています。金工・木工など、様々な工芸技術を伝える作品があります。

県指定は、時衆の踊念仏で使用される鉦鼓や優れた技術を示す刀剣などです。

市指定は、神社の社殿に吊るされていた銅鰐口や水沢要害で時刻を知らせていた長胴太鼓ながどうたいこ（時太鼓）など施設に設置されていた作品や、田茂山鑄物師の技術を伝える龍文真形鉄湯釜りゅうもんしんなりてつ、金属製の懸仏かけぼとけや木製供具もくせいこうぐ、金銅華鬘こんどうけまんといった宗教に関係する作品です。

未指定文化財は、79 件を把握しています。懸仏や石造仏などの作品があります。



金銅華鬘

【書跡・典籍】

指定は、県指定の正法寺所蔵の紙本墨書 正法眼蔵しほんぼくしよしょうぼうげんぞう 附 正法眼蔵雑文つけたりしょうぼうげんぞうざつぶんの1件です。

未指定文化財は、書跡は古文書で計上した三瓶家文書さんぺいけや歴史資料で計上した学校資料などの中に存在を確認しています。また、典籍は古文書で計上した正法寺文書や水沢伊達家が設置した郷学立生館りゅうせいかんの書籍群などの中に存在を確認しています。



紙本墨書正法眼蔵

【古文書】

指定の古文書は合計7件で、国指定1件、市指定6件です。

国指定は、中世から近世初期の文書を含む水沢伊達家るすけ（留守家）伝来の留守家文書です。

市指定は、大肝入を務めた千田家に伝わった若柳わかやなぎのなかやしきちだけ中屋敷千田家文書や、胆沢郡若柳村肝入を務めた阿部家わかやなぎに伝わった若柳そうのまちあべの惣之町阿部家文書の文書群のほか、一点のみの指定として、近世前期の仙台藩在郷屋敷ざいごうやしきの姿を伝える江刺郡片岡村伊達左兵衛在郷屋敷えさしぐんかたおかむらだてさひょうえざいごうやしきえず絵図があります。

未指定文化財は、120件を把握しています。水沢伊達家文書や梁川伊達家文書などの仙台藩武家文書群や、おおむろやしきすずきけ大室屋敷鈴木家文書や真城しんじょうすずきけ鈴木家文書、しもやなぎちばけ下柳千葉家文書などの各村肝入の家に伝わった文書群、正法寺文書などの社寺に伝わる文書群などがあります。



留守家文書

【考古資料】

指定の考古資料は、県指定2件、市指定5件、合計7件です。

県指定は、弥生時代中期に稲作が伝わっていたことを示す清水下遺跡出土の石包丁と古墳時代中期の角塚古墳出土埴輪です。

市指定は、経塚に埋納された渥美壺あつみつぼや豊田館跡周辺出土と伝わる白磁四耳壺などです。

未指定文化財は、6件を把握しています。寺ノ上経塚てらのうえきょうづかの出土資料や個人が収集した考古資料のコレクション、江戸時代初期のキリシタン武士の後藤寿庵が治めた福原で出土したメダイ（キリスト教の信仰具）などがあります。



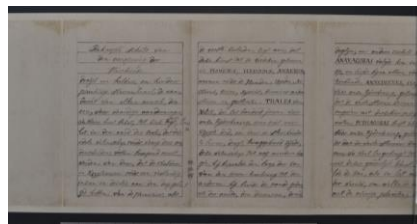
角塚古墳出土埴輪

【歴史資料】

指定の歴史資料は合計 12 件で、国指定 1 件、市指定 11 件です。

国指定は、幕末の蘭学者高野長英に関する高野長英関係資料です。

市指定は、高野長英獄中角筆詩文などの高野長英に
関係する資料のほか、岩谷堂伊達家が設置した郷学比
賢館で使用された版木や仙台藩上胆沢全域の絵図である上伊澤元禄絵図、寺社に奉納された
算額などです。



高野長英関係資料（蘭文星学）

未指定文化財は、202 件を把握しています。後藤新平文書や斎藤實・春子関係文書、椎名家
資料などの先人資料や学校資料、政治家などの肉声が録音された歴史的音源、歴史的公文書
などの資料群です。

（2）無形文化財

現在、指定・登録されている無形文化財はありません。また、未指定文化財も把握していません。

（3）民俗文化財

①有形の民俗文化財

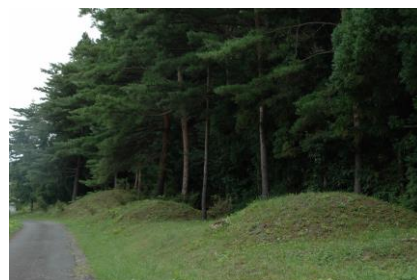
指定の有形の民俗文化財は、国指定 1 件、県指定 4 件、市指定 43 件、合計 48 件です。

国指定は、十三仏信仰を伝える黒石の十三塚です。

県指定は、地域の信仰の姿を伝える巡礼納札やまいりの仏、姉体庚申塔です。

市指定は、中世の板碑や近世の信仰碑・道標などの石碑のほか、神社に奉納された絵馬や寺社建築の建立時に作成された棟札などです。また、民俗芸能に関する文化財として、神楽や剣舞で使用された仮面なども指定されています。

未指定文化財は、5,626 件を把握しています。石碑や棟札、まいりの仏のほか、各地区で使用されていた民具などがあります。



黒石の十三塚

②無形の民俗文化財

無形の民俗文化財は、国指定 1 件、県指定 6 件、市指定 73 件、合計 80 件が指定され、記

録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財に3件が選択されています。

国指定は、民俗芸能「鬼剣舞」です。保護団体の鬼剣舞連合保存会は、剣舞を伝承する4団体が構成され、奥州市では朴ノ木沢念仏剣舞保存会と川西大念仏剣舞保存会が該当します。

県指定は、風俗慣習として日高火防祭、民俗芸能として、神楽の鴨沢神楽、風流芸能の鹿踊、人形芝居の広瀬人形芝居常楽座です。

市指定は、風俗慣習の六日入白山神社献膳の儀や伊手熊野神社蘇民祭などの祭礼、神楽や田植踊、風流芸能（剣舞・鹿踊・薩摩奴踊）など地域に伝わる民俗芸能です。

国選択は、岩手の蘇民祭・鴨沢神楽・川西の念仏剣舞です。川西の念仏剣舞は、「鬼剣舞」保護団体の一つとして国指定、鴨沢神楽は県指定です。岩手の蘇民祭には、市指定の伊手熊野神社蘇民祭のほか、黒石寺蘇民祭、八幡宮加勢蘇民祭が構成文化財に含まれています。

未指定文化財は、124件を把握しています。風俗慣習に属する神社祭礼などの行事や、神楽や鹿踊、剣舞などの民俗芸能があります。また、民俗技術の羽田地区の南部鉄器（田茂山鋳物）の製作技術、北股地区増沢の増沢塗の製作技術、わら細工の製作技術を把握しています。



狼ヶ志田神楽



金津流鶴羽衣鹿踊

（４）記念物

①遺跡

指定の遺跡は、国指定5件、県指定1件、市指定9件、合計15件です。

国指定は、縄文時代の大規模環状集落である大清水上遺跡、日本最北の前方後円墳の角塚古墳、平安時代の城柵である胆沢城跡、平泉に関連する「柳之御所・平泉遺跡群」の白鳥館遺跡・長者ヶ原廃寺跡・接待館遺跡、幕末の蘭学者・医師の高野長英が江戸に旅立つまで暮らしていた高野長英旧宅です。

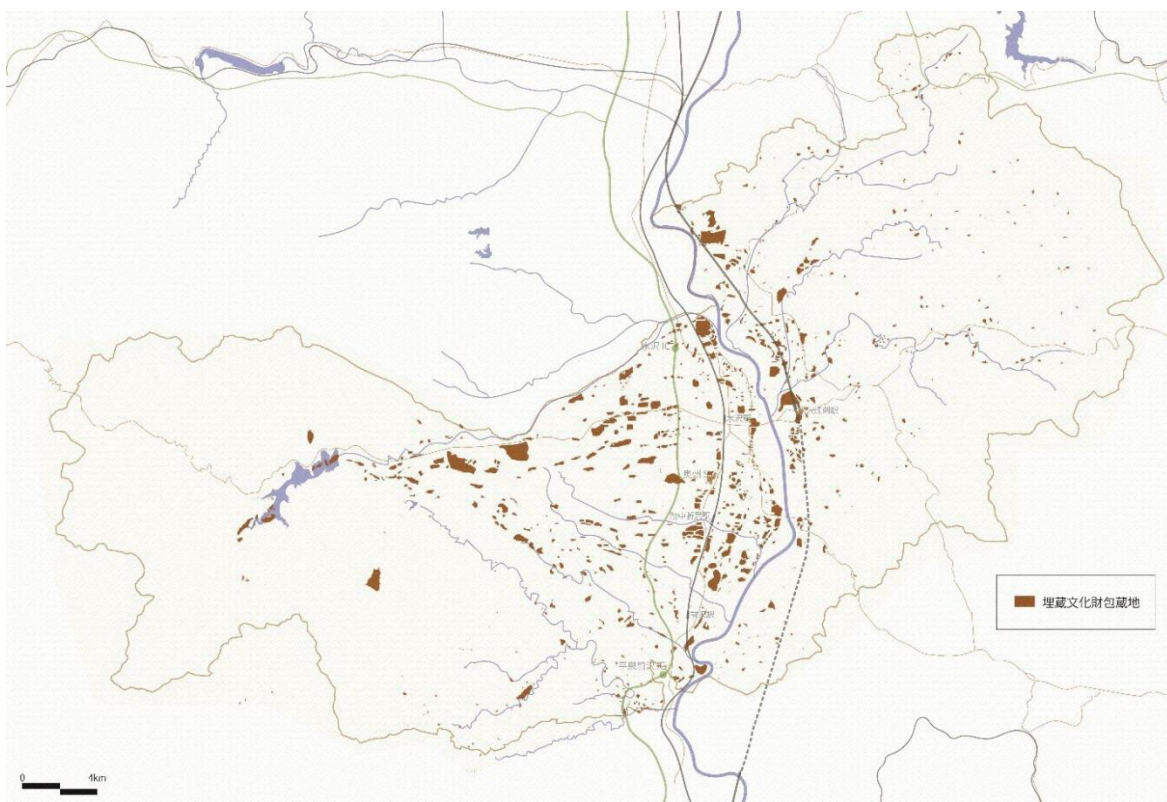
県指定は、平安時代の瓦が出土した明後沢古瓦出土地です。

市指定は、地域の拠点となった上姉体館跡や、近世の街道に関する真城中上野の旧奥州街道一里塚、生業に関する瀬谷子窯跡・水沢鋳物発祥の地などの遺跡です。



真城中上野の旧奥州街道一里塚

このほか、^{すぎ どう}杉の堂遺跡や^{とよたのたち}豊田館をはじめとした遺構・遺物が埋蔵されている場所が周知の埋蔵文化財包蔵地として1,122件登録されています。



周知の埋蔵文化財包蔵地の分布

②名勝地

指定の名勝地は、国指定が1件です。^{みやざわけんじ}宮沢賢治の作品に登場する理想の大地「イーハトーブ」の風景を伝える場所として、花巻市・雫石町・滝沢市・奥州市・住田町にまたがってイーハトーブの風景地が国の名勝に指定されています。市内では、^{たねやまがはら}江刺地域東部の種山ヶ原が構成場所に含まれています。

未指定文化財は、把握調査が行われていません。



イーハトーブの風景地（種山ヶ原）

③動物・植物・地質鉱物

【動物】

指定の動物は、国の特別天然記念物に地域を定めず指定されているニホンカモシカが市内の山地に生息しています。また、同じく地域を定めず指定されている国の天然記念物のイヌワシ・ヤマネ・クマゲラが生息しています。



ニホンカモシカ

未指定文化財は、動物標本（骨格・剥製等）を把握しています。

【植物】

指定の植物は、県指定3件、市指定39件、合計42件です。

県指定は、駒形神社及び水沢公園のヒガン系桜群と胆沢川流域のユキツバキ群落、若柳のヒメカユウ群落です。

市指定は、地域の農耕と関わる種まき桜や神社の神木など、地域のシンボルとなる樹木のほか、植物群落の峠のトウゲダケ群落です。

未指定文化財は、植物標本のコレクションを把握しています。



駒形神社及び水沢公園の
ヒガン系桜群

【地質鉱物】

指定の地質鉱物は、県指定1件、市指定1件です。

県指定は藤里の珪化木^{けいかぼく}、市指定は袖山の輝石安山岩^{そでやま きせきあんざんがん}柱状節理^{ちゅうじょうせつり}です。

未指定文化財は、市内で収集された化石や鉱物標本を把握しています。



藤里の珪化木

（5）文化的景観

現在、文化的景観として選定されている文化財はありませんが、胆沢扇状地の散居集落^{さんきよしゅうらく}を把握しています。

（6）伝統的建造物群

現在、伝統的建造物群に選定されている文化財はありません。未指定文化財は、旧水沢要害下の武家住宅の町並みを把握しています。

（7）文化財の保存技術

現在、文化財の保存技術として選定されている文化財はありません。未指定文化財も把握していません。

4 関連する制度

(1) ユネスコ無形文化遺産

ユネスコは、無形文化遺産の保護を目的として、平成15年(2003)に無形文化遺産の保護に関する条約を採択しました。令和4年(2022)にユネスコ無形文化遺産の代表一覧表に記載された「風流踊(Furyu-odori, ritual dances imbued with people's hopes and prayers)」は、様々な装束で着飾り、亡魂供養^{ぼうこんくよう}や五穀豊穡^{ごこくほうじょう}の祈りを込め、囃子^{はやし}に合わせて踊る民俗芸能です。全国の41件の民俗芸能が構成文化財となっており、重要無形民俗文化財「鬼剣舞」が該当します。「鬼剣舞」保護団体の「鬼剣舞連合保存会」4団体のうち、朴ノ木沢念仏剣舞保存会と川西大念仏剣舞保存会の2団体が市内で伝承活動を行っています。



朴ノ木沢念仏剣舞



川西大念仏剣舞

(2) 世界文化遺産

ユネスコは、文化遺産及び自然遺産の保護を目的として、昭和47年(1972)に世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約を採択しました。市の南に隣接する平泉町に、平成23年(2011)にユネスコ世界文化遺産に記載された世界文化遺産「平泉—仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群—(Hiraizumi-Temples, Gardens and Archaeological Sites Representing the Buddhist Pure Land)」の構成資産(中尊寺、毛越寺、無量光院跡、観自在王院跡、金鶏山)が所在しています。市内の白鳥館遺跡・長者ヶ原廃寺跡と、その周辺地域が緩衝地帯に設定され、法令に基づいて開発等に制限がかけられています。

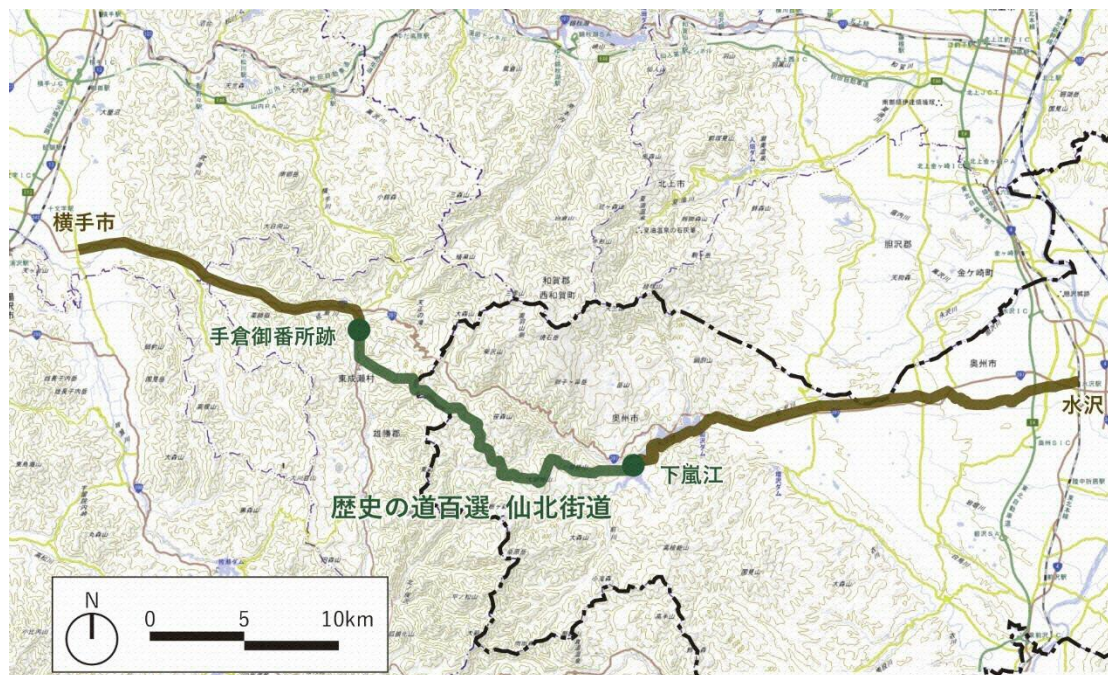


白鳥館遺跡



長者ヶ原廃寺跡

(3) 歴史の道百選



仙北街道の位置

文化庁は、歴史的・文化的に重要な由緒を有する古道・交通関係遺跡を「歴史の道」として、その保存と活用を広く国民に呼びかけるため、特に優れた「歴史の道」を「歴史の道百選」として選定しています。市内では、水沢市街地と横手市街地を結ぶ「仙北街道」が令和元年（2019）に選定されました。（選定箇所：下嵐江（岩手県奥州市）～手倉御番所跡（秋田県東成瀬村））

(4) 100年フード

文化庁は、我が国の多様な食文化の継承・振興への機運を醸成するため、地域で世代を超えて受け継がれてきた食文化を100年続く食文化「100年フード」と名付け、文化とともに継承していく取り組みを推進しています。市内では、農村で食べられていたエゴマを餅に絡めた「じゅうね餅」が令和3年（2021）度に認定されています。

(5) ひらいずみ遺産

岩手県は、令和5年（2023）に世界文化遺産「平泉—仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群—」の構成資産と、「平泉」をより深く理解するために欠かせない資産（柳之御所遺跡、達谷窟、骨寺村荘園遺跡、「白鳥館遺跡」、「長者ヶ原廃寺跡」）を「ひらいずみ遺産」と定め、一体的な保存管理や調査研究、活用・発信など価値を高める取り組みを進め、将来的な世界遺産の拡張登録に資する活動を行っています。市内には、「ひらいずみ遺産」のうち白鳥館遺跡と長者ヶ原廃寺跡が所在しています。

（6）日本農業遺産

日本農業遺産とは、日本において重要かつ伝統的な農林水産業を営む地域（農林水産業システム）を、日本農業遺産の認定基準に基づき、農林水産大臣が認定を行う制度です。市内では、^{たばしねさんろく}東稲山麓の西側地域（一関市舞川地区・平泉町長島地区・奥州市前沢生母地区）が「岩手県東稲山麓地域」として令和5年（2023）に認定されています。

（7）日本天文遺産

日本天文学会は、日本における天文学（暦学を含む）的視点で歴史的意義のある史跡・事物を日本天文遺産として認定しています。市内では、令和2年（2020）に^{りんじ}臨時^{い ど かんそくじょうがん してんちょう ぎ}緯度観測所眼視天頂儀及び関連建築物（臨時緯度観測所眼視天頂儀、臨時緯度観測所眼視天頂儀室、眼視天頂儀目標台及び^{おおいや}覆屋）が、令和7年（2025）に臨時緯度観測所本館（木村榮記念館）が認定されています。



旧臨時緯度観測所本館
（木村榮記念館）

第3章 歴史文化の特性

1 まちづくりと歴史文化の関係

奥州市におけるまちづくりの普遍的な指針として「奥州市民憲章」が制定されています。その冒頭で、「わたしたちは、歴史・伝統・自然に恵まれたこのまちの市民であることを誇りとし、さらに良いまちをめざして市民憲章を定めます。」と記述されています。

ここでは、奥州市の歴史文化の特性を示し、奥州市民の誇り（アイデンティティ）である「歴史・伝統・自然」のキーワードを明らかにします。

奥州市民憲章

わたしたちは、歴史・伝統・自然に恵まれたこのまちの市民であることを誇りとし、さらに良いまちをめざして市民憲章を定めます。

- 一 ふるさとを愛し いきいきと働くことができるまちをつくります
- 一 すすんで学び 文化のかおり高いまちをつくります
- 一 みんなが手をつなぎ 健康で明るいまちをつくります

平成19年2月20日制定

2 歴史文化の特性

地域計画における歴史文化とは、「地域に固有の風土の下、先人によって生み育まれ、時に変容しながら現代まで伝えられてきた知恵・経験・活動などの成果及びそれらが存在する環境を総体として把握する概念」と定義されています。そして、その特性はその地域の地域性を表しています。ここでは、第1章と第2章を踏まえ、奥州市の歴史文化の特性をまとめます。

（1）列島北部の境界地帯

〔概要〕奥州市は、境界地帯として歴史を歩んできました。境界内外の人々が交流し、列島各地から文化がもたらされました。

市内には、政治的・文化的要因等により日本列島における様々な境界が生まれてきました。弥生時代は太平洋側における水田耕作、古墳時代は前方後円墳築造の北限、奈良・平安時代は蝦夷社会と律令国家、平安時代末期は奥六郡の安倍氏と陸奥国府、といった境界です。中世は広大な葛西領の北端地域となり、近世は仙台藩と盛岡藩の藩境が構築されます。

市内は境界地帯であると同時に境界内外の人々が交流する場所であり、様々な文化が列島各地からもたらされました。

（２）県下随一の農業地帯

〔概要〕豊かな自然環境が残る奥州市は、近世に形作られた農業地帯の基盤を現代に引き継いでいます。

市の東西に位置する山地には、豊かな自然環境が残っています。山地は冬に豊富な積雪があり、春に雪解け水となって農業の基盤となっています。近世にこの地を治めた仙台藩は、水沢伊達家や岩谷堂伊達家などの藩士に命じ、胆沢扇状地や北上川流域、北上高地の河川沿いで新田開発を進め、藩内でも有数の農業地帯を形作りました。生産された米は、北上川舟運を通じて太平洋海運に接続し、江戸まで流通していました。そして、近世に形作られた農業地帯の基盤は現代まで引き継がれ、豊かな自然環境とともに歩む、県下随一の農業地帯となっています。

（３）仙台藩が設けた要害で発達した商工業

〔概要〕仙台藩の拠点となった要害・所に人が集住し、近代にも地域の拠点として商工業の中心となっています。

近世、仙台藩は要害制を定め、市内に水沢要害・岩谷堂要害・人首要害と、前沢所・野手崎所を設置しました。要害と所は、仙台藩士と商工業を営む町人が集住して町場となり、北上盆地を南北に縦断する奥州街道や、奥羽山脈を越えて横手盆地に至る仙北街道、北上高地を三陸地方に接続する盛街道を通じて、また北上川舟運を通じて、藩内外から様々な文化が流入しました。近代以降も要害・所の町場だった場所に資本が集中し、西洋の技術も取り入れた豪華な近代和風建築も多くみられるようになります。現代でも、水沢・岩谷堂・前沢は商業・人口が集中する都市部として存続し、人の往来や商工業が盛んです。

（４）多様な信仰が示す祈り

〔概要〕信仰に関わる有形・無形の文化財は、神仏への祈りが様々な形をとっていたことを示します。

市内には、様々な祈りが込められた文化財が数多く残されています。市内各地の寺社に祀られている仏神像、あるいは寺社の建築に関わる棟札、神社の神木、キリスト教に関わる信仰具などの文化財は、神仏への信仰を伝えています。各地に伝わる神楽や鹿踊、田植踊、剣舞などの民俗芸能は、五穀豊穰や先祖供養など、神仏への祈りを込めて奉納されてきました。また、火防祭や蘇民祭などの祭礼は、災害や疫病に対し神仏の加護を求める祈りが込められています。信仰が始まった時期は様々ですが、古代からの信仰が基盤となり、現代まで続いています。これらの祈りは境界を越えて共有されるものであり、市内外の様々な文化から影響を受け、現在の形となっています。

（５）国内外で活躍する先人の業績

〔概要〕近世後期以降、奥州市からは多くの人材が生まれ、また活躍の場となってきました。奥州市には、先人の業績を示す文化財が多く残されています。

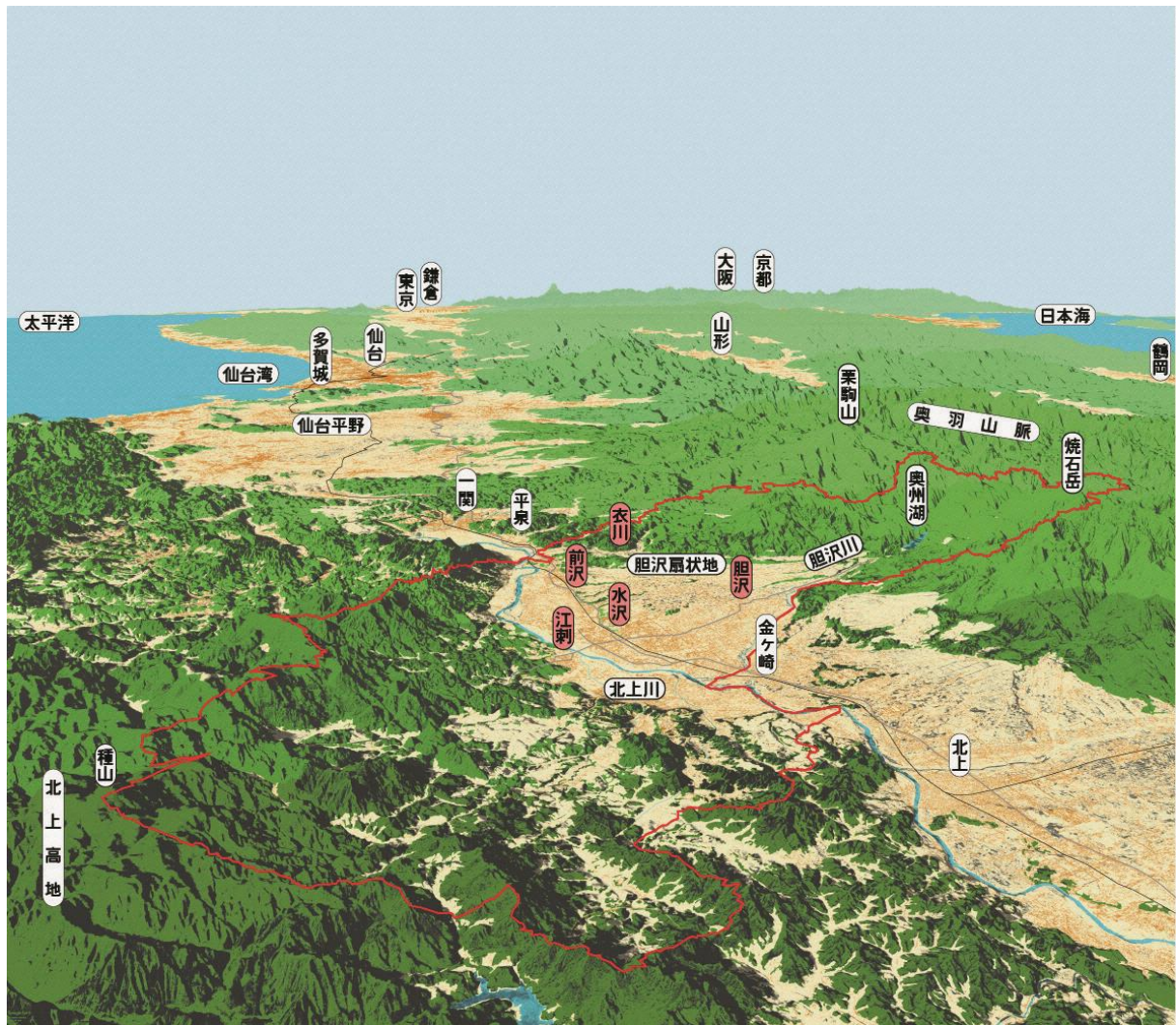
近世後期から現代にかけて、奥州市から国内外で活躍する数多くの人材が生まれ、あるいは、市外から奥州市に移住して業績を挙げました。特に要害の町場から多くの人材が生まれますが、これは近世に育まれた学問を学ぶ機会に恵まれていたことによります。近世後期の蘭学者・医師の高野長英、内務大臣や台湾総督府民政長官^{ないむだいじん たいわんそうとくふみんせいちょうかん}などの政府要職を歴任した後藤新平、内閣総理大臣などを歴任した斎藤實、旧臨時緯度観測所所長でZ項を発見した木村栄など、日本史上で重要な業績を上げた政治家・研究者・文化人がいます。先人の業績は没後に顕彰され、先人の活躍を伝える数多くの歴史資料が市内に残されたほか、先人の名前を冠した建造物が建築されました。市の歴史と先人の活躍は、不可分の関係にあります。

3 「歴史・伝統・自然」のキーワード

奥州市の歴史文化の特性から導き出される「歴史・伝統・自然」のキーワードは、以下のとおりです。

【奥州市の歴史・伝統・自然のキーワード】

歴史	境界地帯で生まれた歴史
伝統	交流が育んだ伝統
自然	生活とともにある自然



奥州市の歴史文化を育んだ立地環境
(奥州市教育委員会作成)

奥州市の北東方向から平泉・仙台・東京・京都を望む。市内は、東西が奥羽山脈と北上高地で区切られ、中央部が北上川・胆沢川によって盆地となっている。奥州市の歴史文化は、このような自然環境のもと、東京（江戸）や京都、仙台といった政治的な中心地域のほか、平泉や北方地域との交流の中で形作られた。

歴史文化の特性と主な文化財

			①列島北部の境界地帯	②県下随一の農業地帯	③仙台藩が設けた要害で発達した商工業	④多様な信仰が示す祈り	⑤国内外で活躍する先人の業績
有形文化財	建造物			旧後藤家住宅 旧後藤正治郎家住宅	旧高橋家住宅 後藤新平旧宅 旧岩谷堂共立病院	日高神社本殿 正法寺本堂 麓山神社本殿	旧臨時緯度観測所 後藤伯記念公民館 齋藤子爵水沢文庫
	美術工芸品	絵画			絹本竹之図墨絵 絹本鷹之図墨絵	絹本著色十六羅漢像 聖観音菩薩画像	市内出身画家の作品
		彫刻	黒石寺の仏神像 浅井智福愛宕神社の仏神像		金命丸本舗看板	正法寺の仏像	
		工芸品			長胴太鼓 龍文真形鉄湯釜	鉦鼓	
		書跡・典籍			立生館蔵書	正法寺所蔵典籍群	立生館蔵書群 先人の書
		古文書		中屋敷千田家文書 若柳惣之町阿部家文書 下柳千葉家文書	留守家文書 岩谷堂伊達家文書 梁川伊達家文書	正法寺文書	
		考古資料	清水下遺跡出土の石包丁 角塚古墳出土埴輪 伝豊田館出土の白磁四耳壺			福原のメダイ	
		歴史資料		上伊澤元禄絵図	比賢館の版木	日高神社千葉家資料	高野長英関係資料 後藤新平文書 斎藤實関係文書
	無形文化財				田茂山鋳物 増沢塗		
民俗文化財	有形の民俗文化財		舟絵馬 四季耕作図絵馬 農業に関する民具		黒石の十三塚 まいりの仏 石碑 棟札		
	無形の民俗文化財		田植踊	日高火防祭	祭礼 民俗芸能		
記念物	遺跡		大清水上遺跡 角塚古墳 胆沢城跡 長者ヶ原廃寺 白鳥館遺跡 接待館遺跡 中世の城館跡 仙台・盛岡藩の藩境塚	近世開削の堰	水沢・岩谷堂・人首要害 前沢・野手崎所 奥州街道・仙北街道・盛街道 旧街道沿いの一里塚		高野長英旧宅
	名勝地			イーハトーブの風景地			
	動物・植物・地質鉱物			胆沢川流域のユキツバキ群落 種まき桜		神社の神木	
文化的景観				胆沢扇状地の散居集落			
伝統的建造物群					旧水沢要害下の武家住宅の町並み		

第4章 文化財の保存・活用に関する将来像・方向性

1 将来像

将来像

産学官民が一体となって奥州市の文化財を社会に開き、次世代に伝えるまち

奥州市民の誇りとなる「歴史・伝統・自然」のキーワードは、「境界地帯で生まれた歴史・交流が育んだ伝統・生活とともにある自然」です。これらのキーワードを踏まえ、境界地帯である特性を活かしつつ、多様な担い手と交流して、文化財を身近に感じる生活を目指すため、「産学官民が一体となって奥州市の文化財を社会に開き、次世代に伝えるまち」を将来像とします。

2 保存・活用の方向性

現在、奥州市教育委員会事務局歴史遺産課（以下、「歴史遺産課」という。）を中心に、文化財の保存・活用に関する取り組みを進めています。今後、文化財の保存・活用を確実に実施するためには、産学官民が一体となって事業を行うことが必要です。この目的を達成するため、4つの方向性を定め、事業を推進します。

方向性1 奥州市の特色を伝える文化財の調査・研究

文化財を調査・研究することにより、奥州市の特色が明らかになります。しかし、把握調査の実施状況が地域・分野によって異なっており、調査・研究が十分でない文化財があります。また、記録・詳細調査によって更なる活用が見込まれる文化財も残されています。これらを適切に保存・活用するため、産学官民が連携して文化財の調査・研究を進めます。

方向性2 奥州市のアイデンティティである文化財の保存

文化財は、奥州市のアイデンティティを表すものです。しかし、人口減少が今後更に深刻化することが予測され、その影響は文化財の保存にも及ぶことが懸念されます。この影響を最小限に留め、奥州市のアイデンティティを確実に未来に伝えるため、定期的な文化財の現況調査を行いつつ、文化財所有者や文化財の伝承を支える地域との連携を密にし、保存体制の構築を進めます。

方向性3 多様な担い手による文化財の活用

文化財は奥州市民のアイデンティティであると同時に、コミュニティの活性化や観光の資源でもあります。また、個人所有の文化財や無形の民俗文化財の伝承に、市民の支援は欠かすことができません。そのため、市民による文化財の活用を図る取り組みを支援します。また、市民に向けて産学官民で行った調査成果の教育普及活動を進め、文化財愛護の意識醸成を図ります。

方向性4 文化財の情報資源化とネットワークの構築

文化財を調査・研究し、保存・活用する取り組みを活性化させるため、文化財の情報資源化と産学官民のネットワーク構築に代表される新たな手法を取り入れる必要があります。これらの取り組みを通じ、文化財の保存・活用を促進します。また、奥州市の資源である文化財を確実に保存し、かつ文化財の活用拠点となる文化財関連施設の将来的なあり方を検討し、施設の整備・再編等を行います。

調査名称の定義

名称	内容
把握調査	未指定文化財の所在を確認する調査 ・未指定文化財の把握を目的とする調査 ・歴史資料・古文書等の内容物を確認する概要調査 ・遺跡の分布を調べる分布調査 等
記録調査	文化財の現在の状態を記録するために行う調査 ・無形の民俗文化財の記録撮影 ・遺跡開発に伴う記録保存調査 ・動物・植物の標本作成 等
詳細調査	未指定文化財の価値を明らかにするために行う学術的な調査 ・建造物の学術調査 ・彫刻作品の学術調査 ・古文書・歴史資料等の目録作成・読解・デジタル化 ・遺跡の発掘調査 等
現況調査	指定等文化財や把握調査済みの未指定文化財の現況を確認する調査 ・指定文化財に関する文化財パトロール ・把握済み未指定文化財の現況を確認する調査 ・災害発生後の文化財被害状況調査 等

第5章 文化財に関する既往の把握調査

1 既往調査の概要

市内では、別添資料に示した文化財調査が行われてきました。調査の実施主体は、国・県・市（旧市町村）のほか、関係機関などです。調査は、特定類型の把握調査のほか、埋蔵文化財の記録・詳細調査なども行われています。既往調査に関する「調査報告書等リスト」は、資料編に掲載しました。

2 文化財パトロール

歴史遺産課では、市指定の有形文化財・有形の民俗文化財・記念物と国・県・市指定の無形の民俗文化財の現況調査を隔年で実施しています。調査は、市が委嘱する文化財保護調査員が行い、歴史遺産課で結果を取りまとめています。また、国・県の指定文化財・登録有形文化財は、県が委嘱する文化財保護指導員が毎年現況調査を行っています。

3 把握調査の状況

把握調査の実施状況は、地域あるいは文化財類型によって異なります。記念物の名勝地、文化財の保存技術は、全域で把握調査が行われていません。

把握調査の実施状況

類 型		水沢地域	江刺地域	前沢地域	胆沢地域	衣川地域	
有形文化財	建造物		○	○	○	○	○
	美術	絵画	△	×	×	×	×
		彫刻	△	○	△	○	△
	工芸品	工芸品	×	△	×	△	△
		書跡・典籍	△	△	△	△	△
		古文書	△	○	△	△	△
		考古資料	△	△	△	△	△
		歴史資料	△	△	△	△	△
	無形文化財		△	×	×	△	×
民俗文化財	有形の民俗文化財	△	△	×	○	○	
	無形の民俗文化財	△	△	△	△	△	

類 型		水沢地域	江刺地域	前沢地域	胆沢地域	衣川地域
記念物	遺跡	○	○	○	○	○
	名勝地	×	×	×	×	×
	動物・植物・地質鉱物	△	△	×	△	△
文化的景観		△	×	×	△	×
伝統的建造物群		△	×	×	×	×
文化財の保存技術		×	×	×	×	×

○：調査済 △：調査不足 ×：調査未実施

【水沢地域】

建造物、遺跡の把握調査が実施されています。工芸品を除く美術工芸品、無形文化財、有形・無形の民俗文化財、動物・植物・地質鉱物、文化的景観、伝統的建造物群は調査不足です。工芸品は把握調査が行われていません。

【江刺地域】

建造物、彫刻、古文書、遺跡の把握調査が実施されています。工芸品、書跡・典籍、考古資料、歴史資料、有形・無形の民俗文化財、動物・植物・地質鉱物は調査不足です。絵画、無形文化財、文化的景観、伝統的建造物群は把握調査が行われていません。

【前沢地域】

建造物、遺跡の把握調査が実施されています。彫刻、書跡・典籍、古文書、考古資料、歴史資料、無形の民俗文化財は調査不足です。その他の種類の文化財は把握調査が行われていません。

【胆沢地域】

建造物、彫刻、有形の民俗文化財、遺跡の把握調査が実施されています。工芸品、書跡・典籍、古文書、考古資料、歴史資料、無形文化財、無形の民俗文化財、動物・植物・地質鉱物、文化的景観は調査不足です。絵画、伝統的建造物群は把握調査が行われていません。

【衣川地域】

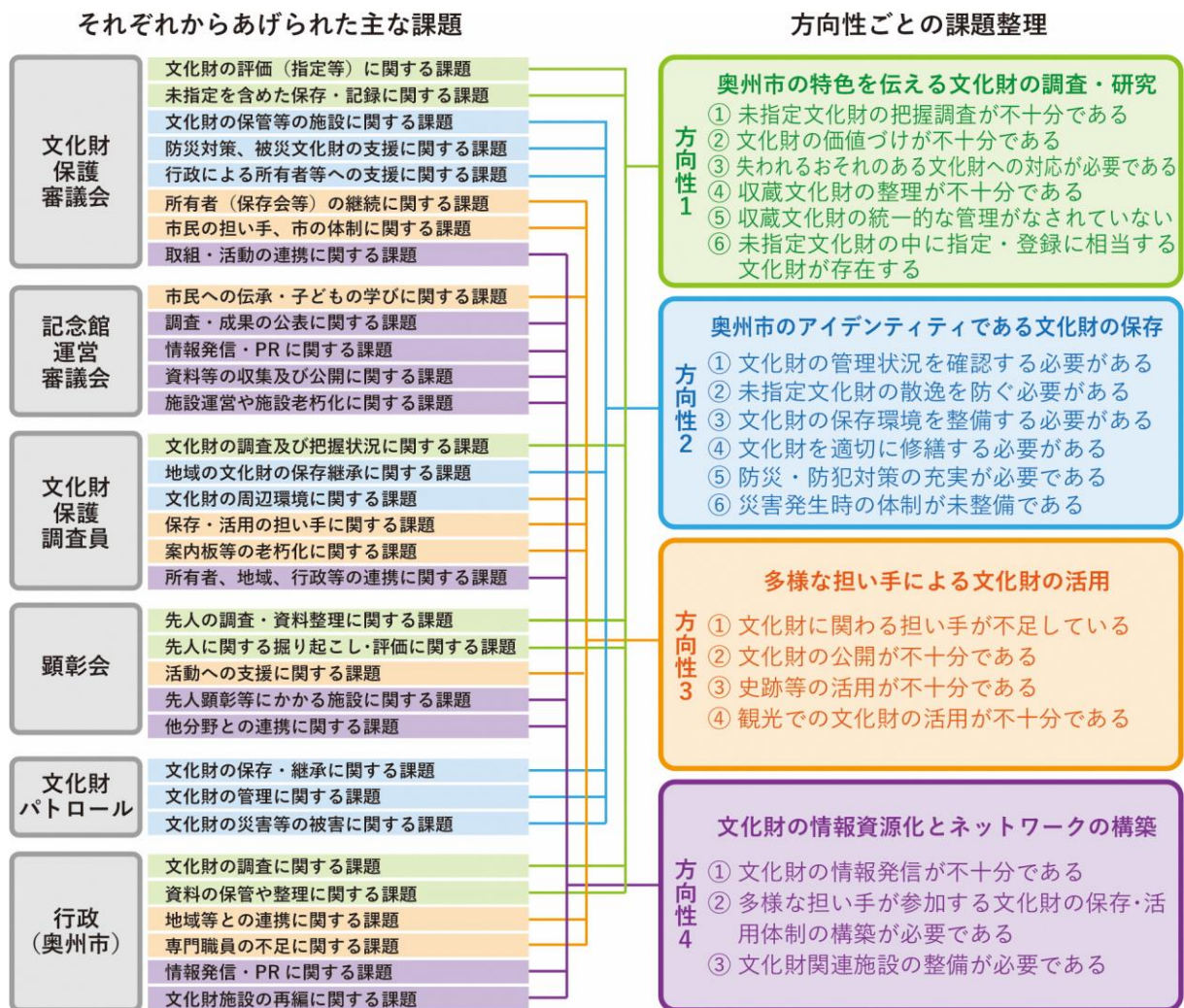
建造物、有形の民俗文化財、遺跡の把握調査が実施されています。絵画を除く美術工芸品、無形の民俗文化財、動物・植物・地質鉱物は調査不足です。絵画、無形文化財、文化的景観、伝統的建造物群は把握調査が行われていません。

第6章 文化財の保存・活用に関する課題・方針

1 課題の抽出方法

第4章で整理した方向性に沿って、課題と方針を整理します。

課題は、奥州市合併後に開催された文化財保護審議会等で専門家や委員から挙げられた課題、本計画作成にあたり開催した顕彰会との意見交換及び文化財保護調査員とのワーキンググループで提起された課題、文化財パトロール等で把握した課題、市議会で議論のあった課題（令和2年（2020）～6年（2024））から抽出しました。これらを参考に、方向性ごとに課題を整理しました。



課題の抽出と方向性ごとの整理

2 課題と方針

以下には、これまでに把握されていた課題をまとめ、それに対する方針を記述します。

方向性1 奥州市の特色を伝える文化財の調査・研究

課題と方針

課題① 未指定文化財の把握調査が不十分である

未指定文化財について、把握調査が不足または実施されていない文化財類型があり、美術工芸品の彫刻、古文書や歴史資料などの分野で把握調査が必要です。

方針① 把握調査の実施

美術工芸品の彫刻、古文書や歴史資料などの分野で、未指定文化財の把握調査を進めます。

課題② 文化財の価値づけが不十分である

価値が明らかでない未指定文化財があり、詳細調査を実施する必要があります。

方針② 詳細調査の実施

文化財保護調査員等から情報を集約し、文化財保護審議会から助言を得つつ、詳細調査を計画的に実施します。

課題③ 失われるおそれのある文化財への対応が必要である

開発による埋蔵文化財の滅失や、後継者不足で活動が難しくなった無形の民俗文化財に対する対応が必要です。

方針③ 記録調査の実施

失われるおそれのある文化財に対し、記録調査を実施します。

課題④ 収蔵文化財の整理が不十分である

市は、これまで多くの文化財を収集してきましたが、整理が不十分なものがあります。

方針④ 収蔵文化財の整理

市で所蔵する文化財について、必要に応じて研究機関等と連携し、整理作業を実施します。

課題⑤ 収蔵文化財の統一的な管理がなされていない

文化財は施設ごとに管理していますが、統一的に管理する必要があります。

方針⑤ 収蔵文化財の統一的な管理

各施設に保管されている文化財の統一的な管理を行います。

課題⑥ 未指定文化財の中に指定・登録に相当する文化財が存在する

普遍的な価値を有する文化財について、文化財指定等を行い、保存を図る必要があります。

方針⑥ 文化財指定等の推進

詳細調査の結果を基に、文化財の指定等を検討します。

方向性2 奥州市のアイデンティティである文化財の保存

課題と方針

課題① 文化財の管理状況を確認する必要がある

指定等文化財の管理について、定期的な状況確認が必要です。

方針① 文化財管理状況の確認

指定等文化財の管理状況を定期的に確認します。

課題② 未指定文化財の散逸を防ぐ必要がある

建物の建替え等により、個人が所有する未指定文化財が散逸する事例が増加しているため、対策が必要です。

方針② 文化財に関する相談窓口の周知

所有者による保管が困難となった文化財の相談窓口を周知します。

課題③ 文化財の保存環境を整備する必要がある

保存環境が不十分な文化財があり、適切な環境を整備し、維持する必要があります。

方針③ 文化財の保存環境整備

文化財の保存環境を整備し、適切に維持・管理します。

課題④ 文化財を適切に修繕する必要がある

老朽化等により劣化が進んでいる文化財に対して、修繕等の処置が不十分なものがあります。また、所有者・管理者が行う文化財の修繕等への支援が必要です。

方針④ 文化財の修繕等実施

市所有の歴史的建造物については、劣化状況に応じて計画的に修繕・修理を進めます。また、指定等文化財の所有者・管理者が行う修繕等を支援します。

課題⑤ 防災・防犯対策の充実が必要である

所有者等が災害に対するリスクを十分に把握するとともに、災害に対する備えを行うことが必要です。

方針⑤ 防災・防犯対策の充実

個別の文化財について被災リスクを把握し、災害に備えます。また、文化庁の指針、ガイドライン等を基に、所有者に対して災害対策等を周知します。

課題⑥ 災害発生時の体制が未整備である

災害や犯罪が発生し、被害が生じた場合の連絡体制及び被災した文化財を救済する体制の整備が必要です。

方針⑥ 災害発生時の体制整備

文化財所有者や関係機関と協議し、災害発生時の連絡体制及び文化財の救済体制を整備します。

方向性3 多様な担い手による文化財の活用

課題と方針

課題① 文化財に関わる担い手が不足している

文化財に対する認識が変化し、文化財を後世に伝える担い手が減少しています。特に、無形の民俗文化財の後継者不足が顕在化しており、対策が必要です。

方針① 文化財に関わる担い手の育成

学校教育や生涯学習、市民活動などと連携して、文化財への理解を深める機会を設け、無形の民俗文化財等の担い手や専門知識をもったガイドボランティア等を育成します。

課題② 文化財の公開が不十分である

市民の暮らしのなかで、文化財を目にする機会が減少しています。奥州市の歴史文化を伝える文化財を周知するために、公開を促進する必要があります。

方針② 文化財の公開促進

市民が文化財を身近なものとして認識できるよう、所有者等と連携し文化財の公開を進めます。文化財関連施設では、展示を通じて文化財を知る機会を設けます。

課題③ 史跡等の活用が不十分である

市民や観光客に対して、文化財が持つ価値を十分に伝えるために、保存活用計画等に基づいた史跡の活用が必要です。

方針③ 史跡等の活用

史跡の保存活用計画等に基づき史跡を整備し、活用を進めます。

課題④ 観光での文化財の活用が不十分である

市内には多様な文化財がありますが、観光資源として十分に活かすことができていません。

方針④ 観光分野での文化財活用の促進

観光分野と連携し、文化財の活用を促進していきます。

方向性4 文化財の情報資源化とネットワークの構築

課題と方針

課題① 文化財の情報発信が不十分である

研究機関や歴史遺産課などが様々な文化財調査を進めていますが、その成果の市内外への情報発信が不足しています。文化財を活用するために、デジタルアーカイブ化も含めた効果的な情報発信が必要です。

方針① 文化財の情報発信強化

市で行った調査の成果を市内外へ伝える機会を充実させます。また、文化財のデジタルアーカイブ化を進め、情報発信の基盤を強化します。

課題② 多様な担い手が参加する文化財の保存・活用体制の構築が必要である

文化財の保存・活用に関する課題が複雑化しており、それに対応する体制の構築が必要です。文化財の保存・活用の体制を維持するためには、多様な担い手が広域で連携したネットワークが必要です。また、多くの文化財は隣接の市町村と関連するものであるため、連携して取り組みを進めていく必要があります。

方針② 多様な担い手による保存・活用体制の強化

市内団体同士の連携体制を充実させつつ、研究機関などとも協力関係を築きながらネットワークを構築し、文化財の保存・活用に関する体制を強化していきます。

課題③ 文化財関連施設の整備が必要である

文化財関連施設の老朽化による、文化財の保存環境の悪化が懸念されています。また、文化財の保存・活用に関する多様な課題に対応できる機能を持った文化財関連施設の整備が必要です。

方針③ 文化財関連施設の整備・再編等の実施

文化財関連施設に将来的に必要となる機能や望ましい文化財の保存環境等を検討したうえで、文化財関連施設の整備・再編等を実施します。

第7章 文化財の保存・活用に関する事業

1 事業の考え方

第6章の方針を踏まえ、本計画の計画期間に実施する事業を下記のとおり設定します。

事業の記載にあたっては、事業名・事業概要・事業主体・想定される財源・実施期間を示します。各項目の用語は、次のとおり定義します。

(1) 事業名・事業概要

事業の名称及び具体的な事業の内容

(2) 事業主体

行政…県・市・隣接自治体等の行政機関（博物館施設含む）

関係機関…教育機関・博物館等の指定管理者・文化財に関する事業団体等

研究機関…大学等の研究機関

地域…文化財に関係する民間団体、民間企業、地域団体、市民団体、住民

所有者…文化財の所有者（管理者）及び無形の民俗文化財保持団体

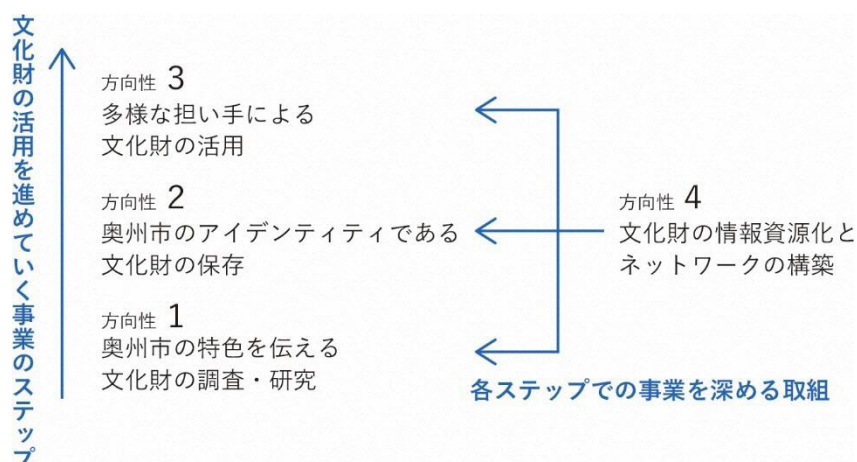
それぞれの事業主体が協働により事業を実施するものとし、表では、◎：主体的に取り組む、○：協働して取り組む、と表示します。

(3) 実施期間

本計画の計画期間を、前期（1～4年目、令和9年（2027）度～令和12年（2030）度）、後期（5～8年目、令和13年（2031）度～令和16年（2024）度）に事業実施期間を分け、実施が想定される期間に網掛します。

(4) 想定される財源

各事業は、市費、県費、国費（文化財関係補助金、地域未来交付金ほか）、その他民間資金等を活用しながら進めていきます。



4つの方向性と事業の関係

2 個別事業

方向性1 奥州市の特色を伝える文化財の調査・研究

[事業主体] ◎：主体的に取り組む、○：協働して取り組む

番号	事業名	事業概要	事業主体					実施期間	
			行政	関係機関	研究機関	地域	所有者	前期	後期
方針① 把握調査の実施									
1	未指定文化財の把握調査	把握調査の行われていない美術工芸品（彫刻・歴史資料等）等の未指定文化財について、把握調査を実施する。	◎	○	○	○			
2	先人資料の把握調査	先人に関する資料の散逸を防ぐため、把握調査を実施する。	◎	○		○			
3	平泉及び平泉前史の遺跡の把握調査	平泉及び平泉前史の遺跡について、把握調査を実施する。	◎	○	○				
方針② 詳細調査の実施									
4	未指定文化財の詳細調査	価値づけが必要な未指定文化財（美術工芸品等）の詳細調査を実施する。	◎	◎	◎	○	○		
5	歴史的建造物の詳細調査	図面による記録が行われていない歴史的建造物について、詳細調査を行う。	◎	○	○				
6	美術工芸品（古文書・歴史資料）の詳細調査	個人所有の美術工芸品（古文書・歴史資料）について、詳細調査を実施する。	◎	○	◎		○		
7	未指定無形の民俗文化財の詳細調査	未指定無形の民俗文化財の詳細調査を実施する。	◎	○			○		
8	文化的景観の詳細調査	胆沢扇状地の散居集落について、詳細調査を実施する。	◎		○				
方針③ 記録調査の実施									
9	無形の民俗文化財の記録調査	活動不能となった無形の民俗文化財の記録（動画・伝書・装束等）について、記録調査を実施する。	◎			○			
10	埋蔵文化財の記録調査	遺跡範囲内の開発に伴う記録調査を実施する。	◎	○			○		
方針④ 収蔵文化財の整理									
11	収蔵文化財の整理作業	収蔵文化財（歴史資料等）について、産学官連携事業を中核として、関係する研究機関等と協働で整理作業を実施する。	◎	○	◎	○			
方針⑤ 収蔵文化財の統一的な管理									
12	市内施設管理資料の現況調査	市内の公的施設（学校施設・地区センター等）に保管されている文化財の現況調査を行う。	◎			○			
13	考古資料管理台帳の整備	市内の公的施設に分散保管されている考古資料の台帳を整備する。	◎	○					
方針⑥ 文化財指定等の推進									
14	未指定文化財の指定等検討	未指定文化財の詳細調査結果に基づき、指定等に関して文化財保護審議会から意見を聞く。	◎						
15	市指定文化財指定基準の更新	市指定文化財指定基準を更新する。	◎						
16	市指定文化財候補案件の情報集約	文化財保護調査員等を通じて市指定文化財候補案件の情報を集約する。	◎	○		○			

方向性2 奥州市のアイデンティティである文化財の保存

[事業主体] ◎：主体的に取り組む、○：協働して取り組む

番号	事業名	事業概要	事業主体					実施期間	
			行政	関係機関	研究機関	地域	所有者	前期	後期
方針① 文化財管理状況の確認									
17	文化財保護調査員の委嘱	地区における文化財の相談・調査を担う文化財保護調査員を委嘱する。	◎			○			
18	文化財パトロールの実施	文化財パトロールを実施し、文化財の現況調査を行う。	◎	○		○	○		
方針② 文化財に関する相談窓口の周知									
19	文化財の保存に関する窓口の周知	家屋建替え等による文化財の散逸を防ぐため、相談窓口の周知を行う。	◎						
方針③ 文化財の保存環境整備									
20	史跡等の環境整備	史跡について、除草等の環境整備を行う。	◎			○			
21	文化財関係職員の知識・技術向上	文化財関係職員の知識・技術向上のため、研修を実施するほか、市外で開催される研修への参加を計画的に行う。	◎	◎					
方針④ 文化財の修繕等実施									
22	指定等文化財保護事業への支援	所有者等が行う指定等文化財保護事業を支援する。また、適宜民間財団等の補助金を紹介する。	◎				◎		
23	旧高橋家住宅修理事業	劣化が著しい国重要文化財旧高橋家住宅の修理を行う。	◎			○			
24	正法寺本堂・庫裏等修理事業	国指定重要文化財正法寺本堂・庫裏等の茅葺屋根の修理を行う。	◎				◎		
25	後藤伯記念公民館修理事業	国登録有形文化財後藤伯記念公民館の修理を行う。	◎						
26	齋藤子爵水沢文庫修理事業	齋藤子爵水沢文庫（図書館）の修理を行う。	◎			○			
27	旧安倍家住宅修理事業	国登録有形文化財旧安倍家住宅の主屋及び土蔵の修理を行う。	◎						
28	歴史的建造物の計画的修繕	歴史的建造物の劣化に応じ、計画的に修繕を実施する。	◎				◎		
29	黒石の十三塚の修理及び環境整備	重要有形民俗文化財黒石の十三塚について修理を検討し、修理までは除草等の環境整備を行う。	◎				○		
方針⑤ 防災・防犯対策の充実									
30	文化財被災リスクの把握	文化財所在地と災害警戒区域を重ね合わせ、文化財の被災リスクを把握する。	◎	○			○		
31	文化財防火デー関連事業の実施	消防署・消防団と連携し、文化財防火デーの消防訓練と防火パトロールを実施する。	◎	◎		○	◎		
32	旧後藤家住宅消防設備の修理事業	国重要文化財旧後藤家住宅の消防設備の修理事業を行う。	◎						
33	文化財防犯体制の整備	所有者等が実施する文化財の防犯対策について、助言等を行う。	◎			○	○		
方針⑥ 災害発生時の体制整備									
34	文化財レスキューに関する体制の整備	市内での災害発生時の文化財レスキューについて、文化財所有者や関係機関等と連携し、体制を整備する。	◎	◎	○	○	◎		

方向性3 多様な担い手による文化財の活用

[事業主体] ◎：主体的に取り組む、○：協働して取り組む

番号	事業名	事業概要	事業主体					実施期間	
			行政	関係機関	研究機関	地域	所有者	前期	後期
方針① 文化財に関わる担い手の育成									
35	学校教育との連携	ふるさと学習・出前講座などで小中高生が文化財に触れる機会を設け、小中高生の地域の文化財への理解を深める。	◎	◎		○	○		
36	学校向けの文化財関連施設情報等の充実	市内小中学校向けの文化財関連施設・文化財情報等の充実を図る。	◎	○					
37	古文書解読事業	市内の古文書関係団体と協働で市所蔵古文書の解読を進め、解読集を発刊する。	◎	◎		○			
38	指定等無形の民俗文化財の後継者育成支援	指定等無形の文化財の後継者育成について、用具更新や練習会場の周知等を通じて支援する。	◎	◎			◎		
39	おうしゅう伝統文化親子教室等の開催	民俗芸能の体験などを通じて、小中学生の民俗芸能への関心を高める。	○	◎			◎		
40	冬の3館ウォークの実施	冬期間に、記念館で高校生以下対象の「冬の3館ウォーク」を実施する。	◎	○		◎			
41	先人顕彰に関する市民活動の支援	市民が実施する先人顕彰事業を支援する。	○	○		◎			
42	ガイドボランティアとの連携	市内で活動するガイドボランティア団体と連携し、文化財に関するガイドボランティアを育成する。	◎			◎			
43	牛の博物館ボランティアの育成・活動支援	牛の博物館ボランティア「キャトルサンク」などの市民有志と協働して活動を進め、博物館への理解を促進する。	◎	○		◎			
方針② 文化財の公開促進									
44	文化財関連施設の運営	市内の博物館・記念館・郷土資料館等で文化財の展示や教育普及活動を行い、市民の文化財への理解を深める。	◎	◎					
45	地区における文化財の活用	地区における文化財の活用事業について、地区と協働して実施する。	◎		○	◎	◎		
46	市所有歴史的建造物の公開	市が所有する旧後藤家住宅や旧岩谷堂共立病院、旧後藤正治郎家住宅などの歴史的建造物を公開する。	◎			○			
47	旧臨時緯度観測所関係施設の公開	国登録文化財旧臨時緯度観測所関係の建造物を公開する。	◎	◎	◎				
48	国登録有形文化財等の保存活用計画作成	国登録有形文化財等の保存活用計画を作成する。	◎			○			
49	国指定文化財等の公開促進	木造薬師如来坐像や木造兜跋毘沙門天立像など、社寺で管理されている文化財を公開する。	○			○	◎		
50	奥州市郷土芸能祭の実施	無形の民俗文化財等の発表機会を確保するため、奥州市郷土芸能祭を実施する。	◎	○			◎		
51	無形の民俗文化財演舞動画の公開	動画閲覧サイトに、無形の民俗文化財保持団体の芸能演舞の動画を掲載する。	◎	○			◎		
52	歴史公園の周知・公開	胆沢城跡歴史公園・館山公園等の歴史公園を周知・公開する。	◎			○			
53	歴史公園再編等の検討	歴史公園の再編等を検討する。	◎						

第7章 文化財の保存・活用に関する事業

番号	事業名	事業概要	事業主体					実施期間	
			行政	関係機関	研究機関	地域	所有者	前期	後期
方針③ 史跡等の活用									
54	長者ヶ原廃寺跡の整備	長者ヶ原廃寺跡整備基本計画に基づいて整備を進め、活用を図る。	◎			○			
55	白鳥館遺跡の整備	白鳥館遺跡整備基本計画に基づいて整備を進め、活用を図る。	◎			○			
56	大清水上遺跡の整備	大清水上遺跡保存管理計画に基づき、整備等の検討を行い、活用を図る。	◎			○			
57	角塚古墳の整備	史跡角塚古墳保存活用計画に基づいて整備を進め、活用を図る。	◎			○			
58	接待館遺跡の整備	接待館遺跡保存活用計画に基づき、整備に必要な詳細調査等を実施する。	◎			○			
59	胆沢城跡保存活用計画の改定	胆沢城跡保存活用計画（旧保存管理計画）を改定する。	◎	○		○	○		
方針④ 観光分野での文化財活用の促進									
60	日高火防祭の開催	県指定文化財日高火防祭を開催する。	○			○	◎		
61	市内の祭り行事への民俗芸能団体出演	民俗芸能団体が、市内で行われる祭り行事（江刺甚句まつり・江刺夏まつり・衣川まつり等）に出演する。	○	◎		○	◎		
62	前沢牛まつり・奥州前沢商工まつりへの協力	牛の博物館が前沢牛まつり・奥州前沢商工まつりで移動博物館を実施する。	◎			○			
63	えさし藤原の郷での定期公演	江刺地域の鹿踊団体が定期公演に出演する。	○	◎			◎		
64	胆沢城跡での事業実施	胆沢城跡で平安感謝祭（プロジェクションマッピング等）等の事業を実施する。	○	◎					

方向性4 文化財の情報資源化とネットワークの構築

[事業主体] ◎：主体的に取り組む、○：協働して取り組む

番号	事業名	事業概要	事業主体					実施期間	
			行政	関係機関	研究機関	地域	所有者	前期	後期
方針① 文化財の情報発信強化									
65	地域史研究講座の開催	文化財に関する調査成果報告会として、地域史研究講座を実施する。	◎	◎	◎				
66	埋蔵文化財調査報告会の開催	市内で行われた埋蔵文化財の調査成果報告会を開催する。	◎	◎					
67	奥州市文化財調査速報展の開催	市内巡回の奥州市文化財調査速報展を開催し、調査成果を市民向けに発信する。	◎	◎			○		
68	文化財普及啓発事業	市内文化財関係団体・研究機関等と連携し、文化財普及啓発事業を実施する。	◎	◎	◎	◎	◎		
69	文化財デジタルアーカイブの充実	文化財のデジタルアーカイブ化を進める。	◎	○	◎				
70	ホームページ・SNSでの情報発信	ホームページやSNSでの情報発信を増やし、文化財情報やイベント情報の周知を行う。	◎	◎			○		
71	画像利用基準の見直し	画像利用の基準や手続きを簡略化し、利用促進を図る。	◎						

番号	事業名	事業概要	事業主体					実施期間	
			行政	関係機関	研究機関	地域	所有者	前期	後期
方針② 多様な担い手による保存・活用体制の強化									
72	市内無形の民俗文化財保持団体の連携促進	市内の無形の民俗文化財保持団体のネットワーク構築を図り、団体間の連携を促進する。	○	○			◎		
73	産学官三者連携事業の推進	合同会社 AMANE・国立歴史民俗博物館メタ資料学研究センター・奥州市教育委員会で実施している産学官連携事業を推進する。	◎	◎	◎	○			
74	研究機関との共同研究等の実施	研究機関と共同研究等で連携し、市内の文化財に関する研究を進める。	◎	○	◎				
75	動物の標本づくり自主練習の開催	牛の博物館に収蔵する動物標本の作製（記録調査）を、市内外から参加者を募って開催する。	◎				◎		
76	いわて平泉歴史文化観光地域計画の推進	いわて平泉歴史文化観光地域計画の事業を推進する。	◎	○			○		
77	ひらいずみ遺産の普及啓発	岩手県・平泉町・一関市とともに、ひらいずみ遺産の普及啓発活動を行う。	◎	○			○		
78	定住自立圏域内の小中学生の博物館・記念館の無料化	圏域内の小中学生の博物館・記念館等の入館料を無料とし、広域的な利用を促進する。	◎	◎					
79	定住自立圏域内での民俗芸能振興事業の実施	定住自立圏域内の芸能祭等に、無形の民俗文化財保持団体を派遣する。また、定住自立圏構成自治体から無形の民俗文化財保持団体を市郷土芸能祭に受け入れる。	◎	◎				◎	
80	文化財保存活用支援団体指定の検討	取り組み状況に応じて、文化財保存活用支援団体の指定を検討する。	◎	○	○		◎	◎	
方針③ 文化財関連施設の整備・再編等の実施									
81	文化財関連施設整備・再編等検討委員会の開催	文化財関連施設の将来的なあり方を検討するため、整備・再編等検討委員会を設置し、議論を進める。	◎	○			○		
82	市内施設管理資料に関する方向性の検討	地区センター等で管理している資料について庁内関係課や関係団体と協議を行い、方向性を検討する。	◎	◎			◎		
83	文化財に関するニーズ調査	市内の文化財及び文化財関連施設に関するニーズを把握するため、必要な調査を実施する。	◎		○				
84	文化財関連施設の整備・再編等	整備・再編等検討委員会の結論に基づき、文化財関連施設の整備・再編等を行う。	◎	○			○		

第8章 文化財の保存・活用の体制

1 推進体制

本計画の推進には、行政機関のみならず、文化財所有者や地域住民、研究機関などの産学官民の協力と連携が不可欠です。そのため、歴史遺産課を中心に本計画に記載した事業を展開しつつ、進捗について奥州市文化財保護審議会の確認・助言を得ます。個別事業の推進にあたっては、産学官民の協力と連携を念頭に、所有者や地域住民、関係機関との調整を行い、必要に応じて国・県や専門家の指導・助言を得ながら進めます。

各事業主体（第7章参照）の役割を、以下に示します。

（１）行政の役割

- ①法などの関連法令に基づいて事務事業を適切に執行し、本計画を運用することで、文化財の保存・活用を推進します。
- ②文化財の保存・活用のための連携・協働の体制及び仕組みづくりを進め、政策の制度設計及び必要な財政措置を講じます。
- ③奥州市の文化財担当主管課は、歴史遺産課です。文化財関連施設での文化財の保存・活用の取り組みを充実させるとともに庁内関係課と連携を深め、情報共有を積極的に行うことで、全庁的な推進体制構築を目指します。
- ④奥州市に加えて、岩手県と本計画で示す文化財の保存・活用の方針を共有し、必要な協力を得るなど行政間における連携の強化を図ります。

（２）関係機関の役割

- ①それぞれの活動領域において、専門性を活かして文化財の保存・活用に取り組みます。
- ②小中学校などの教育機関で、郷土学習などを通じて文化財に対する学びや地域への理解を深め、郷土愛の醸成へとつなげます。
- ③文化財に関連して活動する事業者や団体は、行政や専門家等とも連携して活動を広げます。
- ④それぞれの活動において、他団体、事業者の活動との連携を深めて、分野や地域を超えた活動を実現します。

（３）研究機関の役割

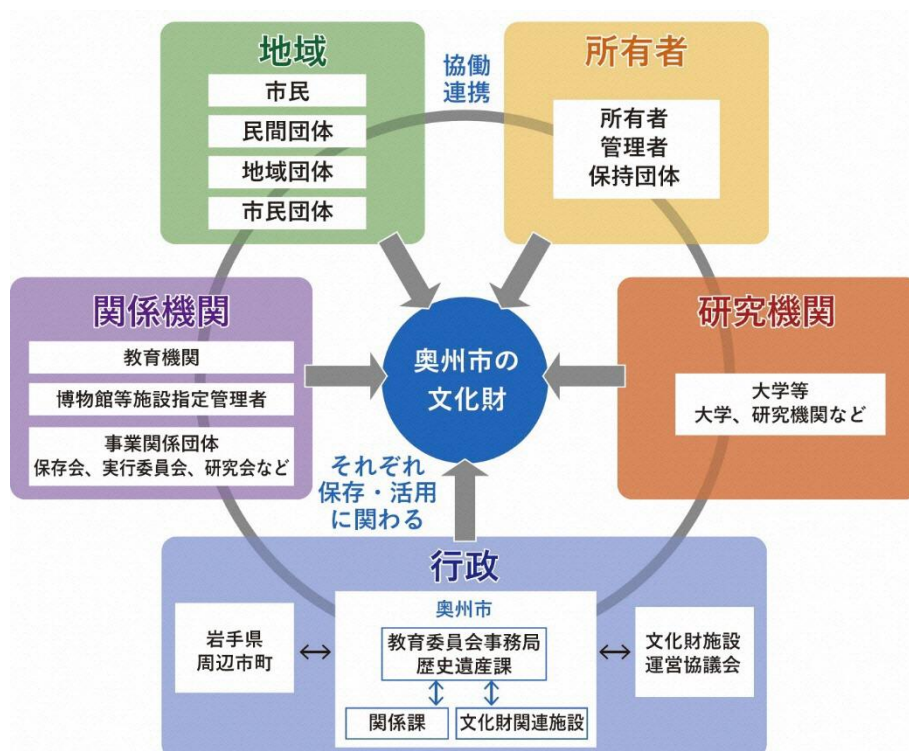
- ①文化財に関する調査研究を行い、専門的観点から文化財の価値付けなどを行います。
- ②調査研究の成果は、行政や地域と協働して積極的に情報発信し、市民等と価値を共有することで、文化財愛護の意識醸成や取り組み支援、人材育成につなげます。
- ③奥州市に関わる各分野の専門家は、行政等が行う取り組みに対し、専門的観点から助言を行います。

（４）地域の役割

- ①市民は、地域のアイデンティティを表す文化財が身近に伝わっていることを意識し、文化財に関する保存・活用の取り組みに参加・協力します。
- ②民間団体や民間企業は、地域社会の一員として、地域の文化財への理解を深め、事業活動に活かします。
- ③地域団体、市民団体は、コミュニティの活性化や市民間の交流などの多様な視点から、文化財の保存・活用の取り組みを進めます。
- ④市民や地域で活動する団体は、地域における保存・活用の牽引役として、取り組みに対して多様な担い手の参加を促し、文化財の価値や魅力を磨き、発信します。

（５）所有者の役割

- ①所有者（管理者・保持団体）は、文化財を適切に保存するとともに、可能な範囲で情報発信や公開等の活用を行い、文化財の有する価値を市民等と共有します。
- ②保存・活用にあたり、地域住民やボランティアなどの参加を求め、文化財を継承するための人材育成や仕組みづくりに努めます。
- ③保存・活用に関する現状や直面している課題について、行政に情報提供を行い、共有します。



産学官民連携による保存・活用体制のイメージ

2 奥州市の体制

本計画を推進するにあたり、行政、関係機関、研究機関、地域、所有者などによる以下の体制を構築します。

奥州市文化財保存活用地域計画の推進体制

行政
奥州市
【文化財担当主管課】 教育委員会事務局歴史遺産課（職員 10 名、うち学芸員 7 名） ①文化財の調査・保存・活用に関すること ②博物館・記念館・郷土資料館・奥州市埋蔵文化財調査センターの管理運営 教育委員会事務局歴史遺産課世界遺産登録推進室（職員 5 名、うち学芸員 3 名） 世界文化遺産追加登録候補資産の調査・研究・管理 ※ 4 名は歴史遺産課との兼務職員 文化財保護調査員（各地区 1 名、合計 30 名） 【文化財展示施設】 博物館 奥州市牛の博物館（館長 1 名、学芸員 2 名、学芸調査員 3 名） 記念館 高野長英記念館（館長 1 名、学芸調査員 2 名） 後藤新平記念館（館長 1 名、学芸調査員 2 名） 斎藤實記念館（館長 1 名、学芸調査員 2 名） 菊田一夫記念館（館長 1 名、学芸調査員 2 名） ※ 菊田一夫記念館長は歴史遺産課との兼務職員 郷土資料館 奥州市武家住宅資料館（館長 1 名、学芸調査員 3 名） 胆沢郷土資料館 衣川歴史ふれあい館 その他の文化財展示施設 めんこい美術館（生涯学習スポーツ課所管） 奥州宇宙遊学館（生涯学習スポーツ課所管） 消防記念館（危機管理課所管） えさし郷土文化館（観光物産課所管） 奥州市埋蔵文化財調査センター（歴史遺産課所管） ほか 【主な関係課】 政策企画部政策企画課 施策の総合調整、総合計画に関すること 政策企画部未来羅針盤課 ①未来羅針盤プロジェクトに関すること ②広聴・広報に関すること 総務部行革デジタル戦略課 ①公共施設等個別施設管理計画に関すること

②情報政策の企画・総合調整に関すること 財務部財産運用課 寄附採納に関すること 協働まちづくり部地域づくり推進課 地域コミュニティ、地区センターに関すること 協働まちづくり部生涯学習スポーツ課 社会教育、生涯学習、芸術・文化、社会教育・文化施設の運営に関すること 市民環境部危機管理課 ①消防施設に関すること ②防災・災害対応に関すること 商工観光部観光物産課 観光情報の発信、地域のまつり・イベントに関すること 農林部農政課 日本農業遺産に関すること 都市整備部都市計画課 都市計画の決定・変更に関すること 教育委員会事務局学校教育課 小中学校の運営に関すること 水沢総合支所・前沢総合支所地域支援グループ・胆沢総合支所地域支援グループ・衣川総合支所地域支援グループ ①郷土芸能祭の開催に関すること ②ニホンカモシカの保護・滅失に関すること
附属機関等
奥州市文化財保護審議会 奥州市立記念館運営審議会 奥州市牛の博物館協議会 えさし郷土文化館運営協議会
関係行政機関（県・隣接自治体）
岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課 岩手県文化スポーツ部文化振興課 奥州金ヶ崎行政事務組合（消防本部・水沢消防署・江刺消防署） 一関市 平泉町 定住自立圏構成団体（北上市、金ヶ崎町、西和賀町）
関係機関
教育機関
市内小学校 市内中学校 市内高等学校 市内特別支援学校
博物館等施設指定管理者
公益財団法人岩手県文化振興事業団（岩手県立博物館・岩手県埋蔵文化財センター） 一般財団法人奥州市文化振興財団（奥州市埋蔵文化財調査センター・めんこい美術館） NPO 法人胆沢文化会館自主事業協会（胆沢郷土資料館）

江刺開発振興株式会社（えさし郷土文化館） NPO 法人宇宙実践センター（奥州宇宙遊学館）
文化財に関する事業関係団体
鬼剣舞連合保存会 胆江地方神楽振興協議会 奥州市芸術文化協会 奥州市江刺郷土芸能保存連合会 奥州市江刺鹿踊保存会 奥州市郷土芸能祭実行委員会 胆沢郷土芸能まつり実行委員会 水沢古文書研究会 江刺古文書の会 胆沢古文書研究会 合同会社 AMANE
研究機関
大学等
国立大学法人東京大学 史料編纂所 大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館 メタ資料科学研究センター 大学共同利用機関法人自然科学研究機構 国立天文台 水沢 VLBI 観測所 独立行政法人国立文化財機構 文化財防災センター 独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所 独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所
地域
市民・民間団体・地域団体・市民団体
市民 奥州商工会議所 前沢商工会 一般社団法人奥州市観光物産協会 各地区振興会 みずさわ観光サポーターの会 炎がいどくらぶ いさわ散居ガイドの会 奥州市ガイドの会 先人顕彰懇話会 高野長英顕彰会 後藤新平顕彰会 斎藤實顕彰会 後藤寿庵顕彰会 アテルイを顕彰する会 岩谷堂城址顕彰会 牛の博物館ボランティア「キャトルサンク」 牛の博物館友の会 水沢「プレアデス」の会 奥州衣川青凜会

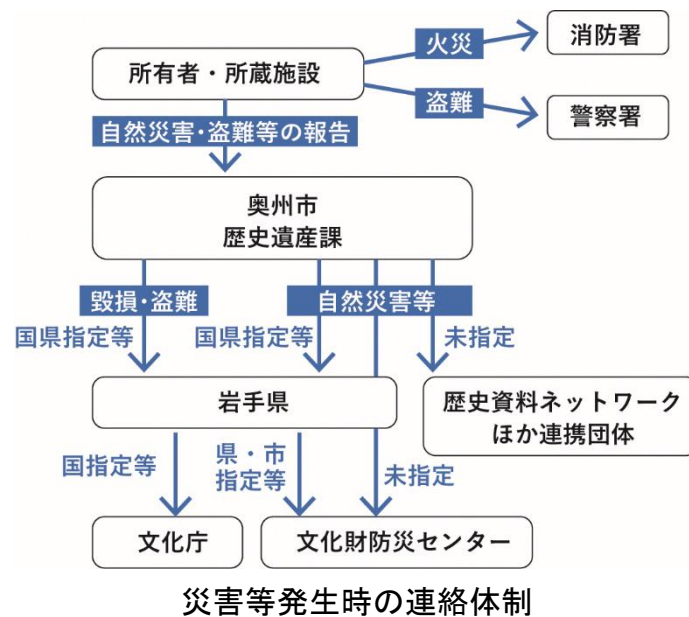
NPO 法人奥州おもしろ学	等
所有者	
所有者 管理者 無形の民俗文化財の保持団体（保存会）	

3 文化財の防災・防犯

（１）文化財の防災・防犯体制

日常的な防災・防犯については、所有者等が行うこととします。自然災害や火災、盗難など、文化財の保存に影響のある事態が発生した場合には、下記の体制に基づき対応を進めます。大規模災害が発生した場合は、文化財防災センターの支援を岩手県に要請するほか、歴史資料ネットワークなどの外部団体にも支援を要請します。

なお、火災に関しては、文化庁の「国宝・重要文化財（建造物）等の防火対策ガイドライン」及び「国宝・重要文化財（美術工芸品）を保管する博物館等の防火対策ガイドライン」を参考に体制の構築を進めていきます。



（２）文化財被災可能性の確認

奥州市では、災害への備えとして、洪水浸水や土砂災害などに対する危険個所を示すハザードマップを作成しています。指定等文化財について、所在地をハザードマップと重ね合わせ、それぞれの文化財の所在地に対する災害への危険性を確認します。所有者等は事前に災害のリスクを知り、防災に努める必要があります。

4 文化財保存活用支援団体制度の活用

今後、文化財の保存・活用の状況に応じて、文化財の保存・活用の取り組みを中心的に担う団体を文化財保存活用支援団体として指定することを検討します。

文化財保存活用支援団体とは、法第 192 条の 2 に基づく制度であり、地域の文化財の保存会や NPO 等の民間団体と協力し、行政と民間がより円滑に連携しながら文化財の保存・活用に取り組んでいくためのパートナーシップを結ぶことにより、このような民間団体を文化財の保存・活用に関する各種施策の推進主体として位置付けるものです。

資料編

1 文化財リスト（指定等文化財）

名称	分類①	分類②	分類③	指定等	地域	地区	指定等年月日
旧後藤家住宅	有形文化財	建造物		国	江刺	岩谷堂	昭和40年5月29日
正法寺本堂・庫裏・惣門 附鐘楼堂一棟・客殿御建替 御普請地絵図並小雛形仕 様書大圖一通	有形文化財	建造物		国	水沢	黒石	平成2年9月11日
日高神社本殿	有形文化財	建造物		国	水沢	水沢	平成2年9月11日
旧高橋家住宅	有形文化財	建造物		国	水沢	水沢	平成23年6月20日
瑞山神社（祖霊舎）	有形文化財	建造物		県	水沢	水沢	昭和47年10月27日
千葉家住宅門	有形文化財	建造物		県	水沢	黒石	昭和47年10月27日
武家住宅（後藤新平旧宅）	有形文化財	建造物		県	水沢	水沢	昭和47年10月27日
旧岩谷堂共立病院	有形文化財	建造物		県	江刺	岩谷堂	昭和54年2月27日
旧後藤正治郎家住宅	有形文化財	建造物		県	前沢	生母	昭和60年5月4日
麓山神社本殿 附棟札	有形文化財	建造物		県	江刺	米里	平成3年3月29日
智福毘沙門堂 附棟札	有形文化財	建造物		県	江刺	藤里	平成3年3月29日
八幡神社本殿 附棟札	有形文化財	建造物		県	胆沢	小山	平成3年3月29日
於呂閉志胆沢川神社厨子 （旧伊達宗章霊廟厨子）	有形文化財	建造物		県	胆沢	若柳	平成3年3月29日
千養寺観音堂	有形文化財	建造物		県	水沢	羽田	平成5年9月7日
太田家住宅（太幸邸）主屋 及びその庭、土蔵、表門、 前座敷、炊場並びに西側の 塀	有形文化財	建造物		県	前沢	前沢	平成9年9月2日
正法寺開山堂・小方丈	有形文化財	建造物		市	水沢	黒石	昭和60年10月16日
竜神社本殿	有形文化財	建造物		市	前沢	古城	昭和61年7月1日
旧内田家住宅主屋及び門	有形文化財	建造物		市	水沢	水沢	平成2年3月31日
鎮守府八幡宮本殿・拝殿	有形文化財	建造物		市	水沢	佐倉河	平成4年3月31日
中善蔵	有形文化財	建造物		市	江刺	岩谷堂	平成13年5月7日
千葉家住宅主屋	有形文化財	建造物		国登録	江刺	稲瀬	平成15年3月18日
旧緯度観測所本館（奥州宇 宙遊学館）	有形文化財	建造物		国登録	水沢	水沢南	平成29年10月27日
旧臨時緯度観測所本館（木 村榮記念館）	有形文化財	建造物		国登録	水沢	水沢南	平成29年10月27日
旧臨時緯度観測所眼視天 頂儀室	有形文化財	建造物		国登録	水沢	水沢南	平成29年10月27日
旧臨時緯度観測所眼視天 頂儀目標台及び覆屋	有形文化財	建造物		国登録	水沢	水沢南	平成29年10月27日
後藤伯記念公民館	有形文化財	建造物		国登録	水沢	水沢	令和1年12月5日
齋藤子爵水沢文庫図書館	有形文化財	建造物		国登録	水沢	水沢	令和3年10月14日
齋藤子爵水沢文庫図書閱 覧所	有形文化財	建造物		国登録	水沢	水沢	令和3年10月14日
旧安倍家住宅主屋	有形文化財	建造物		国登録	水沢	水沢	令和4年6月29日
旧安倍家住宅板蔵	有形文化財	建造物		国登録	水沢	水沢	令和4年6月29日
旧安倍家住宅土蔵	有形文化財	建造物		国登録	水沢	水沢	令和4年6月29日
旧安倍家住宅表門	有形文化財	建造物		国登録	水沢	水沢	令和4年6月29日
旧安倍家住宅庭門	有形文化財	建造物		国登録	水沢	水沢	令和4年6月29日

資料編 1 文化財リスト（指定等文化財）

名称	分類①	分類②	分類③	指定等	地域	地区	指定等年月日
旧高野家住宅古稀庵	有形文化財	建造物		国登録	水沢	水沢	令和 6 年 8 月 15 日
旧高野家住宅新座敷	有形文化財	建造物		国登録	水沢	水沢	令和 6 年 8 月 15 日
旧高野家住宅板倉	有形文化財	建造物		国登録	水沢	水沢	令和 6 年 8 月 15 日
旧高野家住宅瑞阜文庫	有形文化財	建造物		国登録	水沢	水沢	令和 6 年 8 月 15 日
愛宕神社本殿（旧愛宕山大権現堂）	有形文化財	建造物		国登録	江刺	江刺愛宕	令和 6 年 12 月 3 日
絹本著色開山良韶画像	有形文化財	美術工芸品	絵画	県	水沢	黒石	昭和 34 年 3 月 17 日
絹本著色十六羅漢像	有形文化財	美術工芸品	絵画	県	水沢	黒石	昭和 60 年 9 月 17 日
聖観音菩薩画像	有形文化財	美術工芸品	絵画	県	江刺	伊手	平成 3 年 8 月 27 日
絹本竹之図墨絵	有形文化財	美術工芸品	絵画	市	水沢	水沢	平成 6 年 6 月 1 日
絹本鷹之図墨絵	有形文化財	美術工芸品	絵画	市	水沢	水沢	平成 6 年 6 月 1 日
木造薬師如来坐像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	国	水沢	黒石	昭和 32 年 2 月 19 日
木造僧形坐像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	国	水沢	黒石	昭和 34 年 12 月 18 日
木造兜跋毘沙門天立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	国	江刺	藤里	昭和 34 年 12 月 18 日
木造四天王立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	国	水沢	黒石	平成 9 年 6 月 30 日
木造如意輪観音坐像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	県	水沢	黒石	昭和 29 年 4 月 5 日
木造僧形坐像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	県	水沢	黒石	昭和 29 年 4 月 5 日
銅造阿弥陀如来立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	県	江刺	岩谷堂	昭和 33 年 5 月 16 日
木造十一面観音立像 外	有形文化財	美術工芸品	彫刻	県	江刺	藤里	昭和 38 年 12 月 24 日
木造薬師如来坐像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	県	衣川	衣川	昭和 44 年 6 月 6 日
木造日光・月光菩薩立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	県	水沢	黒石	昭和 51 年 3 月 23 日
木造十二神将像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	県	水沢	黒石	昭和 51 年 3 月 23 日
木造阿弥陀如来立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	県	水沢	真城	昭和 60 年 9 月 17 日
木造釈迦如来坐像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	県	江刺	田原	平成 3 年 8 月 27 日
木造地藏菩薩坐像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	県	江刺	岩谷堂	平成 3 年 8 月 27 日
木造釈迦三尊坐像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	県	水沢	黒石	平成 9 年 5 月 2 日
木造千手観音立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	前沢	生母	昭和 48 年 1 月 1 日
木造釈迦如来立像（三沢初子持仏） 附厨子、釈迦堂創建記石板、釈迦堂棟札	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	前沢	前沢	昭和 48 年 12 月 20 日 平成 26 年 11 月 3 日 附けたり追加指定
木造十一面観音立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	前沢	前沢	昭和 49 年 10 月 1 日
金命丸本舗看板	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	前沢	前沢	昭和 49 年 10 月 1 日
木造五百羅漢像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	前沢	前沢	昭和 51 年 3 月 1 日
木造僧形坐像外	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	江刺	藤里	昭和 56 年 5 月 19 日
木造毘沙門天立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	江刺	岩谷堂	昭和 56 年 5 月 19 日
木造聖観音立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	江刺	梁川	昭和 56 年 5 月 19 日
木造十一面観音立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	江刺	玉里	昭和 56 年 5 月 19 日
獅子頭	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	江刺	梁川	昭和 56 年 5 月 19 日
木造神面	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	江刺	田原	昭和 56 年 5 月 19 日
木造地藏菩薩坐像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	胆沢	小山	昭和 57 年 7 月 7 日
銅造蔵王権現像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	胆沢	小山	昭和 57 年 7 月 7 日
木造十一面観音菩薩座像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	胆沢	若柳	昭和 57 年 7 月 7 日

名称	分類①	分類②	分類③	指定等	地域	地区	指定等年月日
木造山神立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	胆沢	胆沢愛宕	昭和 57 年 7 月 7 日
木造孝養太子立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	衣川	衣里	平成 1 年 6 月 27 日
木造地藏菩薩坐像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	衣川	衣川	平成 1 年 6 月 27 日
中善観音	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	江刺	岩谷堂	平成 12 年 3 月 6 日
木造阿弥陀如来坐像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	前沢	前沢	令和元年 5 月 10 日
桐竹文綾九条袈裟 附包 裂等付属品一括	有形文化財	美術工芸品	工芸品	県	水沢	黒石	昭和 47 年 10 月 27 日
短刀 銘奥州舞草光長	有形文化財	美術工芸品	工芸品	県	江刺	田原	昭和 53 年 4 月 4 日
銅三尊像懸仏	有形文化財	美術工芸品	工芸品	県	江刺	田原	昭和 55 年 3 月 4 日
刀 銘新藤源國義	有形文化財	美術工芸品	工芸品	県	江刺	田原	昭和 55 年 10 月 3 日
鉦鼓 附懸架・撞木	有形文化財	美術工芸品	工芸品	県	江刺	梁川	昭和 63 年 10 月 18 日
鉦鼓	有形文化財	美術工芸品	工芸品	県	江刺	梁川	昭和 63 年 10 月 18 日
金銅聖観音坐像懸仏	有形文化財	美術工芸品	工芸品	県	江刺	稲瀬	昭和 63 年 10 月 18 日
剣	有形文化財	美術工芸品	工芸品	県	江刺	藤里	昭和 63 年 10 月 18 日
銅鐘	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	水沢	羽田	昭和 32 年 3 月 30 日
長胴太鼓（時太鼓）	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	水沢	水沢	昭和 49 年 4 月 1 日
金銅華鬘	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	水沢	黒石	昭和 49 年 4 月 1 日
石灯籠	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	水沢	水沢	昭和 49 年 4 月 1 日
石灯籠	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	水沢	水沢	昭和 49 年 4 月 1 日
銅鐘	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	水沢	水沢	昭和 56 年 3 月 30 日
銅鐘	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	水沢	黒石	昭和 56 年 3 月 30 日
金銅阿弥陀如来坐像懸仏	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	衣川	南股	平成 1 年 6 月 27 日
銅鰐口	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	衣川	衣里	平成 1 年 6 月 27 日
懸仏	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	江刺	米里	平成 9 年 8 月 1 日
鉦鼓	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	江刺	田原	平成 9 年 8 月 1 日
木製供具（華瓶・高坏）	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	江刺	藤里	昭和 56 年 5 月 19 日
龍文真形鉄湯釜	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	水沢	羽田	平成 17 年 9 月 30 日
紙本墨書正法眼蔵 附正法 眼蔵雑文	有形文化財	美術工芸品	書跡・典籍	県	水沢	黒石	昭和 34 年 3 月 17 日
留守家文書	有形文化財	美術工芸品	古文書	国	水沢	佐倉河	平成 7 年 6 月 15 日
明善寺文書	有形文化財	美術工芸品	古文書	市	胆沢	若柳	昭和 61 年 2 月 1 日
小山の久保五嶋家文書	有形文化財	美術工芸品	古文書	市	胆沢	小山	平成 8 年 12 月 10 日
若柳の油地千田家文書	有形文化財	美術工芸品	古文書	市	胆沢	若柳	平成 8 年 12 月 10 日
若柳の惣之町阿部家文書	有形文化財	美術工芸品	古文書	市	胆沢	若柳	平成 8 年 12 月 10 日
新里の中屋敷千田家文書	有形文化財	美術工芸品	古文書	市	胆沢	若柳	平成 13 年 6 月 1 日
江刺郡片岡村伊達左兵衛 在郷屋敷絵図	有形文化財	美術工芸品	古文書	市	江刺	岩谷堂	平成 30 年 11 月 30 日
角塚古墳出土埴輪	有形文化財	美術工芸品	考古資料	県	胆沢	南都田	平成 2 年 8 月 28 日
石庖丁	有形文化財	美術工芸品	考古資料	県	胆沢	南都田	平成 2 年 8 月 28 日
白磁四耳壺	有形文化財	美術工芸品	考古資料	市	江刺	岩谷堂	昭和 47 年 1 月 25 日
暗文のある坏型土器	有形文化財	美術工芸品	考古資料	市	胆沢	南都田	昭和 61 年 2 月 1 日
須恵器坏型土器	有形文化財	美術工芸品	考古資料	市	胆沢	南都田	昭和 61 年 2 月 1 日

資料編 1 文化財リスト（指定等文化財）

名称	分類①	分類②	分類③	指定等	地域	地区	指定等年月日
経壺	有形文化財	美術工芸品	考古資料	市	江刺	岩谷堂	平成 12 年 3 月 6 日
須恵器系波状文四耳壺	有形文化財	美術工芸品	考古資料	市	江刺	岩谷堂	平成 13 年 5 月 7 日
高野長英関係資料	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	国	水沢	水沢南	平成 8 年 6 月 27 日
比翼館の版木	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	市	江刺	岩谷堂	昭和 40 年 3 月 4 日
高野長英獄中角筆詩文（伝爪書）	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	市	前沢	前沢	昭和 48 年 1 月 1 日
シーボルト処方箋	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	市	前沢	前沢	昭和 48 年 1 月 1 日
海国兵談（版本）	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	市	前沢	前沢	昭和 48 年 1 月 1 日
西説医原枢要（版本）	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	市	前沢	前沢	昭和 48 年 12 月 20 日
市野々の算額	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	市	胆沢	胆沢愛宕	昭和 61 年 2 月 1 日
化粧坂の算額	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	市	胆沢	南都田	昭和 61 年 2 月 1 日
上伊澤元禄絵図	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	市	胆沢	若柳	昭和 61 年 2 月 1 日
仙台水沢住坂本運治行盛作火縄銃	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	市	水沢	水沢南	平成 9 年 1 月 7 日
中善算額	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	市	江刺	岩谷堂	平成 13 年 5 月 7 日
鳥の鳴聲（和寿禮か多美）	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	市	水沢	水沢南	平成 25 年 10 月 30 日
黒石の十三塚	民俗文化財	有形の民俗文化財		国	水沢	黒石	平成 5 年 12 月 13 日
巡礼納札	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	県	江刺	玉里	昭和 54 年 8 月 17 日
まいりの仏	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	県	江刺	岩谷堂	昭和 60 年 2 月 5 日
まいりの仏	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	県	江刺	稲瀬	昭和 60 年 2 月 5 日
姉体庚申塔（寛永十二年銘）	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	県	水沢	姉体	平成 25 年 11 月 5 日
佐倉河東広町のまいりの仏	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	水沢	常盤	昭和 49 年 4 月 1 日
船絵馬	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	江刺	江刺愛宕	昭和 56 年 5 月 19 日
恩俗長根の追分石	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	小山	昭和 57 年 7 月 7 日
国分の追分石	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	南都田	昭和 57 年 7 月 7 日
化粧坂の追分石	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	南都田	昭和 57 年 7 月 7 日
堰袋の追分石	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	胆沢愛宕	昭和 57 年 7 月 7 日
供養塚の追分石（馬頭碑）	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	若柳	昭和 57 年 7 月 7 日
幅下の追分石	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	若柳	昭和 57 年 7 月 7 日
供養塚の追分石（鹿嶋大明神）	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	若柳	昭和 57 年 7 月 7 日
市野々の追分石	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	胆沢愛宕	昭和 57 年 7 月 7 日
館山の板碑（延慶の碑）	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	江刺	岩谷堂	昭和 60 年 2 月 19 日

名称	分類①	分類②	分類③	指定等	地域	地区	指定等年月日
駒籠の板碑(嘉暦の碑)	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	江刺	江刺愛宕	昭和 60 年 2 月 19 日
館山の板碑（康永の碑）	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	江刺	岩谷堂	昭和 60 年 2 月 19 日
七日市の板碑（延文の碑）	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	江刺	広瀬	昭和 60 年 2 月 19 日
柿ノ木の板碑（貞治の碑）	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	江刺	広瀬	昭和 60 年 2 月 19 日
市野々のまいりの仏	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	胆沢愛宕	昭和 61 年 2 月 1 日
若柳愛宕のまいりの仏	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	胆沢愛宕	昭和 61 年 2 月 1 日
河内の月山神社棟札	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	衣川	南股	平成 1 年 6 月 27 日
寺田の墨書板碑	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	衣川	衣川	平成 1 年 6 月 27 日
中萱刈窪のまいりの仏	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	胆沢愛宕	平成 10 年 7 月 8 日
八幡屋敷の八幡社幟	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	若柳	平成 13 年 6 月 1 日
堰袋の馬頭観世音堂寄進札	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	胆沢愛宕	平成 13 年 6 月 1 日
森の胆堀神社棟札	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	小山	平成 13 年 6 月 1 日
大畑の山王権現社棟札	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	小山	平成 13 年 6 月 1 日
長檀の御駒社棟札	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	小山	平成 13 年 6 月 1 日
高縁の神明神社棟札・幟	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	小山	平成 13 年 6 月 1 日
伊勢堂の伊勢堂棟札・幟	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	小山	平成 13 年 6 月 1 日
大袋の不動尊堂棟札	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	小山	平成 13 年 6 月 1 日
机地の弁財天堂幟	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	南都田	平成 13 年 6 月 1 日
宝蔵山宝寿寺棟札	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	南都田	平成 13 年 6 月 1 日
熊野の熊野社棟札	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	南都田	平成 13 年 6 月 1 日
下鹿合の子養観音堂棟札	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	胆沢愛宕	平成 13 年 6 月 1 日
愛宕の愛宕神社棟札	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	胆沢愛宕	平成 13 年 6 月 1 日
観音堂の観音堂棟札	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	胆沢愛宕	平成 13 年 6 月 1 日
大町の伊勢堂棟札	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	若柳	平成 13 年 6 月 1 日
松原の熊野社棟札	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	若柳	平成 13 年 6 月 1 日

資料編 1 文化財リスト（指定等文化財）

名称	分類①	分類②	分類③	指定等	地域	地区	指定等年月日
化粧野の三嶋神社棟札	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	若柳	平成 13 年 6 月 1 日
新中の新山神社棟札	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	若柳	平成 13 年 6 月 1 日
四季耕作図絵馬	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	前沢	白山	平成 28 年 2 月 26 日
剣舞道化面	民俗文化財	有形の民俗文化財	民俗芸能	市	胆沢	小山	平成 1 年 12 月 26 日
吉祥院能面	民俗文化財	有形の民俗文化財	民俗芸能	市	胆沢	小山	平成 1 年 12 月 26 日
中沢神楽面	民俗文化財	有形の民俗文化財	民俗芸能	市	胆沢	小山	平成 1 年 12 月 26 日
山神社剣舞絵馬	民俗文化財	有形の民俗文化財	民俗芸能	市	胆沢	胆沢愛宕	平成 13 年 6 月 1 日
日高火防祭	民俗文化財	無形の民俗文化財	風俗慣習	県	水沢	水沢	令和 5 年 11 月 21 日
西沢目大名行列	民俗文化財	無形の民俗文化財	風俗慣習	市	江刺	梁川	昭和 47 年 1 月 25 日
やぶさめ	民俗文化財	無形の民俗文化財	風俗慣習	市	江刺	梁川	昭和 47 年 1 月 25 日
六日入白山神社献膳の儀	民俗文化財	無形の民俗文化財	風俗慣習	市	前沢	白山	昭和 52 年 8 月 1 日
伊手熊野神社蘇民祭	民俗文化財	無形の民俗文化財	風俗慣習	市	江刺	伊手	平成 9 年 8 月 1 日
鴨沢神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能 (神楽)	県	江刺	広瀬	平成 1 年 8 月 1 日
奥州胆沢北下巾神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能 (神楽)	市	水沢	水沢	昭和 35 年 3 月 28 日
福原神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能 (神楽)	市	水沢	水沢南	昭和 35 年 3 月 28 日
狼ヶ志田神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能 (神楽)	市	胆沢	小山	昭和 35 年 11 月 1 日
恩俗神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能 (神楽)	市	胆沢	小山	昭和 35 年 11 月 1 日
笹森神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能 (神楽)	市	胆沢	小山	昭和 35 年 11 月 1 日
鹿合神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能 (神楽)	市	胆沢	胆沢愛宕	昭和 35 年 11 月 1 日
十文字神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能 (神楽)	市	胆沢	小山	昭和 35 年 11 月 1 日
前谷地神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能 (神楽)	市	胆沢	若柳	昭和 42 年 3 月 1 日
社風長京神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能 (神楽)	市	江刺	梁川	昭和 47 年 1 月 25 日
小川原流和田神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能 (神楽)	市	江刺	玉里	昭和 48 年 11 月 3 日
川内神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能 (神楽)	市	江刺	田原	昭和 48 年 11 月 3 日
岳流学間沢神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能 (神楽)	市	江刺	米里	昭和 48 年 11 月 3 日

名称	分類①	分類②	分類③	指定等	地域	地区	指定等年月日
佐野向神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能（神楽）	市	江刺	稲瀬	昭和 52 年 3 月 31 日
川内神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能（神楽）	市	衣川	南股	昭和 53 年 3 月 25 日
瀬台野神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能（神楽）	市	水沢	常盤	昭和 56 年 3 月 30 日
赤生津神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能（神楽）	市	前沢	生母	昭和 56 年 7 月 20 日
熊野神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能（神楽）	市	前沢	古城	昭和 56 年 7 月 20 日
白鳥神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能（神楽）	市	前沢	前沢	昭和 56 年 7 月 20 日
成岡田神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能（神楽）	市	前沢	生母	昭和 56 年 7 月 20 日
西風神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能（神楽）	市	胆沢	胆沢愛宕	昭和 57 年 7 月 7 日
南下幅熊野権現舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能（神楽）	市	胆沢	南都田	昭和 57 年 7 月 7 日
大原神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能（神楽）	市	衣川	南股	平成 7 年 11 月 6 日
川西獅子舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能（神楽）	市	衣川	衣里	平成 7 年 11 月 6 日
川東神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能（神楽）	市	衣川	衣里	平成 7 年 11 月 6 日
歌書神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能（神楽）	市	江刺	広瀬	平成 17 年 4 月 1 日
大償齋部流野口家伝栗生沢神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能（神楽）	市	江刺	梁川	平成 17 年 4 月 1 日
原体神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能（神楽）	市	江刺	田原	平成 17 年 4 月 1 日
鶯沢神楽（附今野忠治旧蔵「神楽本」5 冊、「神楽面」2 面）	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能（神楽）	市	水沢	羽田	平成 17 年 9 月 30 日
黒田助獅子舞（附「獅子頭」1 点、「太鼓」2 点）	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能（神楽）	市	水沢	羽田	平成 17 年 9 月 30 日
中田太神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能（神楽）	市	江刺	梁川	平成 24 年 10 月 31 日
小田代神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能（神楽）	市	江刺	田原	平成 28 年 2 月 26 日
上幅庭田植踊	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能（田楽・田植踊）	市	水沢	佐倉河	昭和 35 年 3 月 28 日
都鳥田植踊	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能（田楽・田植踊）	市	胆沢	南都田	昭和 35 年 11 月 1 日
出店田植踊	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能（田楽・田植踊）	市	胆沢	若柳	昭和 48 年 12 月 7 日
元町座敷田植踊	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能（田楽・田植踊）	市	江刺	玉里	昭和 52 年 3 月 31 日

資料編 1 文化財リスト（指定等文化財）

名称	分類①	分類②	分類③	指定等	地域	地区	指定等年月日
大原田植踊り	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能 (田楽・田植踊)	市	衣川	南股	平成 7 年 11 月 6 日
軽石座敷田植踊り	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能 (田楽・田植踊)	市	江刺	広瀬	平成 17 年 4 月 1 日
鬼剣舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能 (風流)	国	胆沢・衣川	小山・衣里	平成 5 年 12 月 13 日
鹿踊り	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能 (風流)	県	江刺	稲瀬	昭和 38 年 12 月 24 日
江刺市梁川金津流鹿踊 附金津流鹿踊本體巻及び 金津流鹿踊伝授之目録	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能 (風流)	県	江刺	梁川	昭和 53 年 4 月 4 日
久田鹿踊	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能 (風流)	県	江刺	梁川	平成 15 年 4 月 30 日
伊藤流行山鹿踊	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能 (風流)	市	水沢	羽田	昭和 35 年 3 月 28 日
奥野流富士麓行山鹿踊	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能 (風流)	市	水沢	佐倉河	昭和 35 年 3 月 28 日
市野々念佛剣舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能 (風流)	市	胆沢	胆沢愛宕	昭和 35 年 11 月 1 日
行山流都鳥鹿踊	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能 (風流)	市	胆沢	南都田	昭和 35 年 11 月 1 日
化粧坂念佛剣舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能 (風流)	市	胆沢	南都田	昭和 35 年 11 月 1 日
南下幅念佛剣舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能 (風流)	市	胆沢	南都田	昭和 35 年 11 月 1 日
新里念佛剣舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能 (風流)	市	胆沢	若柳	昭和 39 年 11 月 1 日
鹿合念佛剣舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能 (風流)	市	胆沢	胆沢愛宕	昭和 44 年 12 月 23 日
奥山行山流内ノ目鹿踊	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能 (風流)	市	江刺	玉里	昭和 48 年 11 月 3 日
奥山行山流増沢鹿踊	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能 (風流)	市	江刺	岩谷堂	昭和 48 年 11 月 3 日
金津流伊手獅子躍	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能 (風流)	市	江刺	伊手	昭和 48 年 11 月 3 日
原躰剣舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能 (風流)	市	江刺	田原	昭和 48 年 11 月 3 日
増沢剣舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能 (風流)	市	江刺	岩谷堂	昭和 48 年 11 月 3 日
二の台念佛剣舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能 (風流)	市	胆沢	小山	昭和 48 年 12 月 7 日
奥山行上流餅田鹿踊	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能 (風流)	市	江刺	岩谷堂	昭和 52 年 3 月 31 日
池田胴念仏	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能 (風流)	市	衣川	衣里	昭和 53 年 3 月 25 日
大平念仏剣舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能 (風流)	市	衣川	北股	昭和 53 年 3 月 25 日
行山流供養塚鹿踊	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能 (風流)	市	胆沢	若柳	昭和 57 年 7 月 7 日

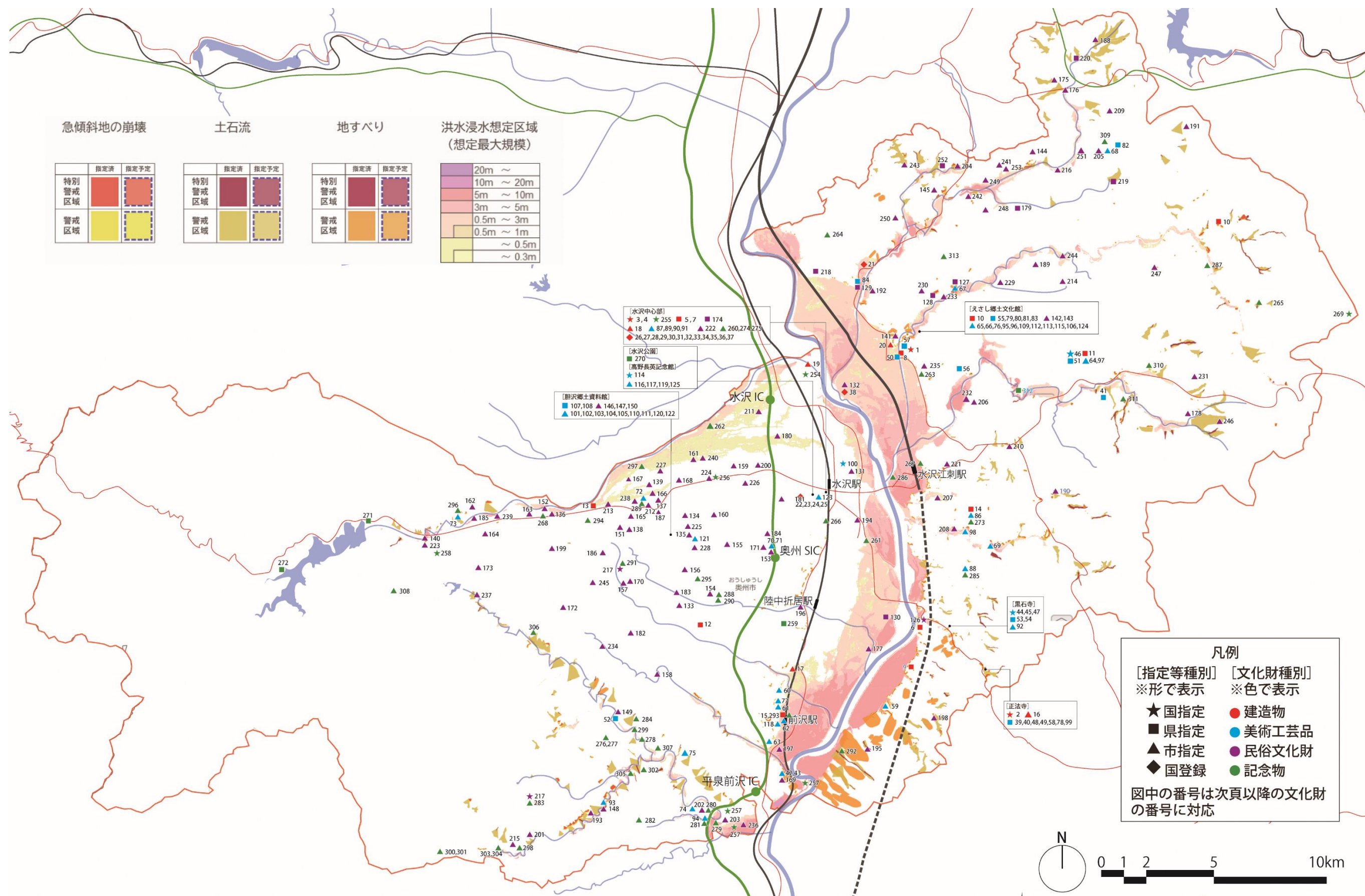
名称	分類①	分類②	分類③	指定等	地域	地区	指定等年月日
野山田念佛剣舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能（風流）	市	胆沢	胆沢愛宕	昭和 57 年 7 月 7 日
柳田念佛剣舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能（風流）	市	胆沢	南都田	昭和 57 年 7 月 7 日
軽石薩摩奴踊	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能（風流）	市	江刺	広瀬	昭和 58 年 3 月 31 日
奥山行山流鴨沢鹿踊	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能（風流）	市	江刺	広瀬	昭和 61 年 4 月 25 日
奥山上山流歌書獅子躍	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能（風流）	市	江刺	広瀬	昭和 61 年 4 月 25 日
行山流角懸鹿躍	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能（風流）	市	江刺	玉里	昭和 61 年 4 月 25 日
大畑平念佛剣舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能（風流）	市	胆沢	小山	平成 1 年 12 月 26 日
奥山行山流地ノ神鹿踊	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能（風流）	市	江刺	伊手	昭和 52 年 3 月 31 日
兄和田念佛剣舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能（風流）	市	江刺	米里	平成 17 年 4 月 1 日
鴨沢念佛剣舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能（風流）	市	江刺	広瀬	平成 17 年 4 月 1 日
軽石念佛剣舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能（風流）	市	江刺	広瀬	平成 17 年 4 月 1 日
金津流石関獅子躍	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能（風流）	市	江刺	稲瀬	平成 24 年 10 月 31 日
金津流野手崎獅子躍	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能（風流）	市	江刺	梁川	平成 24 年 10 月 31 日
広瀬人形芝居常楽座	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能	県	江刺	広瀬	平成 7 年 9 月 1 日
軽石歌舞伎「中村座」	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能	市	江刺	広瀬	平成 17 年 4 月 1 日
胆沢城跡	記念物	史跡		国	水沢	佐倉河	大正 11 年 10 月 12 日 平成 23 年 9 月 21 日 追加指定 平成 27 年 3 月 10 日 追加指定
高野長英旧宅	記念物	史跡		国	水沢	水沢	昭和 8 年 4 月 13 日
角塚古墳	記念物	史跡		国	胆沢	南都田	昭和 60 年 3 月 22 日
柳之御所・平泉遺跡群（白鳥館遺跡・長者ヶ原廃寺跡・接待館遺跡）	記念物	史跡		国	前沢・衣川	前沢・衣里	【白鳥館遺跡】 平成 17 年 7 月 14 日 平成 20 年 3 月 28 日 追加指定 【長者ヶ原廃寺跡】 平成 17 年 7 月 14 日 【接待館遺跡】 平成 22 年 2 月 22 日
大清水上遺跡	記念物	史跡		国	胆沢	胆沢愛宕	平成 20 年 7 月 28 日
明後沢古瓦出土地（明後沢遺跡）	記念物	史跡		県	前沢	古城	昭和 38 年 12 月 24 日
留守家墓所	記念物	史跡		市	水沢	水沢	昭和 49 年 4 月 1 日
上姉体館跡	記念物	史跡		市	水沢	姉体	昭和 49 年 4 月 1 日
半入豪族屋敷	記念物	史跡		市	水沢	佐倉河	昭和 56 年 3 月 30 日

資料編 1 文化財リスト（指定等文化財）

名称	分類①	分類②	分類③	指定等	地域	地区	指定等年月日
豊田城跡碑	記念物	史跡		市	江刺	岩谷堂	昭和 56 年 5 月 19 日
瀬谷子窯跡	記念物	史跡		市	江刺	稲瀬	昭和 56 年 5 月 19 日
人首山本の旧盛街道七里塚	記念物	史跡		市	江刺	米里	昭和 56 年 5 月 19 日
真城中上野の旧奥州街道一里塚	記念物	史跡		市	水沢	真城	昭和 63 年 12 月 23 日
水沢鋳物発祥の地	記念物	史跡		市	水沢	羽田	平成 6 年 6 月 1 日
若柳堰袋の旧仙北街道一里塚	記念物	史跡		市	胆沢	胆沢愛宕	平成 7 年 3 月 10 日
「イーハトーブの風景地」 種山ヶ原	記念物	名勝		国	江刺	米里	平成 17 年 3 月 2 日
駒形神社及び水沢公園の ヒガン系桜群	記念物	天然記念物	植物	県	水沢	水沢南	昭和 41 年 3 月 8 日
胆沢川流域ユキツバキ群 落	記念物	天然記念物	植物	県	胆沢	胆沢愛宕	昭和 44 年 6 月 6 日
若柳ヒメカウウ群落	記念物	天然記念物	植物	県	胆沢	胆沢愛宕	昭和 53 年 4 月 4 日
千養寺のカヤ	記念物	天然記念物	植物	市	水沢	羽田	昭和 32 年 3 月 30 日
日高神社のスギ	記念物	天然記念物	植物	市	水沢	水沢	昭和 32 年 3 月 30 日
大手町のスギ	記念物	天然記念物	植物	市	水沢	水沢	昭和 47 年 4 月 1 日
松山寺のイチョウ	記念物	天然記念物	植物	市	衣川	衣川	昭和 48 年 4 月 1 日
松山寺のカヤ	記念物	天然記念物	植物	市	衣川	衣川	昭和 48 年 4 月 1 日
関袋のカヤ	記念物	天然記念物	植物	市	衣川	衣川	昭和 48 年 4 月 1 日
並木前のエドヒガン・コ ナラ合体木	記念物	天然記念物	植物	市	衣川	衣里	昭和 48 年 4 月 1 日
北館のエドヒガン	記念物	天然記念物	植物	市	衣川	衣里	昭和 48 年 4 月 1 日
山口のヒノキアスナロ	記念物	天然記念物	植物	市	衣川	衣里	昭和 48 年 4 月 1 日
後滝の沢のスギとフジ	記念物	天然記念物	植物	市	衣川	衣里	昭和 48 年 4 月 1 日
畦畑のスギ	記念物	天然記念物	植物	市	衣川	南股	昭和 48 年 4 月 1 日
懸田のヒイラギ	記念物	天然記念物	植物	市	衣川	衣川	昭和 48 年 4 月 1 日
長田のカヤ	記念物	天然記念物	植物	市	水沢	黒石	昭和 49 年 4 月 1 日
羽田八雲神社のイロハモ ミジ	記念物	天然記念物	植物	市	水沢	羽田	昭和 56 年 3 月 30 日
向平当のイチイ	記念物	天然記念物	植物	市	江刺	米里	昭和 56 年 5 月 19 日
前大畑のイチイ	記念物	天然記念物	植物	市	胆沢	小山	昭和 57 年 7 月 7 日
小十文字のサイカチ	記念物	天然記念物	植物	市	胆沢	南都田	昭和 57 年 7 月 7 日
前大畑のスギ	記念物	天然記念物	植物	市	胆沢	小山	昭和 57 年 7 月 7 日
大谷地のヤブツバキ	記念物	天然記念物	植物	市	胆沢	小山	昭和 57 年 7 月 7 日
荒谷のイロハモミジ	記念物	天然記念物	植物	市	前沢	生母	昭和 54 年 8 月 1 日
太幸邸のウメ	記念物	天然記念物	植物	市	前沢	前沢	昭和 54 年 8 月 1 日
土橋のエドヒガン	記念物	天然記念物	植物	市	胆沢	若柳	平成 1 年 12 月 26 日
峠のトウゲダケ群落	記念物	天然記念物	植物	市	胆沢	小山	平成 1 年 12 月 26 日
鹿合のスギ	記念物	天然記念物	植物	市	胆沢	胆沢愛宕	平成 1 年 12 月 26 日
明善寺のヒヨクヒバ	記念物	天然記念物	植物	市	胆沢	若柳	平成 1 年 12 月 26 日
野崎のヤマトアオダモ	記念物	天然記念物	植物	市	衣川	南股	平成 7 年 11 月 6 日

名称	分類①	分類②	分類③	指定等	地域	地区	指定等年月日
石ヶ沢のカヤ	記念物	天然記念物	植物	市	衣川	衣川	平成 7 年 11 月 6 日
餅転のネズコ	記念物	天然記念物	植物	市	衣川	南股	平成 7 年 11 月 6 日
餅転のスギ	記念物	天然記念物	植物	市	衣川	南股	平成 7 年 11 月 6 日
旧殿のコウヤマキ	記念物	天然記念物	植物	市	衣川	衣川	平成 7 年 11 月 6 日
檜原のサルスベリ	記念物	天然記念物	植物	市	衣川	南股	平成 7 年 11 月 6 日
檜原のヤマボウシ	記念物	天然記念物	植物	市	衣川	南股	平成 7 年 11 月 6 日
山岸のイチョウ	記念物	天然記念物	植物	市	衣川	衣川	平成 11 年 11 月 1 日
古館のエドヒガン	記念物	天然記念物	植物	市	衣川	北股	平成 11 年 11 月 1 日
古戸のサワラ	記念物	天然記念物	植物	市	衣川	衣川	平成 11 年 11 月 1 日
増沢のエゾイタヤ	記念物	天然記念物	植物	市	衣川	北股	平成 14 年 8 月 1 日
梁川のエドヒガン（種蒔桜）	記念物	天然記念物	植物	市	江刺	梁川	平成 24 年 3 月 30 日
秋葉神社のスギ	記念物	天然記念物	植物	市	江刺	伊手	平成 26 年 11 月 3 日
戸隠神社のスギ	記念物	天然記念物	植物	市	江刺	伊手	平成 26 年 11 月 3 日
藤里の珪化木	記念物	天然記念物	地質鉱物	県	江刺	藤里	昭和 38 年 12 月 24 日
袖山の輝石安山岩柱状節理	記念物	天然記念物	地質鉱物	市	江刺	岩谷堂	昭和 48 年 11 月 3 日

2 指定等文化財ハザードマップ



指定等文化財の分布とハザードマップの重ね合わせ

資料編 2 指定等文化財ハザードマップ

番号	名称	分類			指定等	番号	名称	分類			指定等
1	旧後藤家住宅	有形文化財	建造物		国	37	旧高野家住宅瑞草文庫	有形文化財	建造物		国登録
2	正法寺本堂・庫裏・惣門 附鐘楼堂一棟・客殿御建替御普請地絵図並小雛形仕様書大圖一通	有形文化財	建造物		国	38	愛宕神社本殿（旧愛宕山大権現堂）	有形文化財	建造物		国登録
3	日高神社本殿	有形文化財	建造物		国	39	絹本着色開山良韶画像	有形文化財	美術工芸品	絵画	県
4	旧高橋家住宅	有形文化財	建造物		国	40	絹本着色十六羅漢像	有形文化財	美術工芸品	絵画	県
5	瑞山神社（祖霊舎）	有形文化財	建造物		県	41	聖観音菩薩画像	有形文化財	美術工芸品	絵画	県
6	千葉家住宅門	有形文化財	建造物		県	42	絹本竹之図墨絵	有形文化財	美術工芸品	絵画	市
7	武家住宅（後藤新平旧宅）	有形文化財	建造物		県	43	絹本鷹之図墨絵	有形文化財	美術工芸品	絵画	市
8	旧岩谷堂共立病院	有形文化財	建造物		県	44	木造薬師如来坐像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	国
9	旧後藤正治郎家住宅	有形文化財	建造物		県	45	木造僧形坐像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	国
10	麓山神社本殿 附棟札	有形文化財	建造物		県	46	木造兜跋毘沙門天立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	国
11	智福毘沙門堂 附棟札	有形文化財	建造物		県	47	木造四天王立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	国
12	八幡神社本殿 附棟札	有形文化財	建造物		県	48	木造如意輪観音坐像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	県
13	於呂閉志胆沢川神社厨子（旧伊達宗章霊廟厨子）	有形文化財	建造物		県	49	木造僧形坐像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	県
14	千養寺観音堂	有形文化財	建造物		県	50	銅造阿弥陀如来立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	県
15	太田家住宅（太幸邸）主屋及びその庭、土蔵、表門、前座敷、炊場並びに西側の塀	有形文化財	建造物		県	51	木造十一面観音立像外	有形文化財	美術工芸品	彫刻	県
16	正法寺開山堂・小方丈	有形文化財	建造物		市	52	木造薬師如来坐像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	県
17	竜神社本殿	有形文化財	建造物		市	53	木造日光・月光菩薩立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	県
18	旧内田家住宅主屋及び門	有形文化財	建造物		市	54	木造十二神将像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	県
19	鎮守府八幡宮本殿・拝殿	有形文化財	建造物		市	55	木造阿弥陀如来立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	県
20	中善蔵	有形文化財	建造物		市	56	木造釈迦如来坐像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	県
21	千葉家住宅主屋	有形文化財	建造物		国登録	57	木造地藏菩薩坐像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	県
22	旧緯度観測所本館（奥州宇宙遊学館）	有形文化財	建造物		国登録	58	木造釈迦三尊坐像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	県
23	旧臨時緯度観測所本館（木村榮記念館）	有形文化財	建造物		国登録	59	木造千手観音立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市
24	旧臨時緯度観測所眼視天頂儀室	有形文化財	建造物		国登録	60	木造釈迦如来立像（三沢初子持仏） 附厨子、釈迦堂創建記石板、釈迦堂棟札	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市
25	旧臨時緯度観測所眼視天頂儀目標台及び覆屋	有形文化財	建造物		国登録	61	木造十一面観音立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市
26	後藤伯記念公民館	有形文化財	建造物		国登録	62	金命丸本舗看板	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市
27	齋藤子爵水沢文庫図書庫	有形文化財	建造物		国登録	63	木造五百羅漢像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市
28	齋藤子爵水沢文庫図書閲覧所	有形文化財	建造物		国登録	64	木造僧形坐像外	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市
29	旧安倍家住宅主屋	有形文化財	建造物		国登録	65	木造毘沙門天立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市
30	旧安倍家住宅板蔵	有形文化財	建造物		国登録	66	木造聖観音立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市
31	旧安倍家住宅土蔵	有形文化財	建造物		国登録	67	木造十一面観音立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市
32	旧安倍家住宅表門	有形文化財	建造物		国登録	68	獅子頭	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市
33	旧安倍家住宅庭門	有形文化財	建造物		国登録	69	木造神面	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市
34	旧高野家住宅古稀庵	有形文化財	建造物		国登録	70	木造地藏菩薩坐像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市
35	旧高野家住宅新座敷	有形文化財	建造物		国登録	71	銅造蔵王権現像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市
36	旧高野家住宅板倉	有形文化財	建造物		国登録	72	木造十一面観音菩薩座像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市
						73	木造山神立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市
						74	木造孝義太子立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市
						75	木造地藏菩薩坐像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市
						76	中善観音	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市
						77	木造阿弥陀如来坐像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市
						78	桐竹文綾九条袈裟 附包裂等付属品一括	有形文化財	美術工芸品	工芸品	県

番号	名称	分類			指定等	番号	名称	分類			指定等
79	短刀 銘奥州舞草光長	有形文化財	美術工芸品	工芸品	県	121	化粧坂の算額	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	市
80	銅三尊像懸仏	有形文化財	美術工芸品	工芸品	県	122	上伊澤元禄絵図	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	市
81	刀 銘新藤源國義	有形文化財	美術工芸品	工芸品	県	123	仙台水沢住坂本運治行盛作火縄銃	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	市
82	鉦鼓 附懸架・撞木	有形文化財	美術工芸品	工芸品	県	124	中善算額	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	市
83	鉦鼓	有形文化財	美術工芸品	工芸品	県	125	鳥の鳴聲（和寿禮か多美）	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	市
84	金銅聖観音坐像懸仏	有形文化財	美術工芸品	工芸品	県	126	黒石の十三塚	民俗文化財	有形の民俗文化財		国
85	剣	有形文化財	美術工芸品	工芸品	県	127	巡礼納札	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	県
86	銅鐘	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	128	まいりの仏	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	県
87	長胴太鼓（時太鼓）	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	129	まいりの仏	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	県
88	金銅華鬘	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	130	姉体庚申塔（寛永十二年銘）	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	県
89	石灯籠	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	131	佐倉河東広町のまいりの仏	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市
90	石灯籠	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	132	船絵馬	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市
91	銅鐘	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	133	恩俗長根の追分石	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市
92	銅鐘	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	134	国分の追分石	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市
93	金銅阿弥陀如来坐像懸仏	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	135	化粧坂の追分石	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市
94	銅鰐口	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	136	堰袋の追分石	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市
95	懸仏	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	137	供養塚の追分石（馬頭碑）	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市
96	鉦鼓	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	138	幅下の追分石	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市
97	木製供具（華瓶・高坏）	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	139	供養塚の追分石（鹿嶋大明神）	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市
98	龍文真形鉄湯釜	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	140	市野々の追分石	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市
99	紙本墨書正法眼蔵附正法眼蔵雜文	有形文化財	美術工芸品	書跡・典籍	県	141	館山の板碑（延慶の碑）	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市
100	留守家文書	有形文化財	美術工芸品	古文書	国	142	駒籠の板碑（嘉暦の碑）	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市
101	明善寺文書	有形文化財	美術工芸品	古文書	市	143	館山の板碑（康永の碑）	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市
102	小山の久保五嶋家文書	有形文化財	美術工芸品	古文書	市	144	七日市の板碑（延文の碑）	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市
103	若柳の油地千田家文書	有形文化財	美術工芸品	古文書	市	145	柿ノ木の板碑（貞治の碑）	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市
104	若柳の惣之町阿部家文書	有形文化財	美術工芸品	古文書	市	146	市野々のまいりの仏	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市
105	新里の中屋敷千田家文書	有形文化財	美術工芸品	古文書	市	147	若柳愛宕のまいりの仏	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市
106	江刺郡片岡村伊達左兵衛在郷屋敷絵図	有形文化財	美術工芸品	古文書	市	148	河内の月山神社棟札	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市
107	角塚古墳出土埴輪	有形文化財	美術工芸品	考古資料	県	149	寺田の墨書板碑	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市
108	石庖丁	有形文化財	美術工芸品	考古資料	県	150	中萱刈窪のまいりの仏	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市
109	白磁四耳壺	有形文化財	美術工芸品	考古資料	市	151	八幡屋敷の八幡社幟	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市
110	暗文のある坏型土器	有形文化財	美術工芸品	考古資料	市	152	堰袋の馬頭観世音堂寄進札	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市
111	須恵器坏型土器	有形文化財	美術工芸品	考古資料	市	153	森の胆堀神社棟札	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市
112	経壺	有形文化財	美術工芸品	考古資料	市	154	大畑の山王権現社棟札	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市
113	須恵器系波状文四耳壺	有形文化財	美術工芸品	考古資料	市	155	長檀の御駒社棟札	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市
114	高野長英関係資料	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	国	156	高縁の神明神社棟札・幟	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市
115	比賢館の版木	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	市						
116	高野長英獄中角筆詩文（伝爪書）	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	市						
117	シーボルト処方箋	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	市						
118	海国兵談（版本）	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	市						
119	西説医原枢要（版本）	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	市						
120	市野々の算額	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	市						

資料編 2 指定等文化財ハザードマップ

番号	名称	分類			指定等	番号	名称	分類			指定等
157	伊勢堂の伊勢堂棟札・幟	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	193	川内神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市
158	大袋の不動尊堂棟札	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	194	瀬台野神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市
159	机地の弁財天堂幟	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	195	赤生津神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市
160	宝蔵山宝寿寺棟札	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	196	熊野神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市
161	熊野の熊野社棟札	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	197	白鳥神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市
162	下鹿合の子養観音堂棟札	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	198	成岡田神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市
163	愛宕の愛宕神社棟札	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	199	西風神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市
164	観音堂の観音堂棟札	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	200	南下幅熊野権現舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市
165	大町の伊勢堂棟札	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	201	大原神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市
166	松原の熊野社棟札	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	202	川西獅子舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市
167	化粧野の三嶋神社棟札	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	203	川東神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市
168	新中の新山神社棟札	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	204	歌書神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市
169	四季耕作図絵馬	民俗文化財	有形の民俗文化財	風俗慣習	市	205	大償齋部流野口家伝栗生沢神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市
170	剣舞道化面	民俗文化財	有形の民俗文化財	民俗芸能	市	206	原体神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市
171	吉祥院能面	民俗文化財	有形の民俗文化財	民俗芸能	市	207	鶯沢神楽（附今野忠治旧蔵「神楽本」5冊、「神楽面」2面）	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市
172	中沢神楽面	民俗文化財	有形の民俗文化財	民俗芸能	市		208	黒田助獅子舞（附「獅子頭」1点、「太鼓」2点）	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(神楽)
173	山神社剣舞絵馬	民俗文化財	有形の民俗文化財	民俗芸能	市	209		中田太神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(神楽)
174	日高火防祭	民俗文化財	無形の民俗文化財	風俗慣習	県	210	小田代神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市
175	西沢目大名行列	民俗文化財	無形の民俗文化財	風俗慣習	市	211	上幅庭田植踊	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(田楽・田植踊)	市
176	やぶさめ	民俗文化財	無形の民俗文化財	風俗慣習	市	212	都鳥田植踊	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(田楽・田植踊)	市
177	六日入白山神社献膳の儀	民俗文化財	無形の民俗文化財	風俗慣習	市	213	出店田植踊	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(田楽・田植踊)	市
178	伊手熊野神社蘇民祭	民俗文化財	無形の民俗文化財	風俗慣習	市	214	元町座敷田植踊	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(田楽・田植踊)	市
179	鴨沢神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(神楽)	県	215	大原田植踊り	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(田楽・田植踊)	市
180	奥州胆沢北下巾神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市	216	軽石座敷田植踊り	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(田楽・田植踊)	市
181	福原神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市	217	鬼剣舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(風流)	国
182	狼ヶ志田神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市	218	鹿踊り	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(風流)	県
183	愚俗神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市	219	江刺市梁川金津流鹿踊 附金津流鹿踊本體巻及び金津流鹿踊伝授之目録	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(風流)	県
184	笹森神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市		220	久田鹿踊	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(風流)
185	鹿合神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市	221	伊藤流行山鹿踊	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(風流)	市
186	十文字神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市	222	奥野流富士麓行山鹿踊	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(風流)	市
187	前谷地神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市						
188	社風長京神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市						
189	小川原流和田神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市						
190	川内神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市						
191	岳流学園沢神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市						
192	佐野向神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市						

番号	名称	分類			指定等	番号	名称	分類			指定等
223	市野々念佛剣舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	259	明後沢古瓦出土地(明後沢遺跡)	記念物	史跡		県
224	行山流都鳥鹿踊	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	260	留守家墓所	記念物	史跡		市
225	化粧坂念佛剣舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	261	上姉体館跡	記念物	史跡		市
226	南下幅念佛剣舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	262	半入豪族屋敷	記念物	史跡		市
227	新里念佛剣舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	263	豊田城跡碑	記念物	史跡		市
228	鹿合念佛剣舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	264	瀬谷子窯跡	記念物	史跡		市
229	奥山行山流内ノ目鹿踊	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	265	人首山本の旧盛街道七里塚	記念物	史跡		市
230	奥山行山流増沢鹿踊	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	266	真城中上野の旧奥州街道一里塚	記念物	史跡		市
231	金津流伊手獅子躍	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	267	水沢鋳物発祥の地	記念物	史跡		市
232	原舩剣舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	268	若柳堰袋の旧仙北街道一里塚	記念物	史跡		市
233	増沢剣舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	269	「イーハトーブの風景地」種山ヶ原	記念物	名勝		国
234	二の台念佛剣舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	270	駒形神社及び水沢公園のヒガン系桜群	記念物	天然記念物	植物	県
235	奥山行上流餅田鹿踊	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	271	胆沢川流域ユキツバキ群落	記念物	天然記念物	植物	県
236	池田胴念仏	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	272	若柳ヒメカユウ群落	記念物	天然記念物	植物	県
237	大平念仏剣舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	273	千養寺のカヤ	記念物	天然記念物	植物	市
238	行山流供養塚鹿踊	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	274	日高神社のスギ	記念物	天然記念物	植物	市
239	野山田念佛剣舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	275	大手町のスギ	記念物	天然記念物	植物	市
240	柳田念佛剣舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	276	松山寺のイチョウ	記念物	天然記念物	植物	市
241	軽石薩摩奴踊	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	277	松山寺のカヤ	記念物	天然記念物	植物	市
242	奥山行山流鴨沢鹿踊	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	278	関袋のカヤ	記念物	天然記念物	植物	市
243	奥山上山流歌書獅子躍	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	279	並木前のエドヒガン・コナラ合体木	記念物	天然記念物	植物	市
244	行山流角懸鹿踊	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	280	北館のエドヒガン	記念物	天然記念物	植物	市
245	大畑平念佛剣舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	281	山口のヒノキアスナロ	記念物	天然記念物	植物	市
246	奥山行山流地ノ神鹿踊	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	282	後滝の沢のスギとフジ	記念物	天然記念物	植物	市
247	兄和田念佛剣舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	283	畦畑のスギ	記念物	天然記念物	植物	市
248	鴨沢念佛剣舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	284	懸田のヒイラギ	記念物	天然記念物	植物	市
249	軽石念佛剣舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	285	長田のカヤ	記念物	天然記念物	植物	市
250	金津流石関獅子躍	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	286	羽田八雲神社のイロハモミジ	記念物	天然記念物	植物	市
251	金津流野手崎獅子躍	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	287	向平当のイチイ	記念物	天然記念物	植物	市
252	広瀬人形芝居常楽座	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能	県	288	前大畑のイチイ	記念物	天然記念物	植物	市
253	軽石歌舞伎「中村座」	民俗文化財	無形の民俗文化財	民俗芸能	市	289	小十文字のサイカチ	記念物	天然記念物	植物	市
254	胆沢城跡	記念物	史跡		国	290	前大畑のスギ	記念物	天然記念物	植物	市
255	高野長英旧宅	記念物	史跡		国	291	大谷地のヤブツバキ	記念物	天然記念物	植物	市
256	角塚古墳	記念物	史跡		国	292	荒谷のイロハモミジ	記念物	天然記念物	植物	市
257	柳之御所・平泉遺跡群(白鳥館遺跡・長者ヶ原廃寺跡・接待館遺跡)	記念物	史跡		国	293	太幸邸のウメ	記念物	天然記念物	植物	市
258	大清水上遺跡	記念物	史跡		国	294	土橋のエドヒガン	記念物	天然記念物	植物	市
						295	峠のトウゲダケ群落	記念物	天然記念物	植物	市
						296	鹿合のスギ	記念物	天然記念物	植物	市
						297	明善寺のヒヨクヒバ	記念物	天然記念物	植物	市
						298	野崎のヤマトアオダモ	記念物	天然記念物	植物	市
						299	石ヶ沢のカヤ	記念物	天然記念物	植物	市
						300	餅転のネズコ	記念物	天然記念物	植物	市

番号	名称	分類			指定等
301	餅転のスギ	記念物	天然記念物	植物	市
302	旧殿のコウヤマキ	記念物	天然記念物	植物	市
303	檜原のサルスベリ	記念物	天然記念物	植物	市
304	檜原のヤマボウシ	記念物	天然記念物	植物	市
305	山岸のイチョウ	記念物	天然記念物	植物	市
306	古館のエドヒガン	記念物	天然記念物	植物	市
307	古戸のサワラ	記念物	天然記念物	植物	市
308	増沢のエゾイタヤ	記念物	天然記念物	植物	市
309	梁川のエドヒガン (種蒔桜)	記念物	天然記念物	植物	市
310	秋葉神社のスギ	記念物	天然記念物	植物	市
311	戸隠神社のスギ	記念物	天然記念物	植物	市
312	藤里の珪化木	記念物	天然記念物	地質鉱物	県
313	袖山の輝石安山岩柱 状節理	記念物	天然記念物	地質鉱物	市

3 調査報告書等リスト

資料編3 調査報告書等リスト

既存の文化財調査報告書等一覧1（自治体史）

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
1	水沢市史 1 原始・古代		水沢市史刊行会	1974
2	水沢市史 2 中世		水沢市史刊行会	1976
3	水沢市史 3 近世上		水沢市史刊行会	1981
4	水沢市史 3 近世下		水沢市史刊行会	1982
5	水沢市史 4 近代1		水沢市史刊行会	1985
6	水沢市史 5 近代2		水沢市史刊行会	1990
7	水沢市史 6 民俗		水沢市史刊行会	1978
8	水沢市史 7 資料編		水沢市史刊行会	1993
9	江刺市史 1 通史篇 原始・古代・中世		江刺市	1983
10	江刺市史 2 通史篇 近世		江刺市	1985
11	江刺市史 3 通史篇 近代・現代		江刺市	1987
12	江刺市史 4 社寺旧跡篇		江刺市	1990
13	江刺市史 5 資料篇 考古資料		江刺市	1981
14	江刺市史 5 資料篇 古代・中世		江刺市	1982
15	江刺市史 5 資料篇 近世1		江刺市	1974
16	江刺市史 5 資料篇 近世2		江刺市	1975
17	江刺市史 5 資料篇 近世3		江刺市	1976
18	江刺市史 5 資料篇 近世4		江刺市	1977
19	江刺市史 5 資料篇 近代1		江刺市	1978
20	江刺市史 5 資料篇 近代2		江刺市	1979
21	前沢町史 上巻		前沢町教育委員会	1974
22	前沢町史 中巻		前沢町教育委員会	1976
23	前沢町史 下巻1		前沢町教育委員会	1981
24	前沢町史 下巻2		前沢町教育委員会	1988
25	前沢町史 教育編		奥州市教育委員会	2010
26	胆沢町史 1 原始古代編		胆沢町史刊行会	1981
27	胆沢町史 2 古代中世編		胆沢町史刊行会	1982
28	胆沢町史 3 古代中世編		胆沢町史刊行会	1982
29	胆沢町史 4 近世編1		胆沢町史刊行会	1997
30	胆沢町史 5 近世編2		胆沢町史刊行会	2000
31	胆沢町史 6 近・現代編1		胆沢町史刊行会	2002
32	胆沢町史 7 近・現代編2 前編		胆沢町史刊行会	2004
33	胆沢町史 7 近・現代編2 中編		胆沢町史刊行会	2006
34	胆沢町史 7 近・現代編2 後編		胆沢町史刊行会	2006
35	胆沢町史 8 民俗編1		胆沢町史刊行会	1985
36	胆沢町史 9 民俗編2		胆沢町史刊行会	1987
37	胆沢町史 10 民俗編3		胆沢町史刊行会	1991
38	胆沢町史 11 民俗編4		胆沢町史刊行会	1994
39	衣川村史 1 通史編		衣川村	1989
40	衣川村史 2 資料編1		衣川村	1987
41	衣川村史 3 資料編2		衣川村	1988
42	衣川村史 4 資料編3		衣川村	1988
43	衣川村史 5 資料編4		衣川村	1989
44	衣川村史 6 資料編5		衣川村	1990
45	衣川村史 7 資料編6		衣川村	2006
46	衣川村史 8 資料編7		衣川村	2006

既存の文化財調査報告書等一覧2（国・県・他自治体等）

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
1	文化財調査報告書 第1輯	岩手県文化財調査報告書第1集	岩手県教育委員会	1951

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
2	岩手県文化財調査報告（衣川長者ヶ原廃寺址）	岩手県文化財調査報告書第1集	岩手県教育委員会	1951
3	胆沢城跡 水沢市所在	岩手県文化財調査報告書第4集	岩手県教育委員会	1957
4	長者原廃寺跡	岩手県文化財調査報告書第6集	岩手県教育委員会	1959
5	長者原廃寺跡 衣川村所在 胆沢城跡（第二報） 水沢市所在	岩手県文化財調査報告書第6集	岩手県教育委員会	1959
6	岩手県中世文書 上巻	岩手県文化財調査報告書第7集	岩手県教育委員会	1960
7	岩手県金石志	岩手県文化財調査報告書第8集	岩手県教育委員会	1961
8	岩手の民俗芸能 山伏神楽編	岩手県文化財調査報告書第9集	岩手県教育委員会	1962
9	岩手の田植習俗	岩手県文化財調査報告書第10集	岩手県教育委員会	1963
10	岩手県中世文書 中巻	岩手県文化財調査報告書第12集	岩手県教育委員会	1963
11	岩手県遺跡地名表 埋蔵文化財包蔵地一覧	岩手県文化財調査報告書第13集	岩手県教育委員会	1964
12	明後沢古瓦出土遺跡 前沢町古城所在古代城柵跡	岩手県文化財調査報告書第14集	岩手県教育委員会	1965
13	岩手の民俗芸能 念仏踊等篇	岩手県文化財調査報告書第15集	岩手県教育委員会	1966
14	岩手の民俗資料	岩手県文化財調査報告書第16集	岩手県教育委員会	1966
15	南部伊達両藩藩境塚 北上川以西の部	岩手県文化財調査報告書第17集	岩手県教育委員会	1967
16	岩手県中世文書 下巻	岩手県文化財調査報告書第18集	岩手県教育委員会	1968
17	岩手の民俗芸能 獅子（鹿）踊篇 上巻・下巻	岩手県文化財調査報告書第19集	岩手県教育委員会	1970
18	岩手県民俗地図 民俗文化財緊急調査報告書	岩手県文化財調査報告書第24集	岩手県教育委員会	1977
19	岩手県の古民家	岩手県文化財調査報告書第26集	岩手県教育委員会	1978
20	岩手県古代仏教資料調査 昭和51年度、52年度歴史資料調査報告書	岩手県文化財調査報告書第28集	岩手県教育委員会	1978
21	特別天然記念物カモシカ調査報告書 1 昭和52年度	岩手県文化財調査報告書第29集	岩手県教育委員会	1978
22	東北新幹線関係埋蔵文化財調査報告書Ⅰー（谷地遺跡、五十瀬神社前遺跡、瀬谷子遺跡、鶴羽衣台遺跡、鶴羽衣遺跡、落合Ⅰ遺跡、力石遺跡、中屋敷遺跡）	岩手県文化財調査報告書第33集	岩手県教育委員会	1979
23	奥州道中一岩手県「歴史の道」調査報告一	岩手県文化財調査報告書第36集	岩手県教育委員会	1979
24	特別天然記念物カモシカ調査報告書 2（昭和53年度）	岩手県文化財調査報告書第38集	岩手県教育委員会	1979
25	南部伊達両藩藩境塚 北上川以東の部	岩手県文化財調査報告書第39集	岩手県教育委員会	1980
26	仙北街道一岩手県「歴史の道」調査報告一	岩手県文化財調査報告書第43集	岩手県教育委員会	1980
27	特別天然記念物カモシカ調査報告書 3（昭和54年度）	岩手県文化財調査報告書第47集	岩手県教育委員会	1980

資料編3 調査報告書等リスト

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
28	東北新幹線関係埋蔵文化財調査報告書—Ⅳ—(宮地遺跡)	岩手県文化財調査報告書第48集	岩手県教育委員会	1980
29	東北新幹線関係埋蔵文化財調査報告書—Ⅴ—(鴻ノ巣館遺跡、高畑遺跡、白沢遺跡)	岩手県文化財調査報告書第49集	岩手県教育委員会	1980
30	東北新幹線関係埋蔵文化財調査報告書—Ⅵ—(落合Ⅱ遺跡)	岩手県文化財調査報告書第50集	岩手県教育委員会	1980
31	東北縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告書—Ⅶ—(泊ヶ崎遺跡、新城遺跡、徳沢一里塚遺跡、衣川柵擬定地、中の森遺跡、北館遺跡、伝大手門遺跡)	岩手県文化財調査報告書第54集	岩手県教育委員会	1980
32	東北縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告書—Ⅷ—(一関地区 東裏遺跡)	岩手県文化財調査報告書第55集	岩手県教育委員会	1980
33	東北縦貫自動車道関係文化財調査報告書—ⅩⅠ—(水沢地区)	岩手県文化財調査報告書第60集	岩手県教育委員会	1981
34	東北縦貫自動車道関係文化財調査報告書—ⅩⅡ—(石田遺跡)	岩手県文化財調査報告書第61集	岩手県教育委員会	1981
35	岩手の俗信第3集 心霊と占いに関する俗信	岩手県文化財調査報告書第62集	岩手県教育委員会	1981
36	盛街道一岩手県「歴史の道」調査報告一	岩手県文化財調査報告書第63集	岩手県教育委員会	1981
37	岩手県戦国期文書	岩手県文化財調査報告書第73集	岩手県教育委員会	1982
38	岩手の俗信第4集—食物・保健に関する俗信—	岩手県文化財調査報告書第74集	岩手県教育委員会	1982
39	岩手の俗信第5集—生物に関する俗信—	岩手県文化財調査報告書第75集	岩手県教育委員会	1982
40	岩手の俗信第6集—生活に関する俗信—	岩手県文化財調査報告書第79集	岩手県教育委員会	1983
41	岩手県の小正月行事調査報告書	岩手県文化財調査報告書第80集	岩手県教育委員会	1984
42	岩手県の民謡 民謡緊急調査報告書	岩手県文化財調査報告書第81集	岩手県教育委員会	1985
43	岩手県中世城館跡分布調査報告書	岩手県文化財調査報告書第82集	岩手県教育委員会	1986
44	岩手県の近世社寺建築 近世社寺建築緊急調査報告書	岩手県文化財調査報告書第85集	岩手県教育委員会	1989
45	岩手県の諸職 諸職関係民俗文化財調査報告書	岩手県文化財調査報告書第88集	岩手県教育委員会	1991
46	岩手県内遺跡発掘調査報告書(落合遺跡、寺田遺跡、下惣田遺跡)	岩手県文化財調査報告書第93集	岩手県教育委員会	1992
47	岩手県内遺跡発掘調査報告書(観音堂沖遺跡、明後沢遺跡、目呂木本杉遺跡、大桜遺跡)	岩手県文化財調査報告書第95集	岩手県教育委員会	1994
48	岩手県内遺跡発掘調査報告書(力石Ⅱ遺跡、大桜遺跡)	岩手県文化財調査報告書第97集	岩手県教育委員会	1995
49	岩手県内遺跡発掘調査報告書(龍ヶ馬場遺跡、北野Ⅳ遺跡)	岩手県文化財調査報告書第98集	岩手県教育委員会	1996
50	岩手県内遺跡発掘調査報告書(砂川遺跡、岩谷堂橋本Ⅰ遺跡)	岩手県文化財調査報告書第99集	岩手県教育委員会	1997
51	岩手県の民俗芸能 岩手県民俗芸能緊急調査報告書	岩手県文化財調査報告書第100集	岩手県教育委員会	1997
52	岩手県の近代化遺産 岩手県近代化遺産(建造物等)総合調査報告書	岩手県文化財調査報告書第101集	岩手県教育委員会	1997

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
53	岩手の貝塚	岩手県文化財調査報告書第102集	岩手県教育委員会	1998
54	岩手県内遺跡発掘調査報告書（真城落合遺跡）	岩手県文化財調査報告書第103集	岩手県教育委員会	1998
55	岩手県内遺跡発掘調査報告書（中半入遺跡、西前田遺跡、後田Ⅰ遺跡）	岩手県文化財調査報告書第105集	岩手県教育委員会	1999
56	岩手の洞穴遺跡	岩手県文化財調査報告書第106集	岩手県教育委員会	2000
57	岩手県内遺跡発掘調査報告書（館遺跡、前広田遺跡、八幡堂遺跡）	岩手県文化財調査報告書第108集	岩手県教育委員会	2000
58	岩手の祭り・行事調査報告書	岩手県文化財調査報告書第109集	岩手県教育委員会	2000
59	岩手県内遺跡発掘調査報告書（東館遺跡、下中沢Ⅰ遺跡）	岩手県文化財調査報告書第112集	岩手県教育委員会	2001
60	岩手県内遺跡発掘調査報告書（中屋敷Ⅲ遺跡、小田切遺跡、二の台遺跡、五反町遺跡、淵畑遺跡）	岩手県文化財調査報告書第114集	岩手県教育委員会	2002
61	岩手の蘇民祭調査報告書	岩手県文化財調査報告書第115集	岩手県教育委員会	2002
62	岩手県内遺跡発掘調査報告書（中半入遺跡、寺ヶ前Ⅱ遺跡、水ノ口前東遺跡、根蕪遺跡、島田Ⅱ遺跡、島田Ⅳ遺跡、大中田遺跡、明後沢遺跡群、寺ノ上遺跡、九郎館遺跡、下中沢Ⅲ遺跡、二の台遺跡、新規遺跡）	岩手県文化財調査報告書第116集	岩手県教育委員会	2003
63	岩手県内遺跡発掘調査報告書（兵法田遺跡、二の台遺跡）	岩手県文化財調査報告書第119集	岩手県教育委員会	2005
64	岩手県内遺跡発掘調査報告書（兵法田遺跡、金打遺跡、屋敷遺跡、二の沢遺跡、一の台Ⅳ遺跡、一の台Ⅲ遺跡、一の台遺跡）	岩手県文化財調査報告書第120集	岩手県教育委員会	2006
65	岩手の製鉄遺跡	岩手県文化財調査報告書第122集	岩手県教育委員会	2006
66	岩手県内遺跡発掘調査報告書（兵法田遺跡、中島遺跡）	岩手県文化財調査報告書第124集	岩手県教育委員会	2007
67	岩手県内遺跡発掘調査報告書（沼尻遺跡、道上遺跡、牡丹野遺跡）	岩手県文化財調査報告書第126集	岩手県教育委員会	2008
68	岩手県内遺跡発掘調査報告書（沼尻遺跡、天竺老婆遺跡、鶴羽衣遺跡）	岩手県文化財調査報告書第128集	岩手県教育委員会	2009
69	岩手県内遺跡発掘調査報告書（北天間Ⅰ遺跡）	岩手県文化財調査報告書第129集	岩手県教育委員会	2010
70	岩手県内遺跡発掘調査報告書（阿弥陀堂遺跡、林遺跡、古城方八丁遺跡、八幡遺跡）	岩手県文化財調査報告書第132集	岩手県教育委員会	2011
71	岩手県内遺跡発掘調査報告書（根蕪遺跡、谷地遺跡、草井川遺跡、田高Ⅱ遺跡）	岩手県文化財調査報告書第134集	岩手県教育委員会	2012
72	岩手県内遺跡発掘調査報告書（谷地遺跡、古城林遺跡）	岩手県文化財調査報告書第136集	岩手県教育委員会	2013
73	岩手県内遺跡発掘調査報告書（石田Ⅰ・Ⅱ遺跡）	岩手県文化財調査報告書第138集	岩手県教育委員会	2014
74	衣川流域における古代末期遺跡の分布調査（1）	岩手県立博物館研究報告第20号	岩手県立博物館	2003
75	衣川流域における古代末期遺跡の分布調査（2）	岩手県立博物館研究報告第21号	岩手県立博物館	2004
76	衣川流域における古代末期遺跡調査報告書 長者ヶ原廃寺跡第3次・第5次・第7次発掘調査報告書	岩手県立博物館調査研究報告書第21集	岩手県立博物館	2006

資料編3 調査報告書等リスト

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
77	人首川流域における古代末期遺跡調査報告書	岩手県立博物館調査研究報告書第26集	岩手県立博物館	2010
78	陸奥国胆沢郡上衣川村南又組頭文書	岩手県立博物館収蔵資料目録第30集	岩手県立博物館	2025
79	岩手県の民俗芸能		岩手県文化財愛護協会	1982
80	岩手県の近代和風建築		岩手県教育委員会	2007
81	岩手県の民俗芸能―岩手県民俗芸能伝承調査報告書―		岩手県教育委員会	2011
82	南部仙台領境資料		北上市史編さん室	1963
83	南部神楽調査報告書		一関市教育委員会	2016
84	岩手県民俗芸能誌		錦正社	1971
85	岩手県奥州市羽黒堂古館遺跡		岩手県（阿豆流為・母禮を慰霊する会他）	2007

既存の文化財調査報告書等一覧3（奥州市）

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
1	奥州市の文化財―改訂版― 有形文化財・有形民俗文化財・史跡名勝天然記念物		奥州市教育委員会	2016
2	奥州市の文化財 無形民俗		奥州市教育委員会	2016
3	胆沢城跡―平成16年度発掘調査概報―		奥州市教育委員会	2006
4	水沢遺跡群範囲確認調査 杉の堂遺跡第28次・伯済寺遺跡（平成16・17年度）	奥州市埋蔵文化財調査報告書第1集	奥州市教育委員会	2007
5	市内遺跡群範囲確認調査 試掘調査（平成17～18年度）・杉の堂遺跡（第29次）・伯済寺遺跡（第10次）・中半入遺跡（第5次）	奥州市埋蔵文化財調査報告書第2集	奥州市教育委員会	2008
6	大清水上遺跡発掘調査報告書	奥州市埋蔵文化財調査報告書第3集	奥州市教育委員会	2008
7	九郎館跡	奥州市埋蔵文化財調査報告書第4集	奥州市教育委員会	2012
8	市内遺跡発掘調査報告書（平成19年度試掘調査等）	奥州市埋蔵文化財調査報告書第5集	奥州市教育委員会	2012
9	伯済寺遺跡発掘調査報告書	奥州市埋蔵文化財調査報告書第6集	奥州市教育委員会	2013
10	川前遺跡第2次発掘調査報告書	奥州市埋蔵文化財調査報告書第7集	奥州市教育委員会	2006
11	国指定史跡 白鳥館遺跡発掘調査報告書（第4次調査）		奥州市	2006
12	長者ヶ原廃寺跡発掘調査報告書（第9次調査）		奥州市	2007
13	国指定史跡 白鳥館遺跡発掘調査報告書（第5次調査）		奥州市	2007
14	長者ヶ原廃寺跡発掘調査報告書（第10次調査）		奥州市	2008
15	国指定史跡 白鳥館遺跡発掘調査報告書（第6次調査）		奥州市	2008
16	長者ヶ原廃寺跡発掘調査報告書（第11次調査）		奥州市	2009
17	国指定史跡 白鳥館遺跡発掘調査報告書（第7次調査）		奥州市	2009
18	長者ヶ原廃寺跡発掘調査報告書（第12次調査）		奥州市	2010

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
19	国指定史跡 白鳥館遺跡発掘調査報告書 (第 8 次調査)		奥州市	2010
20	長者ヶ原廃寺跡発掘調査報告書 (第 13 次 調査)		奥州市	2011
21	長者ヶ原廃寺跡発掘調査報告書 (第 14 次 調査)		奥州市	2012
22	国指定史跡 白鳥館遺跡発掘調査概要報 告書 (第 9・10 次調査)		奥州市	2012
23	長者ヶ原廃寺跡発掘調査報告書－総括篇 －	奥州市埋蔵文化財調査 報告書第 20 集	奥州市教育委員会	2013
24	国指定史跡 白鳥館遺跡発掘調査概要報 告書 (第 11 次調査)	奥州市埋蔵文化財調査 報告書第 21 集	奥州市教育委員会	2013
25	長者ヶ原廃寺跡発掘調査報告書 (第 15 次 調査)	奥州市埋蔵文化財調査 報告書第 22 集	奥州市教育委員会	2014
26	胆沢城跡－平成 18・19 年度発掘調査概報 －	奥州市埋蔵文化財調査 報告書第 23 集	奥州市教育委員会	2014
27	国指定史跡 白鳥館遺跡発掘調査概要報 告書 (第 12 次調査)	奥州市埋蔵文化財調査 報告書第 24 集	奥州市教育委員会	2014
28	市内遺跡発掘調査報告書(平成 20～22 年 度試掘調査等)	奥州市埋蔵文化財調査 報告書第 25 集	奥州市教育委員会	2015
29	胆沢城跡－第 93・95・97・98・99 次発掘 調査概報－	奥州市埋蔵文化財調査 報告書第 26 集	奥州市教育委員会	2015
30	国指定史跡 白鳥館遺跡発掘調査概要報 告書 (第 13 次調査)	奥州市埋蔵文化財調査 報告書第 27 集	奥州市教育委員会	2015
31	胆沢城跡－第 92・94・96・100 次発掘調 査概報－	奥州市埋蔵文化財調査 報告書第 28 集	奥州市教育委員会	2016
32	国指定史跡 白鳥館遺跡発掘調査概要報 告書 (第 14 次調査)	奥州市埋蔵文化財調査 報告書第 29 集	奥州市教育委員会	2016
33	胆沢城跡－第 91 次発掘調査概報－	奥州市埋蔵文化財調査 報告書第 30 集	奥州市教育委員会	2016
34	市内遺跡発掘調査報告書	奥州市埋蔵文化財調査 報告書第 31 集	奥州市教育委員会	2017
35	白鳥館遺跡第 9 次～第 15 次発掘調査報告 書 (遺構・遺物編)	奥州市埋蔵文化財調査 報告書第 32 集	奥州市教育委員会	2017
36	大安寺水沢伊達(留守)家墓所調査報告書	奥州市埋蔵文化財調査 報告書第 33 集	奥州市教育委員会	2018
37	白鳥館遺跡第 9 次～第 15 次発掘調査報告 書 (遺物補遺・考察・分析編)	奥州市埋蔵文化財調査 報告書第 34 集	奥州市教育委員会	2018
38	接待館遺跡発掘調査報告書	奥州市埋蔵文化財調査 報告書第 35 集	奥州市教育委員会	2018
39	胆沢城跡－平成 26・27 年度第 103～105 次発掘調査概報－	奥州市埋蔵文化財調査 報告書第 36 集	奥州市教育委員会	2019
40	明後沢遺跡群第 9・13・14・17・19～21 次発掘調査報告書	奥州市埋蔵文化財調査 報告書第 37 集	奥州市教育委員会	2019
41	長者ヶ原廃寺跡発掘調査報告書 (第 16 次 調査)	奥州市埋蔵文化財調査 報告書第 38 集	奥州市教育委員会	2019
42	市内遺跡発掘調査報告書 (平成 26 年度 試掘調査等)	奥州市埋蔵文化財調査 報告書第 39 集	奥州市教育委員会	2019
43	長者ヶ原廃寺跡発掘調査報告書 (第 17 次 調査)	奥州市埋蔵文化財調査 報告書第 40 集	奥州市教育委員会	2020
44	市内遺跡発掘調査報告書(林前南館 25 次・ 杉の堂 32 次)	奥州市埋蔵文化財調査 報告書第 41 集	奥州市教育委員会	2021
45	長者ヶ原廃寺跡発掘調査報告書 (第 18 次 調査)	奥州市埋蔵文化財調査 報告書第 42 集	奥州市教育委員会	2021

資料編3 調査報告書等リスト

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
46	長者ヶ原廃寺跡発掘調査報告書(第19次調査)	奥州市埋蔵文化財調査報告書第43集	奥州市教育委員会	2022
47	長者ヶ原廃寺跡発掘調査報告書(第20次調査)	奥州市埋蔵文化財調査報告書第44集	奥州市教育委員会	2023
48	長者ヶ原廃寺跡発掘調査報告書(第21次調査)	奥州市埋蔵文化財調査報告書第45集	奥州市教育委員会	2024
49	長者ヶ原廃寺跡発掘調査報告書(第22次・総括報告)	奥州市埋蔵文化財調査報告書第46集	奥州市教育委員会	2025
50	若柳惣之町阿部家文書解読編 14	奥州市胆沢古文書資料集第18集	奥州市教育委員会	2007
51	若柳惣之町阿部家文書解読編 15	奥州市胆沢古文書資料集第19集	奥州市教育委員会	2008
52	若柳惣之町阿部家文書解読編 16	奥州市胆沢古文書資料集第20集	奥州市教育委員会	2012
53	若柳惣之町阿部家文書解読編 17	奥州市胆沢古文書資料集第21集	奥州市教育委員会	2014
54	若柳惣之町阿部家文書解読編 18	奥州市胆沢古文書資料集第22集	奥州市教育委員会	2016
55	若柳惣之町阿部家文書解読編 19	奥州市胆沢古文書資料集第23集	奥州市教育委員会	2018
56	若柳惣之町阿部家文書解読編 20	奥州市胆沢古文書資料集第24集	奥州市教育委員会	2020
57	若柳惣之町阿部家文書解読編 21	奥州市胆沢古文書資料集第25集	奥州市教育委員会	2022
58	若柳惣之町阿部家文書解読編 22	奥州市胆沢古文書資料集第26集	奥州市教育委員会	2024
59	近世留守家文書 第18集		奥州市立水沢図書館	2006
60	近世留守家文書 第19集		奥州市立水沢図書館	2008
61	近世留守家文書 第20集		奥州市立水沢図書館	2009
62	近世留守家文書 第21集		奥州市立水沢図書館	2010
63	近世留守家文書 第22集		奥州市立水沢図書館	2011
64	近世留守家文書 第23集		奥州市立水沢図書館	2012
65	近世留守家文書 第24集		奥州市立水沢図書館	2013
66	近世留守家文書 第25集		奥州市立水沢図書館	2014
67	近世留守家文書 第26集		奥州市立水沢図書館	2015
68	近世留守家文書 第27集		奥州市立水沢図書館	2016
69	近世留守家文書 第28集		奥州市立水沢図書館	2017
70	近世留守家文書 第29集		奥州市立水沢図書館	2018
71	近世留守家文書 第30集		奥州市立水沢図書館	2019
72	近世留守家文書 第31集		奥州市立水沢図書館	2020
73	近世留守家文書 第32集		奥州市立水沢図書館	2021
74	近世留守家文書 第33集		奥州市立水沢図書館	2022
75	近世留守家文書 第34集		奥州市立水沢図書館	2023
76	近世留守家文書 第35集		奥州市立水沢図書館	2024
77	歴史的建造物調査報告その1 旧高野家住宅(高野長英旧宅・古稀庵・新座敷ほか)	岩手県奥州市文化財調査報告書 第1集	奥州市教育委員会	2023
78	奥州市胆沢古文書資料集第27集 胆沢の古文書 若柳惣之町阿部家文書解読編 23	岩手県奥州市文化財調査報告書 第2集	奥州市教育委員会	2026
79	重要文化財正法寺本堂保存修理工事報告書		正法寺	2007
80	岩谷堂伊達家文書目録		奥州市教育委員会	2017
81	岩谷堂給主史料 武備盛衰記		福井大学教育学部歴史学研究室	2026

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
82	寺ノ上経塚発掘調査報告書		平泉関連遺跡発掘調査団	2017
83	後藤新平書翰集		雄松堂書店	2009
84	オンライン版 後藤新平文書		丸善雄松堂株式会社	2021
85	朝鮮関係写真資料集 第1期		ニチマイ	2008

既存の文化財調査報告書等一覧4 (旧水沢市)

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
1	高山遺跡	岩手県水沢市文化財報告書第1集	水沢市教育委員会	1978
2	水沢市の指定文化財	岩手県水沢市文化財報告書第2集	水沢市教育委員会	1979
3	林前遺跡	岩手県水沢市文化財報告書第3集	水沢市教育委員会	1989
4	杉の堂遺跡第3次発掘調査概報	岩手県水沢市文化財報告書第4集	水沢市教育委員会	1981
5	西光田遺跡	岩手県水沢市文化財報告書第5集	水沢市教育委員会	1981
6	杉の堂遺跡第4次発掘調査概報	岩手県水沢市文化財報告書第5集	水沢市教育委員会	1982
7	佐倉河千葉家住宅解体調査報告書	岩手県水沢市文化財報告書第6集	水沢市教育委員会	1981
8	駈上遺跡	岩手県水沢市文化財報告書第7集	水沢市教育委員会	1982
9	慶徳遺跡群 詳細分布調査報告書	岩手県水沢市文化財報告書第9集	水沢市教育委員会	1982
10	杉の堂遺跡第5次発掘調査概報	岩手県水沢市文化財報告書第10集	水沢市教育委員会	1983
11	里鎗遺跡を語る 里鎗遺跡とその文化	岩手県水沢市文化財報告書第11集	水沢市教育委員会	1983
12	石橋遺跡	岩手県水沢市文化財報告書第12集	水沢市教育委員会	1984
13	市道前村・杉の堂線改良工事路線内埋蔵文化財調査報告書	岩手県水沢市文化財報告書第13集	水沢市教育委員会	1985
14	水沢遺跡群範囲確認調査 北鶴ノ木遺跡・東沖ノ目地区・熊野堂遺跡・花園町一丁目地区	岩手県水沢市文化財報告書第14集	水沢市教育委員会	1985
15	水沢遺跡群範囲確認調査 林前・大学・南矢中遺跡／(付) 杉の堂坂口・面塚遺跡	岩手県水沢市文化財報告書第15集	水沢市教育委員会	1986
16	水沢遺跡群範囲確認調査 杉の堂坂口・跡呂井中陣場・寺領遺跡／(付) 跡呂井中陣場西遺跡	岩手県水沢市文化財報告書第16集	水沢市教育委員会	1987
17	奥の正法寺—正法寺総合調査報告書—	岩手県水沢市文化財報告書第17集	水沢市教育委員会	1987
18	水沢遺跡群範囲確認調査 林前・跡呂井中陣場西・杉の堂遺跡	岩手県水沢市文化財報告書第18集	水沢市教育委員会	1988
19	水沢遺跡群範囲確認調査 善性・熊之堂・北余目・杉の堂遺跡	岩手県水沢市文化財報告書第19集	水沢市教育委員会	1989
20	水沢市遺跡群範囲確認調査 熊之堂・跡呂井館跡・跡呂井中陣場西遺跡	岩手県水沢市文化財報告書第21集	水沢市教育委員会	1990
21	水沢遺跡群範囲確認調査 佐野宿・中林A・中林B遺跡	岩手県水沢市文化財報告書第22集	水沢市教育委員会	1991

資料編3 調査報告書等リスト

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
22	水沢遺跡群範囲確認調査 大学Ⅰ・大檀・蛇塚・林前南館跡／（付）常盤小学校・竈堂Ⅱ・後樋	岩手県水沢市文化財報告書第25集	水沢市教育委員会	1993
23	一伝統芸能のこころーいさわの仮面展	岩手県水沢市文化財報告書第26集	水沢市教育委員会	1993
24	柳沢館遺跡	岩手県水沢市文化財報告書第28集	水沢市教育委員会	1994
25	水沢遺跡群範囲確認調査 熊之堂・跡呂井館・中平館・梨畑・ニツ測遺跡	岩手県水沢市文化財報告書第29集	水沢市教育委員会	1995
26	水沢遺跡群範囲確認調査 東大畑Ⅰ・十日市屋敷・林前Ⅰ遺跡	岩手県水沢市文化財報告書第30集	水沢市教育委員会	1996
27	水沢遺跡群範囲確認調査 東袖ノ目・林前Ⅰ遺跡	岩手県水沢市文化財報告書第31集	水沢市教育委員会	1997
28	水沢遺跡群範囲確認調査 杉の堂遺跡・林前南館跡／（付）跡呂井遺跡	岩手県水沢市文化財報告書第32集	水沢市教育委員会	1998
29	水沢遺跡群範囲確認調査 杉の堂遺跡・常盤小学校遺跡・林前南館跡／（付）宿遺跡	岩手県水沢市文化財報告書第33集	水沢市教育委員会	1999
30	水沢遺跡群範囲確認調査 杉の堂遺跡第20・21次	岩手県水沢市文化財報告書第34集	水沢市教育委員会	2000
31	水沢遺跡群範囲確認調査 北田Ⅱ・北野Ⅱ遺跡/後田遺跡/要害館跡/杉の堂遺跡第22次	岩手県水沢市文化財報告書第35集	水沢市教育委員会	2001
32	水沢遺跡群範囲確認調査 林前南館跡（第19次）・伯済寺遺跡・正法寺	岩手県水沢市文化財報告書第36集	水沢市教育委員会	2002
33	水沢遺跡群範囲確認調査 杉の堂遺跡第23次・伯済寺遺跡/付章 熊野堂遺跡第7次	岩手県水沢市文化財報告書第37集	水沢市教育委員会	2004
34	水沢遺跡群範囲確認調査 杉の堂南館跡第22次・杉の堂遺跡第26次・跡呂井遺跡	岩手県水沢市文化財報告書第38集	水沢市教育委員会	2005
35	水沢遺跡群範囲確認調査 杉の堂遺跡第24次・杉の堂遺跡第30次	岩手県水沢市文化財報告書第39集	水沢市教育委員会	2006
36	水沢原始・古代遺跡 外浦・中島・鶴木三遺跡調査報告		水沢市教育委員会	1971
37	胆沢川動物足跡化石緊急発掘調査報告 足跡を残した動物たち		水沢市教育委員会・金ヶ崎町教育委員会・胆沢川動物足跡化石発掘調査団	1993
38	住宅建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 跡呂井中陣場遺跡		（株）シン技術コンサル	2005
39	鎮守府胆沢城跡（第10・11次）		水沢市教育委員会	1968
40	鎮守府胆沢城跡調査略報（第12・13次）		水沢市教育委員会	1971
41	鎮守府胆沢城跡（緊急調査略報）（第14次）		水沢市教育委員会	1972
42	鎮守府胆沢城跡（緊急調査略報）（第15次）		水沢市教育委員会	1973
43	胆沢城跡一昭和49年度発掘調査概報一		水沢市教育委員会	1975
44	胆沢城跡一昭和50年度発掘調査概報一		水沢市教育委員会	1976
45	胆沢城跡一昭和51年度発掘調査概報一		水沢市教育委員会	1977
46	胆沢城跡一昭和52年度発掘調査概報一		水沢市教育委員会	1978
47	胆沢城跡一昭和53年度発掘調査概報一		水沢市教育委員会	1979
48	胆沢城跡一昭和54年度発掘調査概報一		水沢市教育委員会	1980
50	胆沢城跡一昭和56年度発掘調査概報一		水沢市教育委員会	1982
51	胆沢城跡一昭和57年度発掘調査概報一		水沢市教育委員会	1983
52	胆沢城跡一昭和58年度発掘調査概報一		水沢市教育委員会	1984

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
53	胆沢城跡―昭和 59 年度発掘調査概報―		水沢市教育委員会	1985
54	胆沢城跡―昭和 60 年度発掘調査概報―		水沢市教育委員会	1986
55	胆沢城跡―昭和 61 年度発掘調査概報―		水沢市教育委員会	1987
56	胆沢城跡―昭和 62 年度発掘調査概報―		水沢市教育委員会	1988
57	胆沢城跡―昭和 63 年度発掘調査概報―		水沢市教育委員会	1989
58	胆沢城跡―平成元年度発掘調査概報―		水沢市教育委員会	1990
59	胆沢城跡―平成 2 年度発掘調査概報―		水沢市教育委員会	1991
60	胆沢城跡―平成 3 年度発掘調査概報―		水沢市教育委員会	1992
61	胆沢城跡―平成 4 年度発掘調査概報―		水沢市教育委員会	1993
62	胆沢城跡―平成 6 年度発掘調査概報―		水沢市教育委員会	1995
63	胆沢城跡―平成 7 年度発掘調査概報―		水沢市教育委員会	1996
64	胆沢城跡―平成 8 年度発掘調査概報―		水沢市教育委員会	1997
65	胆沢城跡―平成 9 年度発掘調査概報―		水沢市教育委員会	1998
66	胆沢城跡―平成 10 年度発掘調査概報―		水沢市教育委員会	1999
67	胆沢城跡―平成 11 年度発掘調査概報―		水沢市教育委員会	2000
68	胆沢城跡―平成 12 年度発掘調査概報―		水沢市教育委員会	2001
69	胆沢城跡―平成 13 年度発掘調査概報―		水沢市教育委員会	2002
70	胆沢城跡―平成 15 年度発掘調査概報―		水沢市教育委員会	2005
71	水沢市の自然と文化Ⅰ	水沢市文化財調査研究 年報 1984	水沢市教育委員会	1984
72	水沢市の自然と文化Ⅱ	水沢市文化財調査研究 年報 1986	水沢市教育委員会	1987
73	水沢市の自然と文化Ⅲ	水沢市文化財調査研究 年報 1988	水沢市教育委員会	1988
74	水沢の歴史と文化探訪事業 奥州胆沢北 下巾神楽	無形文化財保存記録事 業 1	水沢市教育委員会	1992
75	水沢の歴史と文化探訪事業 上幅庭田植 踊	無形文化財保存記録事 業 2	水沢市教育委員会	1993
76	水沢の歴史と文化探訪事業 福原神楽	無形文化財保存記録事 業 3	水沢市教育委員会	1994
77	水沢の歴史と文化探訪事業 奥野流富士 麓行山鹿踊	無形文化財保存記録事 業 4	水沢市教育委員会	1995
78	水沢の歴史と文化探訪事業 伊藤流行山 鹿踊	無形文化財保存記録事 業 5	水沢市教育委員会	1996
79	水沢の歴史と文化探訪事業 瀬台野神楽	無形文化財保存記録事 業 6	水沢市教育委員会	1997
80	瀬台野系神楽口唱歌誌		瀬台野神楽保存会	1983
81	留守家古文書目録		水沢市立図書館	1955
82	解説中世留守家文書		水沢市教育委員会	1979
83	近世留守家文書 第 1 集		水沢市立図書館	1988
84	近世留守家文書 第 2 集		水沢市立図書館	1989
85	近世留守家文書 第 3 集		水沢市立図書館	1990
86	近世留守家文書 第 4 集		水沢市立図書館	1992
87	近世留守家文書 第 5 集		水沢市立図書館	1993
88	近世留守家文書 第 6 集		水沢市立図書館	1994
89	近世留守家文書 第 7 集		水沢市立図書館	1995
90	近世留守家文書 第 8 集		水沢市立図書館	1996
91	近世留守家文書 第 9 集		水沢市立図書館	1997
92	近世留守家文書 第 10 集		水沢市立図書館	1998
93	近世留守家文書 第 11 集		水沢市立図書館	1999
94	近世留守家文書 第 12 集		水沢市立図書館	2000
95	近世留守家文書 第 13 集		水沢市立図書館	2001
96	近世留守家文書 第 14 集		水沢市立図書館	2002
97	近世留守家文書 第 15 集		水沢市立図書館	2003

資料編3 調査報告書等リスト

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
98	近世留守家文書 第16集		水沢市立図書館	2004
99	近世留守家文書 第17集		水沢市立図書館	2005
100	水沢らしい町並景観をめざして－水沢の武家住宅－		水沢市・水沢市教育委員会	1990
101	重要文化財正法寺庫裏・惣門・附鐘楼堂保存修理工事報告書		正法寺	2000
102	水沢画人伝	水沢風土記第1巻	水沢市立図書館	1981
103	平安時代と胆沢城	水沢風土記第2巻	水沢市教育委員会	1983
104	みずさわの社寺と石碑	水沢風土記第3巻	水沢市教育委員会	1989
105	みずさわの年中行事 伝説	水沢風土記第4巻	水沢市教育委員会	1991
106	高野長英の手紙		高野長英記念館	1991
107	高野長英の手紙 改訂版		高野長英記念館	2000
108	後藤新平文書目録		水沢市立後藤新平記念館	1980
109	斎藤實蔵書目録 第1集		斎藤實記念館	1974
110	斎藤實蔵書目録 第2集		斎藤實記念館	1975
111	斎藤實関係文書マイクロフィルム目録		日本マイクロ写真	1996
112	斎藤實関係文書マイクロフィルム目録 第2期（逐次刊行物編）		ニチマイ	2005
113	郷古文庫図書目録		水沢市立図書館	1959
114	乙女川の三先人		水沢市	1993
115	ふるさと歳時記 四季の行事と食べもの		水沢市教育委員会	1981

既存の文化財調査報告書等一覧5（旧江刺市）

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
1	瀬谷子窯跡群緊急調査概報			1969
2	瀬谷子窯跡群第2次緊急調査概報			1970
3	瀬谷子遺跡 第3次緊急調査報告			1971
4	沼ノ上遺跡調査報告書			1973
5	愛宕遺跡群詳細分布調査報告書			1973
6	岩谷堂城跡発掘調査概報		江刺市教育委員会	1989
7	岩谷堂城跡発掘調査概報		江刺市教育委員会	1990
8	江刺市遺跡群発掘調査報告書 岩谷堂地区		江刺市教育委員会	1992
9	市道餅田下惣田線発掘調査概報		江刺市教育委員会	1993
10	江刺市遺跡群発掘調査報告書 田原地区・藤里地区		江刺市教育委員会	1994
11	平成6年度市内遺跡発掘調査報告書	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第12集	江刺市教育委員会	1995
12	岩谷堂城跡発掘調査報告書	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第13集	江刺市教育委員会	1995
13	平成7年度市内遺跡発掘調査報告書	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第14集	江刺市教育委員会	1996
14	宮地Ⅱ遺跡発掘調査報告書（A～D地区）	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第15集	江刺市教育委員会	1997
15	平成8年度市内遺跡発掘調査報告書	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第16集	江刺市教育委員会	1997
16	宮地Ⅲ遺跡A地区発掘調査報告書	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第17集	江刺市教育委員会	1999
17	荒神社前遺跡発掘調査報告書	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第18集	江刺市教育委員会	1998
18	豊田城跡・蒼前1号墳発掘調査報告書	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第19集	江刺市教育委員会	1998

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
19	上堰遺跡発掘調査報告書	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第 20 集	江刺市教育委員会	1999
20	宮地Ⅱ遺跡 E・F 地区発掘調査報告書	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第 21 集	江刺市教育委員会	2004
21	松川下遺跡発掘調査報告書	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第 22 集	江刺市教育委員会	1999
22	愛宕林遺跡発掘調査報告書	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第 23 集	江刺市教育委員会	1999
23	平成 9・10 年度 市内遺跡発掘調査報告書	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第 25 集	江刺市教育委員会	1999
24	平成 11 年度市内遺跡発掘調査報告書	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第 26 集	江刺市教育委員会	2000
25	平成 12 年度市内遺跡発掘調査報告書	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第 27 集	江刺市教育委員会	1999
26	中堰遺跡発掘調査報告書	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第 28 集	江刺市教育委員会	2000
27	下惣田遺跡発掘調査報告書	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第 29 集	江刺市教育委員会	2000
28	反町遺跡	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第 30 集	江刺市教育委員会	2002
29	新川Ⅲ遺跡発掘調査報告書	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第 31 集	江刺市教育委員会	2002
30	広岡前遺跡発掘調査報告書	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第 32 集	江刺市教育委員会	2004
31	大文字遺跡	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第 33 集	江刺市教育委員会	2005
32	米里中屋敷遺跡発掘調査報告書	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第 34 集	江刺市教育委員会	2005
33	岩谷堂柳沢Ⅱ遺跡発掘調査報告書	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第 35 集	江刺市教育委員会	2006
34	江刺の仏像	江刺市文化財調査報告書	江刺市教育委員会	1985
35	浅井村の検地・地名・屋敷名	江刺の古文書 1	江刺市立中央公民館	1988
36	元禄元・弍・三年定式留帳、角懸村の菊池氏	江刺の古文書 2	江刺市立中央公民館	1989
37	人首村口碑伝説、笠森稻荷・麓山大権現・大森太峰由来、沼辺氏系図・佐伯氏系図	江刺の古文書 3	江刺市立中央公民館	1989
38	野手崎村・栗生沢村文書、小梁川家知行目録、善六仇討、江刺氏の足跡	江刺の古文書 4	江刺市立中央公民館	1990
39	歌書村御検地牒・吉祥寺野山掟・歌書村甚右衛門娘親孝行・寛政九年多門寺集会(百姓一揆)・明治八年(共立病院)御用留	江刺の古文書 5	江刺市立中央公民館	1991
40	岩手県管轄地誌伊手村誌・佐藤氏系図・高館落城清悦物語・伊勢参宮道中記・御達留・藤田但馬関係資料	江刺の古文書 6	江刺市立岩谷堂公民館	1992
41	土谷村風土記、検地帳・石山村高人数御改帳・原体村御百姓家火災一件	江刺の古文書 7	江刺市立岩谷堂公民館	1993
42	中尊寺建立供養願文・陸奥話記・奥州後三年記	江刺の古文書 8	江刺市立岩谷堂公民館	1994
43	黒石村屋敷名の変遷・正法寺書出・黒石寺書出	江刺の古文書 9	江刺市立岩谷堂公民館	1995
44	羽田村資料・江刺鑄工年表・転切支丹	江刺の古文書 10	江刺市立岩谷堂公民館	1996

資料編3 調査報告書等リスト

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
45	福岡村資料・小池村屋敷名調査・江刺の足軽	江刺の古文書 11	江刺市立岩谷堂公民館	1997
46	江刺郡倉澤村資料『安永風土記書上』に見る堰堤の調査集計	江刺の古文書 12	江刺市立岩谷堂公民館	1999
47	江刺郡高寺村風土記・江刺郡高寺村御検地牒・只野市兵衛家記録集写・北上川舟航と下川原河岸	江刺の古文書 13	江刺市立岩谷堂公民館	2000
48	片岡村風土記・餅田村風土記・増沢村検地牒・相馬大作一件・萬留	江刺の古文書 14	江刺市立岩谷堂公民館	2002
49	江刺古文書所在目録		江刺市立図書館	1985
50	江刺の芸能		江刺市教育委員会	1981
51	記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財「鴨沢神楽」調査報告書		江刺市教育委員会	2001
52	「鴨沢神楽」伝承活用等装束・道具		江刺市教育委員会	不明
53	佐野向神楽創立 130 周年記念誌		佐野向神楽保存会	1985
54	小田代神楽のあゆみ		小田代神楽保存会	2016
55	江刺の植物 種山編		江刺市教育委員会	1986
56	和川標本録		江刺市教育委員会	1973

既存の文化財調査報告書等一覧6（旧前沢町）

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
1	明後沢遺跡第3次調査概報	岩手県前沢町文化財調査報告書第1集	前沢町教育委員会	1977
2	明後沢遺跡第4次調査概報	岩手県前沢町文化財調査報告書第2集	前沢町教育委員会	1978
3	上郷家住宅調査報告書	岩手県前沢町文化財調査報告書第3集	前沢町教育委員会	1994
4	田高Ⅱ遺跡発掘調査報告書	岩手県前沢町文化財調査報告書第4集	前沢町教育委員会	1997
5	町内遺跡発掘調査報告書 明後沢第3.4.5次（昭和51年～53年度） 小林繁長（昭和61年度）	岩手県前沢町文化財調査報告書第5集	前沢町教育委員会	1998
6	町内遺跡詳細分布調査報告書Ⅰ 古城・白山地区	岩手県前沢町文化財調査報告書第6集	前沢町教育委員会	1998
7	町内遺跡発掘調査報告書 西館一字一石経塚（昭和59年度） 大袋地区遺跡詳細分布調査（平成3年度） 白鳥館遺跡試掘調査（平成4年度）	岩手県前沢町文化財調査報告書第7集	前沢町教育委員会	1998
8	町内遺跡詳細分布調査報告書Ⅱ 前沢地区	岩手県前沢町文化財調査報告書第8集	前沢町教育委員会	1999
9	西館遺跡発掘調査報告書	岩手県前沢町文化財調査報告書第9集	前沢町教育委員会	1999
10	町内遺跡詳細分布調査報告書Ⅲ 生母地区	岩手県前沢町文化財調査報告書第10集	前沢町教育委員会	2000
11	前沢町遺跡地図	岩手県前沢町文化財調査報告書第11集	前沢町教育委員会	2000
12	生母宿遺跡発掘調査報告書	岩手県前沢町文化財調査報告書第12集	前沢町教育委員会	2000
13	川岸場Ⅱ遺跡発掘調査報告書 大室鈴木家墓地	岩手県前沢町文化財調査報告書第13集	前沢町教育委員会	2002
14	東館（赤生津城）遺跡発掘調査報告書 五合田遺跡発掘調査報告書	岩手県前沢町文化財調査報告書第14集	前沢町教育委員会	2003
15	田高Ⅱ遺跡第2次発掘調査報告書	岩手県前沢町文化財調査報告書第15集	前沢町教育委員会	2004

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
16	川岸場Ⅰ遺跡第2次発掘調査報告書	岩手県前沢町文化財調査報告書第16集	前沢町教育委員会	2004
17	古城上野遺跡第1次発掘調査報告書	岩手県前沢町文化財調査報告書第17集	前沢町教育委員会	2005
18	明後沢遺跡群第7.10.15次発掘調査報告書	岩手県前沢町文化財調査報告書第18集	前沢町教育委員会	2005
19	白鳥館遺跡第2・3次発掘調査報告書	岩手県前沢町文化財調査報告書第19集	前沢町教育委員会	2005
20	前沢の鯨化石		前沢町教育委員会	1987

既存の文化財調査報告書等一覧7（旧胆沢町）

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
1	宮沢原・大清水上遺跡	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第1集	胆沢町教育委員会	1963
2	宮沢原立石遺構	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第2集	胆沢町教育委員会	1966
3	角塚古墳測量調査報告書	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第3集	胆沢町教育委員会	1970
4	萱刈窪遺跡調査報告書	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第4集	胆沢町教育委員会	1973
5	南中沢遺跡調査報告書	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第5集	胆沢町教育委員会	1975
6	角塚古墳調査概報（1）	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第6集	胆沢町教育委員会	1975
7	角塚古墳調査報告	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第7集	胆沢町教育委員会	1976
8	宮沢原E東遺跡・赤剥遺跡調査報告書	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第8集	胆沢町教育委員会	1976
9	漆町遺跡調査報告書	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第9集	胆沢町教育委員会	1977
10	上萩森遺跡調査報告書（略報）	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第10集	胆沢町教育委員会	1978
11	小十文字遺跡－発掘調査報告書	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第11集	胆沢町教育委員会	1981
12	尼坂遺跡－発掘調査報告書	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第12集	胆沢町教育委員会	1983
13	二本木遺跡緊急発掘調査報告書	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第13集	胆沢町教育委員会	1984
14	塚田遺跡緊急調査報告書	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第14集	胆沢町教育委員会	1985
15	大清水上遺跡調査報告書	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第15集	胆沢町教育委員会	1985
16	宇南田遺跡緊急発掘調査報告書	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第16集	胆沢町教育委員会	1986
17	浅野遺跡－調査報告書－	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第17集	胆沢町教育委員会	1988
18	沢田遺跡－調査報告書－	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第18集	胆沢町教育委員会	1988
19	上萩森遺跡－調査報告書－	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第19集	胆沢町教育委員会	1988
20	鹿合館跡－調査報告書－	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第20集	胆沢町教育委員会	1990
21	国分・芦の随遺跡緊急調査報告書	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第21集	胆沢町教育委員会	1991

資料編3 調査報告書等リスト

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
22	尼坂遺跡第二次緊急発掘調査報告書	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第22集	胆沢町教育委員会	1992
23	尼坂遺跡第三次（東）緊急発掘調査報告書	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第23集	胆沢町教育委員会	1993
24	尼坂遺跡第三次（西）緊急発掘調査報告書	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第24集	胆沢町教育委員会	1993
25	尼坂遺跡第四次緊急発掘調査報告書	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第25集	胆沢町教育委員会	1994
26	要害遺跡緊急発掘調査報告書	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第26集	胆沢町教育委員会	1995
27	石行遺跡緊急発掘調査報告書	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第27集	胆沢町教育委員会	1996
28	角塚古墳発掘調査報告書	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第28集	胆沢町教育委員会	2002
29	鶴田古墳群発掘調査報告書	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第29集	胆沢町教育委員会	2004
30	若柳の民俗	胆沢町文化財調査報告書第1集	胆沢町教育委員会	1968
31	いさわの民話と伝説	胆沢町文化財調査報告書第2集	胆沢町教育委員会	1970
32	いさわの民俗芸能	胆沢町文化財調査報告書第3集	胆沢町教育委員会	1972
33	いさわの社寺・祠	胆沢町文化財調査報告書第4集	胆沢町教育委員会	1973
34	いさわの民俗資料（藁製品）	胆沢町文化財調査報告書第5集	胆沢町教育委員会	1974
35	いさわの民話	胆沢町文化財調査報告書第6集	胆沢町教育委員会	1974
36	胆沢町の仏像	胆沢町文化財調査報告書第7集	胆沢町教育委員会	1976
37	胆沢町の古民家	胆沢町文化財調査報告書第8集	胆沢町教育委員会	1978
38	胆沢町の道標	胆沢町文化財調査報告書第9集	胆沢町教育委員会	1980
39	胆沢之古碑	胆沢町文化財調査報告書第10集	胆沢町教育委員会	1983
40	いさわの絵馬	胆沢町文化財調査報告書第11集	胆沢町教育委員会	1983
41	胆沢町古文書資料集第1集 胆沢町の古文書（五嶋家文書）	胆沢町文化財調査報告書第12集	胆沢町教育委員会	1991
42	胆沢町古文書資料集第2集 胆沢町若柳油地、千田家文書	胆沢町文化財調査報告書第13集	胆沢町教育委員会	1992
43	胆沢ダム建設に伴う緊急民俗調査	胆沢町文化財調査報告書第14集	胆沢町教育委員会	1993
44	胆沢町古文書資料集第3集 若柳惣之町阿部家文書目録	胆沢町文化財調査報告書第15集	胆沢町教育委員会	1994
45	胆沢町古文書資料集第4集 若柳惣之町阿部家文書解説編1	胆沢町文化財調査報告書第16集	胆沢町教育委員会	1995
46	胆沢町古文書資料集第5集 若柳惣之町阿部家文書解説編2	胆沢町文化財調査報告書第17集	胆沢町教育委員会	1996
47	胆沢町古文書資料集第6集 若柳惣之町阿部家文書解説編3	胆沢町文化財調査報告書第18集	胆沢町教育委員会	1997
48	『安永風土記』記載百姓屋敷調べ	胆沢町文化財調査報告書第19集	胆沢町教育委員会	1997

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
49	胆沢町古文書資料集第 7 集 若柳惣之町 阿部家文書解読編 4	胆沢町文化財調査報告 書第 20 集	胆沢町教育委員会	1998
50	胆沢町古文書資料集第 8 集 若柳惣之町 阿部家文書解読編 5	胆沢町文化財調査報告 書第 21 集	胆沢町教育委員会	1999
51	胆沢の社寺・祠－棟札等調査報告－	胆沢町文化財調査報告 書第 22 集	胆沢町教育委員会	1999
52	胆沢町古文書資料集第 9 集 若柳惣之町 阿部家文書解読編 6	胆沢町文化財調査報告 書第 23 集	胆沢町教育委員会	2000
53	胆沢町古文書資料集第 10 集 旧新里村中 屋敷千田家文書目録	胆沢町文化財調査報告 書第 24 集	胆沢町教育委員会	2000
54	胆沢町古民家調査報告書第 2 集 胆沢町 小山字上中沢本庄家旧宅解体調査報告書	胆沢町文化財調査報告 書第 25 集	胆沢町教育委員会	2000
55	胆沢町古文書資料集第 11 集 若柳惣之町 阿部家文書解読編 7	胆沢町文化財調査報告 書第 26 集	胆沢町教育委員会	2001
56	胆沢町の石造物 －胆沢町石造物悉皆調査報告書－	胆沢町文化財調査報告 書第 27 集	胆沢町教育委員会	2002
57	胆沢町古文書資料集第 12 集 若柳惣之町 阿部家文書解読編 8	胆沢町文化財調査報告 書第 28 集	胆沢町教育委員会	2002
58	胆沢町古文書資料集第 13 集 若柳惣之町 阿部家文書解読編 9	胆沢町文化財調査報告 書第 29 集	胆沢町教育委員会	2003
59	胆沢町古文書資料集第 14 集 若柳惣之町 阿部家文書解読編 10	胆沢町文化財調査報告 書第 30 集	胆沢町教育委員会	2004
60	胆沢町古文書資料集第 15 集 若柳惣之町 阿部家文書解読編 11	胆沢町文化財調査報告 書第 31 集	胆沢町教育委員会	2005
61	胆沢町地名・屋号調査	胆沢町文化財調査報告 書第 32 集	胆沢町教育委員会	2005
62	胆沢町古文書資料集第 16 集 若柳惣之町 阿部家文書解読編 12	胆沢町文化財調査報告 書第 33 集	胆沢町教育委員会	2006
63	胆沢町古文書資料集第 17 集 若柳惣之町 阿部家文書解読編 13	胆沢町文化財調査報告 書第 34 集	胆沢町教育委員会	2006
64	旧跡をたどる胆沢の歴史散歩～現在から 過去へ未来へ～	胆沢町文化財調査報告 書第 35 集	胆沢町教育委員会	2006
65	いさわの俗信	昭和 60 年度高齢者生き がい促進総合事業	胆沢町教育委員会	1986
66	わらべうた 「ボランティア養成講座」調 査集	昭和 61 年度高齢者生き がい促進総合事業	胆沢町教育委員会	1987
67	胆沢の庭園	昭和 63 年度高齢者生き がい促進総合事業	胆沢町教育委員会	1989
68	胆沢の先人	平成元年度高齢者生き がい促進総合事業	胆沢町教育委員会	1990
69	胆沢の民具 灯火器具	平成 4 年度高齢者ボラ ンティア事業	胆沢町教育委員会	1993
70	いさわの民具 2	平成 5 年度高齢者ボラ ンティア事業	胆沢町教育委員会	1994
71	いさわの民具 3	平成 6 年度高齢者ボラ ンティア事業	胆沢町教育委員会	1995
72	いさわの民具 4	平成 7 年度高齢者ボラ ンティア事業	胆沢町教育委員会	1996
73	いさわの民具 5	平成 8 年度高齢者ボラ ンティア事業	胆沢町教育委員会	1997
74	いさわの民具 6	平成 9 年度高齢者ボラ ンティア事業	胆沢町教育委員会	1998
75	いさわの焚きもの	平成 10 年度高齢者ボラ ンティア事業	胆沢町教育委員会	1999

資料編3 調査報告書等リスト

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
76	さわの萱と屋根替え	平成11年度高齢者ボランティア事業	胆沢町教育委員会	2000
77	いさわの食と生活	平成12年度高齢者ボランティア事業	胆沢町教育委員会	2001
78	いさわの食と生活 2	平成13年度高齢者ボランティア事業	胆沢町教育委員会	2002
79	いさわの農作業 1月～6月までの稲作と畑作	高齢者ボランティア調査記録集第18集	胆沢町教育委員会	2003
80	いさわの農作業 7月～12月までの稲作と畑作	高齢者ボランティア調査記録集第19集	胆沢町教育委員会	2004
81	いさわの生活習慣 伝承・信仰・思い出	高齢者ボランティア調査記録集第20集	胆沢町教育委員会	2005
82	十文字神楽		佐藤英男	1977
83	胆沢町文化創造センター所蔵植物標本目録		胆沢町教育委員会	1992

既存の文化財調査報告書等一覧8（旧衣川村）

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
1	岩手県指定 長者ヶ原発掘調査報告書		衣川村教育委員会	1972
2	上衣川地区遺跡詳細分布調査報告書	岩手県衣川村文化財報告書第2集	衣川村教育委員会	1987
3	下衣川地区遺跡詳細分布調査報告書	岩手県衣川村文化財報告書第3集	衣川村教育委員会	1988
4	衣川村社寺調査報告書	岩手県衣川村文化財報告書第4集	衣川村教育委員会	1990
5	衣川村石碑・石像調査報告書	岩手県衣川村文化財報告書第5集	衣川村教育委員会	1990
6	安倍館跡発掘調査報告書―第2次―	岩手県衣川村文化財報告書第6集	衣川村教育委員会	1993
7	安倍館跡発掘調査報告書―第3次―	岩手県衣川村文化財報告書第7集	衣川村教育委員会	1995
8	長者ヶ原廃寺跡発掘調査報告書―第6次調査―	岩手県衣川村文化財調査報告書第8集	衣川村教育委員会	2005
9	淵端遺跡発掘調査報告書	岩手県衣川村文化財調査報告書第9集	衣川村教育委員会	2006
10	長者ヶ原廃寺跡発掘調査報告書―第8次調査―	岩手県衣川村文化財調査報告書第10集	衣川村教育委員会	2006
11	ころもがわの植物	衣川村植物調査報告書 No.1	衣川村教育委員会	1998
12	ころもがわの植物	衣川村植物調査報告書 No.2	衣川村教育委員会	1999
13	衣川村産出 サメの歯化石調査報告書		衣川村教育委員会	2004
14	衣川・榊形森遺跡―発掘調査報告書―		アテルイ没後1200年記念事業実行委員会・衣川村教育委員会	2003

既存の文化財調査報告書等一覧9（岩手県埋蔵文化財センター）

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
1	江刺市沼の上遺跡	岩手県埋文センター文化財調査報告書第5集	岩手県埋蔵文化財センター	1978
2	岩手県江刺市力石2遺跡・兎2遺跡・落合3遺跡・朴ノ木遺跡	岩手県埋文センター文化財調査報告書第8集	岩手県埋蔵文化財センター	1979

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
3	水沢市玉貫遺跡・金ヶ崎町西根遺跡	岩手県埋文センター文化財調査報告書第18集	岩手県埋蔵文化財センター	1981
4	金ヶ崎バイパス関連遺跡発掘調査報告書―Ⅱ―水沢市膳性遺跡	岩手県埋文センター文化財調査報告書第34集	岩手県埋蔵文化財センター	1982
5	金ヶ崎バイパス関連遺跡発掘調査報告書―Ⅲ―水沢市竈堂遺跡・東大畑遺跡・大曾根遺跡	岩手県埋文センター文化財調査報告書第44集	岩手県埋蔵文化財センター	1982
6	岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（西光田1遺跡、寺領遺跡、石田2遺跡）	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第126集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1988
7	石田2・寺領・西光田1遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第130集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1998
8	岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（西光田2遺跡）	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第135集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1989
9	松川遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第143集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1990
10	沢田・仙人東遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第230集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1996
11	龍ヶ馬場遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第243集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1996
12	白井坂1・2遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第248集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1997
13	下尿前2遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第252集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1997
14	下尿前4遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第269集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1998
15	北野4遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第272集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1998
16	岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（荒神社前遺跡、大平古館跡）	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第282集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1998
17	尿前2遺跡A地区発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第288集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1999
18	北野4遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第298集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1999
19	板子沢遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第305集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1999
20	岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（穴山堰遺跡）	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第311集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1999
21	惣前町遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第314集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2000

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
22	川岸場 2 遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 317 集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化センター	2000
23	下醍醐遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 325 集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ ー	1999
24	下醍醐遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 326 集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ ー	1999
25	佐野原遺跡調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 327 集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ ー	1999
26	上寺田・本巻遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 328 集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ ー	2000
27	西館跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 329 集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ ー	2000
28	水ノ口遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 330 集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ ー	2000
29	休場遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 331 集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ ー	2000
30	岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（向遺跡）	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 340 集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ ー	2000
31	尿前Ⅱ遺跡 B 地区発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 343 集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ ー	2000
32	栗林遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 363 集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ ー	2001
33	東館Ⅱ遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 366 集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ ー	2002
34	大清水遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 373 集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ ー	2001
35	中半入遺跡・蝦夷塚古墳発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 380 集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ ー	2002
36	漆林Ⅱ遺跡・本宿迎畑遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 381 集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ ー	2002
37	北田Ⅱ遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 395 集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ ー	2002
38	岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（寺ヶ前 3 遺跡、市野々遺跡、一の台 2 遺跡、二の台遺跡、上中沢 1 遺跡、NE34-2172 遺跡、屋敷遺跡、上狼ヶ志田遺跡）	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 397 集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ ー	2002
39	新田遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 405 集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ ー	2002

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
40	久田遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第406集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ—	2003
41	明後沢遺跡群発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第411集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ—	2003
42	岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（西風遺跡、二の台遺跡、鶴供養遺跡、駒込遺跡、二の沢Ⅱ遺跡、竹地子遺跡、主計谷地遺跡）	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第423集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ—	2003
43	杉の堂遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第425集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ—	2004
44	大中田遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第429集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ—	2004
45	広岡前遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第430集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ—	2004
46	宝性寺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第441集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ—	2004
47	明後沢遺跡群第16次発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第442集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ—	2004
48	中半入遺跡第2次発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第443集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ—	2004
49	島田Ⅱ遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第444集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ—	2004
50	寺ノ上遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第445集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ—	2004
51	岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（杉の堂・跡呂井遺跡、蜂谷遺跡、一の台遺跡、一の台Ⅱ遺跡、一の台Ⅲ遺跡、一の台Ⅳ遺跡、屋敷遺跡、鶴供養遺跡、二の台長根遺跡、二の沢遺跡）	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第455集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ—	2004
52	中半入遺跡第4次発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第465集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ—	2005
53	平成16年度発掘調査報告書（中島遺跡、岩谷堂柳沢Ⅱ遺跡、新地野道下遺跡、宮沢原下遺跡、上大畑平Ⅰ遺跡、上大畑平Ⅱ遺跡、川前遺跡、内屋敷遺跡）	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第469集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ—	2005
54	杉の堂遺跡第31次調査・跡呂井遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第473集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ—	2006
55	大清水上遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第475集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ—	2006
56	二の台長根遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第476集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ—	2006

資料編3 調査報告書等リスト

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
57	平成17年度発掘調査報告書(道上遺跡第1次、宮沢原下遺跡、山の神遺跡、岩洞堤遺跡、北丑転遺跡)	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第490集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ ー	2006
58	押切遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第493集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ ー	2007
59	宮沢原下遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第495集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ ー	2007
60	平成18年度発掘調査報告書(高日向遺跡、雲南遺跡)	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第505集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ ー	2007
61	山の神遺跡・宮沢原下遺跡第2次発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第512集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ ー	2008
62	道上遺跡第2次発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第518集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ ー	2008
63	六日市場・細田・接待館遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第523集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ ー	2008
64	鵜ノ木遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第527集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ ー	2009
65	岩洞堤遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第531集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ ー	2009
66	宝祿Ⅱ遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第541集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ ー	2009
67	道上遺跡第3次・合野遺跡・小林繁長遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第544集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ ー	2009
68	衣の関道遺跡第1・2次発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第550集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ ー	2010
69	坪刈Ⅱ遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第554集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ ー	2010
70	尼坂遺跡・牡丹野遺跡・作屋敷遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第569集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ ー	2010
71	合野遺跡・小林繁長遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第570集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ ー	2010
72	平成21年度発掘調査報告書(平根原Ⅰ遺跡、八幡遺跡)	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第571集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ ー	2010
73	大平野Ⅱ遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第576集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ ー	2011
74	鵜ノ木南台地遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第581集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ ー	2011

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
75	水尻遺跡・四反田Ⅰ遺跡・四反田Ⅱ遺跡・古城方八丁遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第587集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ－	2011
76	平成22年度発掘調査報告書(高殿Ⅱ遺跡)	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第588集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ－	2011
77	大平野Ⅱ遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第593集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ－	2012
78	国分遺跡・川端遺跡・堤遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第600集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ－	2012
79	堰田・机地遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第601集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ－	2012
80	下嵐江Ⅰ遺跡・下嵐江Ⅱ遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第608集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ－	2013
81	大平野Ⅱ遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第609集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ－	2013
82	八反町遺跡・中畑城跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第610集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ－	2013
83	安久沢東遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第611集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ－	2013
84	彼岸田遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第612集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ－	2013
85	田高Ⅱ遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第613集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ－	2013
86	銭倉遺跡・要害遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第614集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ－	2013
87	堤遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第615集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ－	2013
88	作屋敷遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第616集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ－	2013
89	平成24年度発掘調査報告書(石山遺跡)	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第620集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ－	2013
90	沢田遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第626集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ－	2014
91	八反町・古城林遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第627集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ－	2014
92	小林繁長遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第628集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センタ－	2014

資料編3 調査報告書等リスト

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
93	石田Ⅰ・Ⅱ遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第632集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2015
94	漆町遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第633集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2015
95	町屋敷遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第693集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2019
96	杉の堂遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第716集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1999
97	令和2年度発掘調査報告書（境・山下遺跡）	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第733集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2021
98	令和3年度発掘調査報告書（館遺跡）	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第735集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2022
99	明神下遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第738集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2023
100	中林下遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第744集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2024

既存の文化財調査報告書等一覧10（奥州市埋蔵文化財調査センター）

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
1	石田Ⅱ遺跡	水沢市埋蔵文化財調査センター調査報告書第1集	水沢市埋蔵文化財調査センター	1995
2	常盤広町遺跡	水沢市埋蔵文化財調査センター調査報告書第2集	水沢市埋蔵文化財調査センター	1995
3	姉体車堂Ⅱ遺跡	水沢市埋蔵文化財調査センター調査報告書第3集	水沢市埋蔵文化財調査センター	1995
4	常盤小学校遺跡	水沢市埋蔵文化財調査センター調査報告書第4集	水沢市埋蔵文化財調査センター	1995
5	龍ヶ馬場Ⅱ遺跡	水沢市埋蔵文化財調査センター調査報告書第5集	水沢市埋蔵文化財調査センター	1996
6	雷神Ⅰ遺跡	水沢市埋蔵文化財調査センター調査報告書第6集	水沢市埋蔵文化財調査センター	1996
7	杉の堂遺跡	水沢市埋蔵文化財調査センター調査報告書第7集	水沢市埋蔵文化財調査センター	1996
8	仙人西遺跡	水沢市埋蔵文化財調査センター調査報告書第8集	水沢市埋蔵文化財調査センター	1997
9	杉の堂遺跡群	水沢市埋蔵文化財調査センター調査報告書第9集	水沢市埋蔵文化財調査センター	1997

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
10	杉の堂遺跡	水沢市埋蔵文化財調査センター調査報告書第10集	水沢市埋蔵文化財調査センター	1998
11	鹿野遺跡	水沢市埋蔵文化財調査センター調査報告書第11集	水沢市埋蔵文化財調査センター	1998
12	面塚遺跡	水沢市埋蔵文化財調査センター調査報告書第12集	水沢市埋蔵文化財調査センター	1999
13	杉の堂遺跡	水沢市埋蔵文化財調査センター調査報告書第13集	水沢市埋蔵文化財調査センター	1999
14	下植田遺跡Ⅰ	水沢市埋蔵文化財調査センター調査報告書第14集	水沢市埋蔵文化財調査センター	2000
15	町屋敷遺跡	水沢市埋蔵文化財調査センター調査報告書第15集	水沢市埋蔵文化財調査センター	2002
16	林前南館跡（第17・18・20・21次）	水沢市埋蔵文化財調査センター調査報告書第16集	水沢市埋蔵文化財調査センター	2003
17	下植田遺跡Ⅱ	水沢市埋蔵文化財調査センター調査報告書第17集	水沢市埋蔵文化財調査センター	2003
18	中半入遺跡―第3次調査―	水沢市埋蔵文化財調査センター調査報告書第18集	水沢市埋蔵文化財調査センター	2004
19	林前Ⅱ遺跡 寺ノ西遺跡	水沢市埋蔵文化財調査センター調査報告書第19集	水沢市埋蔵文化財調査センター	2006
20	矢中Ⅰ遺跡	奥州市埋蔵文化財調査センター調査報告書第1集	奥州市埋蔵文化財調査センター	2007
21	玉崎館遺跡	奥州市埋蔵文化財調査センター調査報告書第2集	奥州市埋蔵文化財調査センター	2007
22	増沢東部遺跡群	奥州市埋蔵文化財調査センター調査報告書第3集	奥州市埋蔵文化財調査センター	2008
23	杉の堂遺跡（第19次調査）	奥州市埋蔵文化財調査センター調査報告書第4集	奥州市埋蔵文化財調査センター	2008
24	要害Ⅰ・Ⅱ遺跡 亀田遺跡	奥州市埋蔵文化財調査センター調査報告書第5集	奥州市埋蔵文化財調査センター	2009
25	崩田遺跡	奥州市埋蔵文化財調査センター調査報告書第6集	奥州市埋蔵文化財調査センター	2009
26	安久沢東遺跡	奥州市埋蔵文化財調査センター調査報告書第7集	奥州市埋蔵文化財調査センター	2009
27	川端遺跡	奥州市埋蔵文化財調査センター調査報告書第8集	奥州市埋蔵文化財調査センター	2010

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
28	下町遺跡	奥州市埋蔵文化財調査センター調査報告書第9集	奥州市埋蔵文化財調査センター	2010
29	要害Ⅱ遺跡・境田遺跡	奥州市埋蔵文化財調査センター調査報告書第10集	奥州市埋蔵文化財調査センター	2010
30	合野遺跡・白山上野遺跡	奥州市埋蔵文化財調査センター調査報告書第11集	奥州市埋蔵文化財調査センター	2011
31	清水下遺跡・二本木遺跡	奥州市埋蔵文化財調査センター調査報告書第12集	奥州市埋蔵文化財調査センター	2015
32	北鶴ノ木遺跡（第1～4次）	奥州市埋蔵文化財調査センター調査報告書第13集	奥州市埋蔵文化財調査センター	2016
33	松川遺跡・大日前遺跡	奥州市埋蔵文化財調査センター調査報告書第14集	奥州市埋蔵文化財調査センター	2016
34	石行遺跡・小十文字遺跡	奥州市埋蔵文化財調査センター調査報告書第15集	奥州市埋蔵文化財調査センター	2017
35	下河原館（内館）跡	奥州市埋蔵文化財調査センター調査報告書第16集	奥州市埋蔵文化財調査センター	2019
36	明神下遺跡	奥州市埋蔵文化財調査センター調査報告書第17集	奥州市埋蔵文化財調査センター	2020
37	町屋敷遺跡	奥州市埋蔵文化財調査センター調査報告書第18集	奥州市埋蔵文化財調査センター	2024